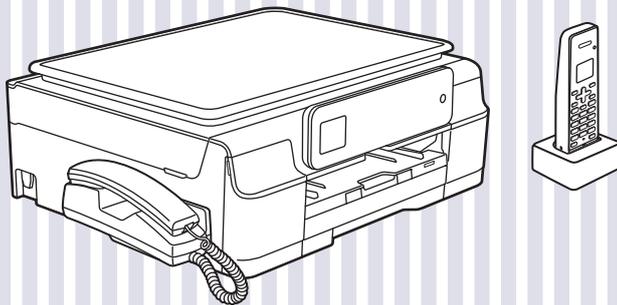


PRIVIO MFC-J727D/J727DW ユーザーズガイド — 基本編 —



本書「ユーザーズガイド 基本編」は、製品に関する全ての情報を含んでいません。

本書にない情報の詳細は、「マニュアルの構成」をご確認の上、それぞれのマニュアルをご覧ください。

2ページ

ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

<http://support.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようになっています。

第1章
ご使用の前に

第2章
電話

第3章
ファクス

第4章
電話帳

第5章
留守番機能

第6章
コピー

第7章
デジカメプリント

第8章
こんなときは

第9章
付録 (索引)

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属

■用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	Windows®  付属
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	Macintosh 
6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	 http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/

■サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	 http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.7.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法を説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>

ユーザーズガイドを見るときは

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。

スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] - [MFC-XXXX*1] - [ユーザーズガイド] の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

Windows® 8 をお使いの方は下記をご覧ください。

⇒ 4 ページ「Windows® 8 または Windows® 8.1 をお使いの方へ」

*1 「XXXX」は、モデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

 トップメニューの画面が表示されないときは、[マイ コンピュータ (コンピュータ)] から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックしてください。

2 [ユーザーズガイド] をクリックする



3 [画面で見るユーザーズガイド] をクリックする



収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

Windows® 8 または Windows® 8.1 をお使いの方へ

パソコンに本製品のプリンタードライバーをインストールすると [Brother Utilities] アイコンが表示されます。Windows® 8 をご使用の場合は、スタート画面およびデスクトップ画面に表示されます。Windows® 8.1 をご使用の場合は、アプリ画面に表示されます。[Brother Utilities] は、本製品のユーザズガイドを見たり、さまざまな機能を実行したりできるソフトウェアです。

(1) Brother Utilities を選ぶ

- Windows® 8 の場合
スタート画面またはデスクトップ上の  (Brother Utilities) をクリックまたはタップします。
 - Windows® 8.1 の場合
スタート画面の左下の  をクリックします。(タッチパネルをご使用の場合は、下から上へスワイプしても、アプリ画面が表示されます。)
アプリ画面が表示されたら  (Brother Utilities) をクリックまたはタップします。
- ◆ [Brother Utilities] ダイアログボックスが表示されます。

(2) モデル名を選択する



(3) ナビゲーションバーのメニューから [サポート] をクリックする

- ◆ ナビゲーションバーのメニューからは、他のさまざまな機能がお使いになれます。

(4) [ユーザズガイド] をクリックする

(5) 見たいユーザズガイドのタイトルをクリックする

Macintosh の場合

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>) からダウンロードしてご覧ください。

目次

マニュアルの構成	2
ユーザズガイドを見るときは	3
目次	5
本書の見かた	9
編集ならびに出版における通告	9
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	9

使ってみよう <基本編>10

電話をかける / 受ける	10
電話のかけ方	10
電話の受け方	10
ファクスを送る	11
コピーする	12
写真や動画をプリントする	13
プリンターとして使う	15
はがき (年賀状) に印刷する	17
スキャンする	19
スキャンしたデータをパソコンに保存する	19
付属のアプリケーションソフト ControlCenter を 使ってスキャンする	20
パソコンからファクスを送る / 受信する	22
パソコンからファクスを送る	22
パソコンでファクスを受信する	23
こんなこともできます	24

第 1 章 ご使用の前に25

必ずお読みください

各部の名称とはたらき	26
外觀図	26
子機	28
操作パネル (本体)	29
待ち受け画面	30
タッチパネル	31
電源ボタンについて	32
操作パネル (子機)	33
はじめに設定する	35
回線種別を設定する	35
子機の設置場所を確認する	36
日付と時刻を設定する	36
送信したファクスに印刷される自分の名前と 番号を登録する	38
電話とファクスの受信設定	39
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき	39
電話・ファクスの受けかたを変更する	40
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない	43
呼出ベル回数を設定する	44
再呼出の設定をする	45

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する	46
音量を設定する	47
親機の音量を設定する	47
子機の音量を設定する	48
着信音と保留音を設定する	49
親機の着信音・保留音を選ぶ	49
子機の着信音を選ぶ	50
スリープモードに入る時間を設定する	51
お気に入り登録する	52
記録紙のセット	54
使用できる記録紙	54
専用紙・推奨紙	55
記録紙の印刷範囲	56
トレイの種類	56
最大排紙枚数について	57
記録紙トレイにセットする	57
スライドトレイにセットする	61
手差しトレイにセットする	63
記録紙の種類を設定する	65
記録紙のサイズを設定する	65
原稿のセット	66
原稿の読み取り範囲	66
原稿をセットする	66

第 2 章 電話67

基本

電話をかける / 受ける	68
電話をかける	68
電話を受ける	68
電話帳からかける	69
通話を保留にする	69
通話を録音する	70
録音した通話を再生 / 消去する	70
いろいろな電話のかけかた	72
通話中の各種操作	74
電話を取り次ぐ	75
親機から子機へ電話を取り次ぐ	75
子機から親機へ電話を取り次ぐ	75
子機から子機へ電話を取り次ぐ	76
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	76
内線通話をする	77
親機から子機へかける	77
子機から親機へかける	77
子機から子機へかける	78
3人で同時に話す	78
かかってきた電話を拒否する	80
通話前に電話を拒否する	80
通話中に電話を拒否する	80

キャッチホンで電話を受ける	81
キャッチホンで電話を受けた場合	81
キャッチホンでファクスを受けた場合	81

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する ...	83
ナンバー・ディスプレイサービスとは	83
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能	83
電話番号表示機能	84
着信履歴を利用する	84
着信鳴り分けを設定する	85
迷惑電話指定する	86
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	87
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する	88

第3章 ファクス89

基本

ファクスを送る	90
ファクス送信時の画面とボタンについて	90
ファクスを送る (1枚のとき)	91
ファクスを送る (2枚以上のとき)	91
送信中のいろいろな操作	92
設定を変えてファクスするには	93
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る ...	96
ファクスを受ける	97
自動的に受ける	97
電話に出たから受ける	97
電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	99
ファクスの便利な受けかた	100
ファクスをメモリーで受信する	100
メモリー受信したファクスを印刷する	100
ファクスメッセージをメモリーから消去する	101
メモリー受信を解除する	101

通信管理

通信状態を確かめる	102
送信待ちファクスを確認・解除する	102

第4章 電話帳103

電話帳

親機の電話帳に登録する	104
電話帳に登録する	104
親機の電話帳を子機へ転送する	106
電話帳リストを印刷する	106
子機の電話帳に登録する	107
電話帳に登録する	107

第5章 留守番機能109

留守番機能

留守番機能を設定する	110
留守番機能で設定できること	110
メッセージの録音時間を設定する	111
応答メッセージを録音する	111
留守録モニターを設定する	112
出かけるとき	113
留守番機能をセットする	113
留守応答メッセージを選ぶ	113
帰ってきたとき	114
留守番機能を解除する	114
メモリー内の留守録メッセージを再生/消去する ...	114

第6章 コピー117

基本

コピーする	118
コピーモード時の画面とボタンについて	118
基本的なコピーのとりかた	118
設定を変えてコピーするには	119

第7章 デジカメプリント123

デジカメプリント

写真をプリントする前に	124
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする	125
動画プリントについて	127
写真をプリントする	128
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする	128
設定を変えてプリントするには	130
PictBridge機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする	133
PictBridgeとは	133
デジタルカメラで行う設定	133
写真をプリントする	134

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する	135
スキャンしたデータをメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する	135

第8章 こんなときは 137

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	138
タッチパネルを清掃する	138
本製品の外側を清掃する	138
スキャナー（読み取り部）を清掃する	139
給紙ローラーを清掃する	140
排紙ローラーを清掃する	141
本体内部を清掃する	142
子機と充電器を清掃する	144
インクがなくなったときは	145
インクカートリッジを交換する	146
インク残量を確認する	148
受話器（親機）を使用しないときは	149
子機のバッテリーを交換するときは	150

困ったときは

紙が詰まったときは	152
印刷品質が良くないときは	158
定期メンテナンスについて	158
プリントヘッドをクリーニングする	158
記録紙のうら面が汚れるときは	159
印刷テストを行う	160
画面にメッセージが表示されたときは	162
エラーが発生したときのファクスの転送方法 ...	168
子機のメッセージ	170
故障かな？と思ったときは （修理を依頼される前に）	172
動作がおかしいときは （修理を依頼される前に）	192
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を 改善する	193
特別な回線に合わせて設定する	193
回線状況に応じて設定する	193
安心通信モードに設定する	194
ダイヤルトーン検出の設定をする	195
現在の電話回線状態を確認する	195
初期状態に戻す	196
機能設定を元に戻す	196
ネットワーク設定を元に戻す	197
電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する ...	197
すべての設定を元に戻す	198
子機の個人情報を消去する	198
こんなときは	199
最新のドライバーやファームウェアをサポート サイトからダウンロードして使うときは	199
子機を増設する / 登録抹消する	200
停電になったときは	200
本製品のシリアルナンバーを確認する	201
本製品の設定内容や機能を確認する	201
本製品を輸送するときは	202
本製品を廃棄するときは	202

第9章 付録 203

文字の入力方法	204
親機	204
子機	207
機能一覧	209
親機	209
子機	223
仕様	225
使用環境	232
索引	233
リモコンアクセスカード	239
関連製品のご案内	241
innobella	241
消耗品	241
消耗品などのご注文について	243
インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内 ...	243
アフターサービスのご案内	

「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第1章 お好みで設定する

- 画面の設定を変更する
- いろいろな接続
- ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する

第2章 ファクス

- ファクスの便利な送りかた
- ファクスの便利な受けかた
- 通信状態を確かめる

第3章 電話帳

- 電話帳を利用する
- 子機の電話帳を利用する
- パソコンを使って電話帳に登録する

第4章 転送・リモコン機能

- 外出先から本製品を操作する
- 外出先に転送する

第5章 コピー

- いろいろなコピー

第6章 デジカメプリント

- 写真や動画をプリントする

第7章 付録

- 用語解説
- 索引

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があります。かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
 お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J727D、MFC-J727DW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J727D のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://support.brother.co.jp/>ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 199 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

電話をかける / 受ける

基本的な電話のかけ方および受け方です。電話の操作方法や応用的な使用方法については、第2章をご覧ください。

電話のかけ方

1 受話器台から受話器を取り、操作パネルのダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

相手が出たら話します。

保留にするときは、**保留/子機** を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器を取ります。保留が解除されます。

2 通話を終わるときは、受話器を受話器台に戻す

電話の受け方

1 着信音が鳴ったら、受話器を取る

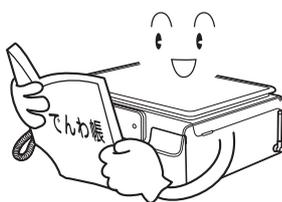
かけてきた相手と話します。

子機に電話を取り次ぐときは、**保留/子機** を押し、操作パネルのダイヤルボタンで子機の内線番号を押します。子機の相手が応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて受話器を戻します。子機が応答しない場合は、**保留/子機** を押して、外線の相手との通話を再開します。

2 通話を終わるときは、受話器を受話器台に戻す

こんなこともできます

● 電話帳や履歴から電話をかける



69 ページ

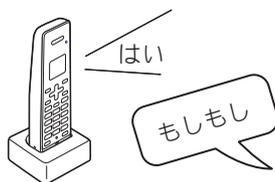
72 ページ

● 通話を録音する



70 ページ

● 受話器を持たずに電話をかける



73 ページ

● 通話中のいろいろな機能



- ・迷惑電話を拒否する
- ・スピーカーホンに切り替える
- ・プッシュホンサービスを利用する
- ・受話音質を調節する
- ・内緒話モードにする

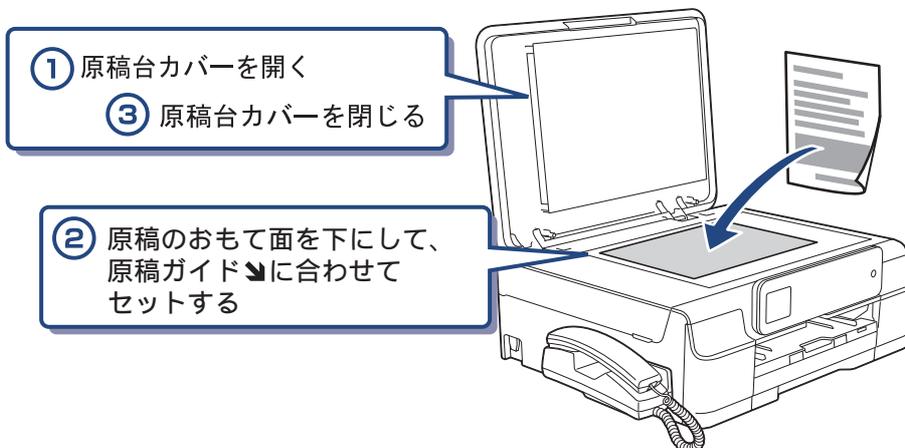
80 ページ

74 ページ

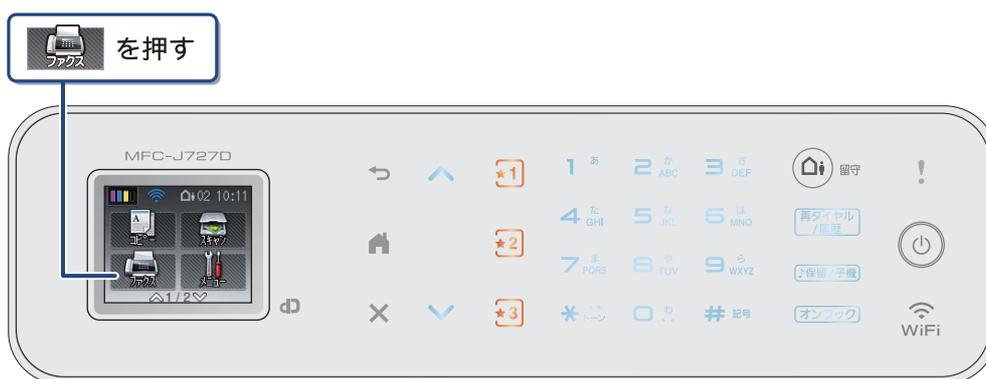
ファクスを送る

ファクスを送ります。

1 原稿をセットする



2 を押す



3 操作パネル上のダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

4 【スタート】を押す

原稿の読み取りが開始されます。原稿が複数枚ある場合は、読み取り後の画面で【はい】を押し、原稿を入れ替えた上で【OK】を押してください。次の原稿がない場合は【いいえ (送信)】を押してください。ファクスが送信されます。

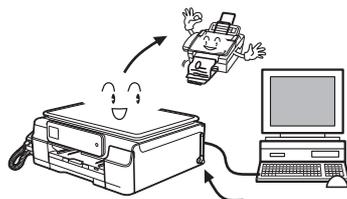
こんなこともできます

● 電話帳から相手を選んで送る



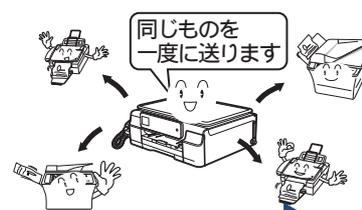
96 ページ

● パソコンからファクスを送る



応用編

● 一度の操作で複数の相手に送る

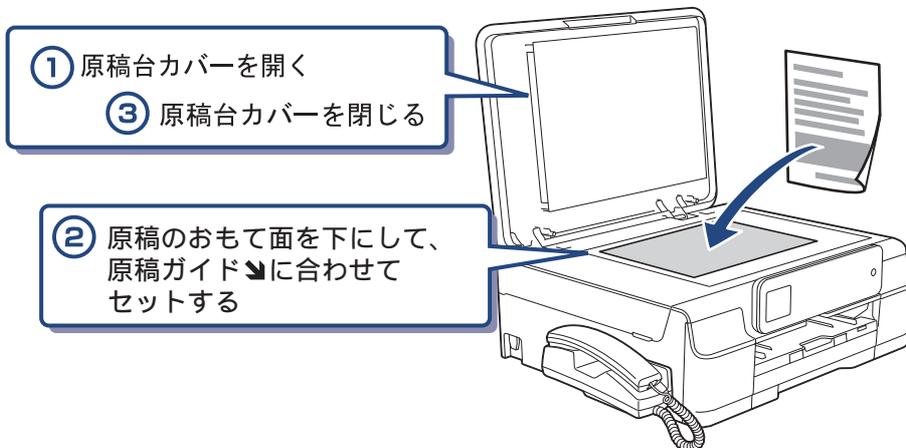


応用編

コピーする

モノクロ/カラーでコピーします。

1 原稿をセットする



2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

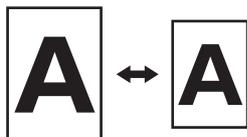


4 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

コピーが開始されます。

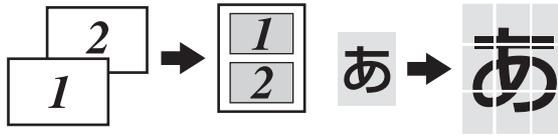
こんなこともできます

●拡大・縮小コピー



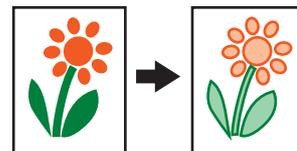
119 ページ

●N in 1 コピー/ポスターコピー



応用編

●インク節約モード



応用編

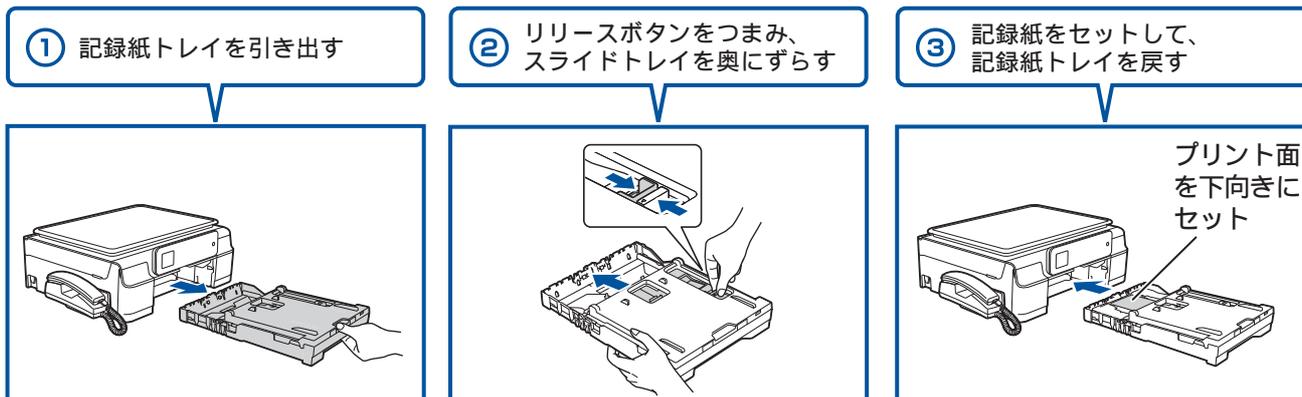
写真や動画をプリントする

メモリーカードや USB フラッシュメモリーなどメディアに保存された写真や、動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

1 記録紙をスライドトレイ (L 判記録紙やはがき専用のトレイ) にセットする

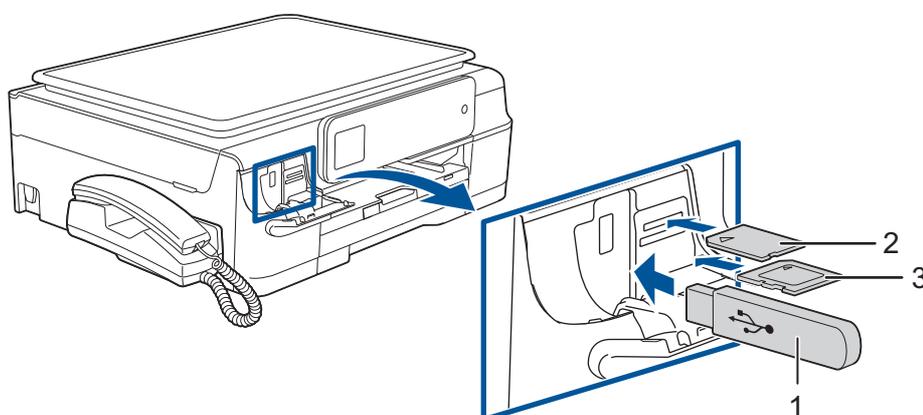
※L 判の記録紙をセットする場合を説明します。

⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」



2 メディアスロットカバーを開く

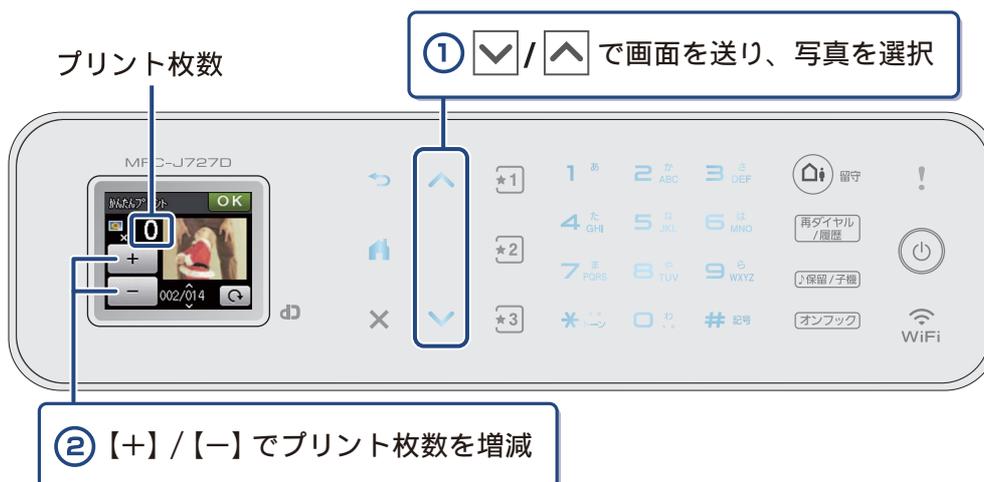
3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけセットする



- 1. USBフラッシュメモリー
 - 2. メモリースティック デュオ™、メモリースティック PRO デュオ™
 - 3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード、マルチメディアカード、マルチメディアカード プラス
- ※ miniSDカード / microSDカード / miniSDHCカード / microSDHCカード / メモリースティック マイクロ™ (M2™) / マルチメディアカード モバイルも使用できます。本製品にセットするときはアダプターが必要です。

4 【かんたんプリント】を押す

5 プリントする画像と枚数を設定する



※複数の写真をプリントするときは、①②を繰り返します。
※動画は、ファイルを9分割して、それぞれ最初のシーンが縦3×横3に配置されます。

6 【OK】を押す

7 【スタート】を押してプリントする

選択した画像がカラーでプリントされます。

こんなこともできます

●撮影日を付けてプリントする

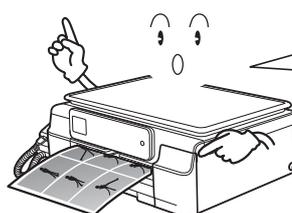


2013.02.14

※動画は日付プリント
できません。

131 ページ

●動画を9分割の静止画にしてプリントする



デジタルカメラやパソコンで
しか再生できなかった動画も、
楽しい写真に残せるよ!

127 ページ

プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

お願い

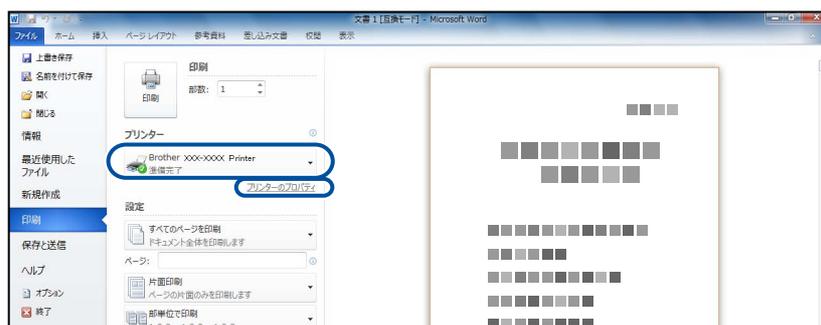
■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ



2 【印刷】ダイアログボックスの【プリンター】で、接続している本製品を選び、【プリンターのプロパティ】をクリックする



3 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、【OK】をクリックする

サイズは [基本設定]、カラーは [拡張機能] タブから設定します。

4 【印刷】をクリックして印刷を実行する

Macintosh の場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューから【ページ設定】を選ぶ
- 2 【対象プリンタ】で、接続している本製品を選び、【OK】をクリックする



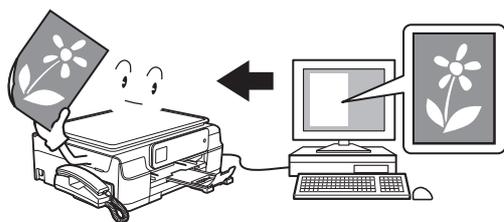
- 3 アプリケーションの【ファイル】メニューから【プリント】を選ぶ
- 4 【詳細を表示】をクリックする



- 5 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、【プリント】をクリックする

こんなこともできます

●ふちなし印刷



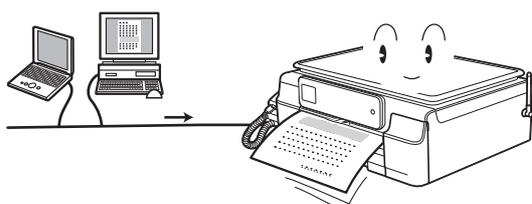
パソコン活用編

●おまかせ印刷



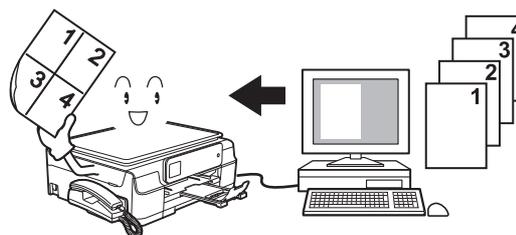
パソコン活用編

●ネットワークプリンター



ネットワーク編

●レイアウト印刷



パソコン活用編

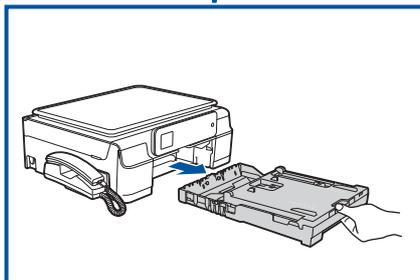
はがき（年賀状）に印刷する

スライドトレイ（L判記録紙やはがき専用のトレイ）を使って、はがきや年賀状に印刷します。操作方法は、お使いのOSやアプリケーションソフトによって異なります。

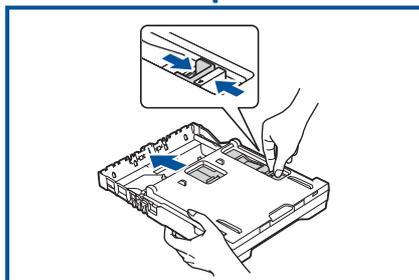
1 はがきをスライドトレイにセットする

⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」

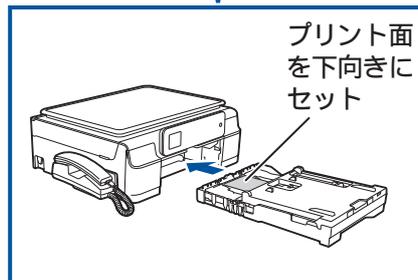
① 記録紙トレイを引き出す



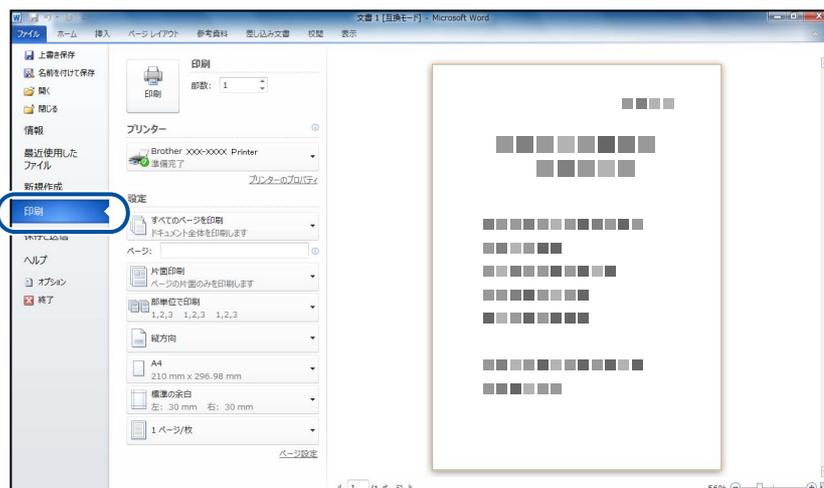
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



③ 記録紙をセットして、記録紙トレイを戻す

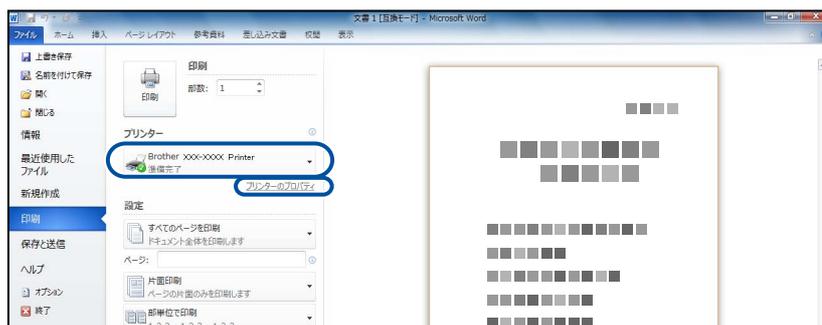


2 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ



※上図は、アプリケーションに Microsoft® Word を使用した例です。Microsoft® Word ではがきを作成する場合は、Microsoft® Word のページ設定で、用紙サイズを [ハガキ] に設定してください。

3 【印刷】ダイアログボックスの【プリンター】で、接続している本製品を選び、【プリンターのプロパティ】をクリックする



4 [基本設定] 項目の中から [用紙種類] と [用紙サイズ] を設定し、[OK] をクリックする

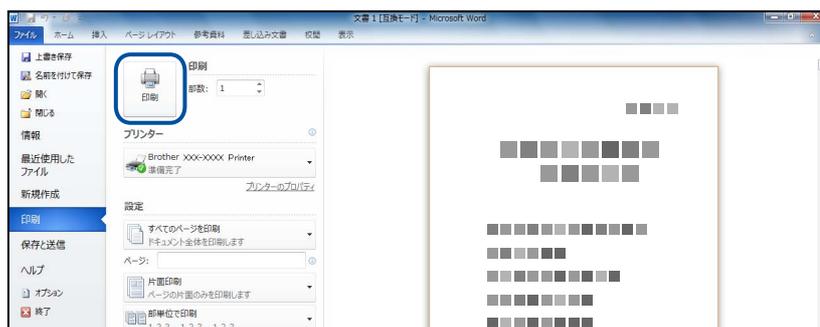
例：インクジェット紙のはがきの通信面に印刷する場合

[用紙種類] を [インクジェット紙] に設定します。

[用紙サイズ] を [ハガキ] に設定します。



5 [印刷] をクリックする

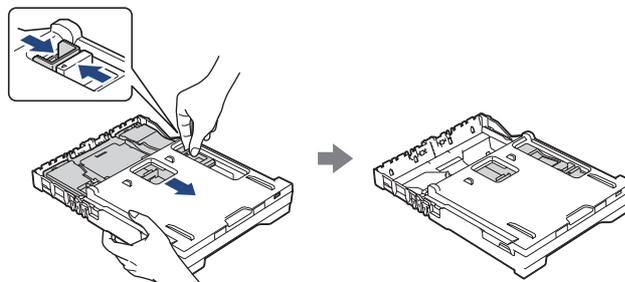


印刷が開始されます。

お願い

■ 印刷後、はがき・L判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、

- リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



- プリンタードライバーの [用紙種類] および [用紙サイズ] を設定し直してください。

スキャンする

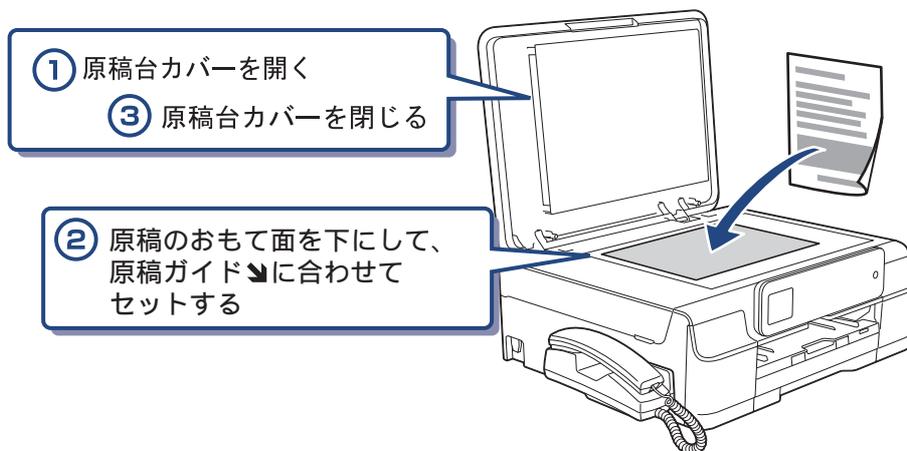
本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

お願い

- パソコンとの接続や、プリンタードライバーおよびソフトウェア のインストール方法は、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

1 原稿をセットする



2 待ち受け画面の を押す

3 【ファイル：フォルダ保存】を押す



4 【スタート】を押す

スキャンが開始されます。

付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使ってスキャンする

Windows® の場合

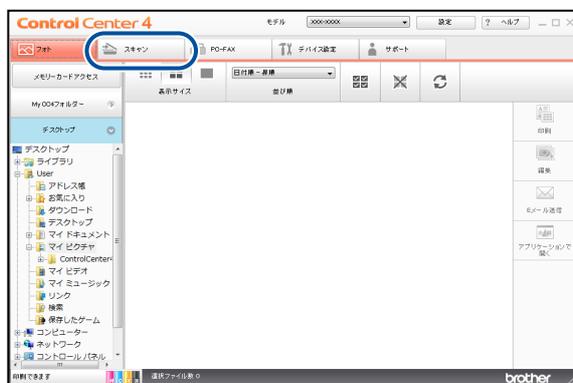
プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter4 を使ったスキャンの方法です。ControlCenter4 には、[Home モード] と [Advanced モード] の2種類のモードが用意されています。ここでは、[Home モード] を選択した手順で説明しています。

1 パソコンのスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] - [MFC-J727D] - [ControlCenter4] を選ぶ

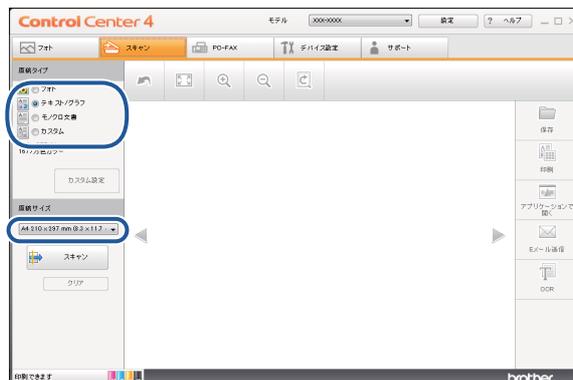
初回起動時のみ [Home モード] を選択してください。

Windows® 8 をご利用の場合は、[Brother Utilities] アイコンをクリックして、[Brother Utilities] ダイアログボックスを開き、[スキャンする] - [ControlCenter4] をクリックします。

2 [スキャン] タブをクリックする



3 [原稿タイプ] および [原稿サイズ] を選ぶ



4 原稿をセットする

5 [スキャン]、[保存] の順にクリックする

6 [ファイル形式]、[ファイル名] および [保存先フォルダー] を設定する

7 [OK] をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ControlCenter4 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編をご覧ください。

Macintosh の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter2 を使ったスキャンの方法です。

- 1 [Finder] のメニューから [移動] - [アプリケーション] を選択し、[アプリケーション] フォルダ内の [Brother] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

ControlCenter2 のウィンドウが表示されます。

- 2 原稿をセットする

- 3 [ファイル] を選ぶ

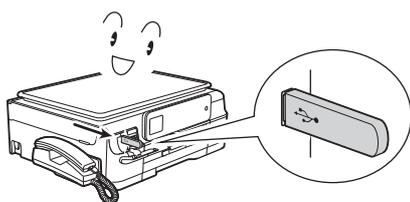
設定ダイアログが表示されます。内容を確認し、必要があれば設定を変更します。

- 4 [スキャン開始] をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ファイル形式や保存フォルダー、解像度など、好みや用途に合わせて設定が変えられます。ControlCenter2 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編をご覧ください。

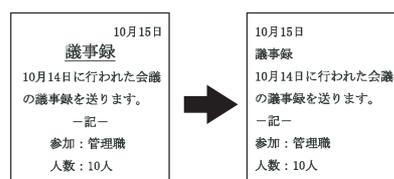
こんなこともできます

- 原稿をスキャンしてメディアに保存する



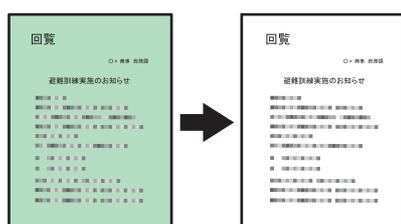
135 ページ

- スキャンした原稿の中の文章をテキストデータに変換してパソコンに保存する



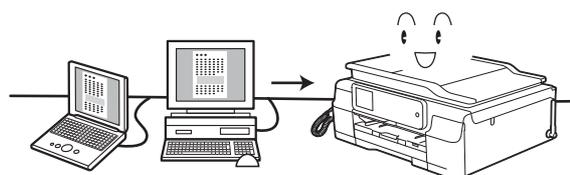
パソコン活用編

- 原稿の地色（用紙色）を消してスキャンする



135 ページ

- ネットワークスキャナーとして使う



ネットワーク編

パソコンからファクスを送る / 受信する

PC-FAX を利用すると、パソコン上で作成したファイルをファクスとして送信したり、受信したファクスメッセージをパソコンで見ることができます。

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX」をご覧ください。

パソコンからファクスを送る

- 1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ
- 3 プリンターの選択で、[Brother PC-FAX v.X] を選び、[印刷] をクリックする



PC-FAX 送信画面が表示されます。

- 4 テンキーでファクス番号を入力する



- 5  を押して、番号を確定する

- 6 [送信] をクリックする

ファクスが送信されます。

パソコンでファクスを受信する

PC-FAX 受信を設定する / 受信したファクスを見る

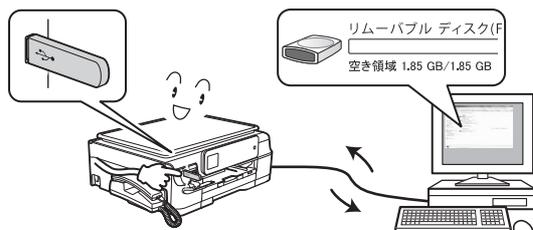
- 1 パソコンで PC-FAX 受信を起動する**
 パソコンのスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 受信] - [PC-FAX 受信を起動] の順に選びます。
 Windows® 8 の場合は、[Brother Utilities] アイコンをクリックして、[Brother Utilities] ダイアログボックスを開き、[パソコンでファクスを受信する] - [PC-FAX 受信を起動] をクリックします。
- 2 PC-FAX 受信ダイアログのメッセージ内容を確認して、[OK] をクリックする**
- 3 本製品待ち受け画面の  を押す**
- 4 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】 を順に押す**
 キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 5 【PC ファクス受信】 を押す**
- 6 メッセージを確認して、【OK】 を押す**
- 7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ**
 USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。
- 8 本製品でもファクスを印刷するかどうかを選ぶ**
 - 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
 - 【本体では印刷しない】
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。
- 9  を押して設定を終了する**
 本製品が PC-FAX 受信モードとなります。
- 10 ファクスを受信したら、パソコンのタスクトレイに表示された PC-FAX アイコンをダブルクリックする**
- 11 ファイルをダブルクリックしてファクスの内容を見る**

こんなこともできます

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用 する

(リムーバブルディスクドライブ)

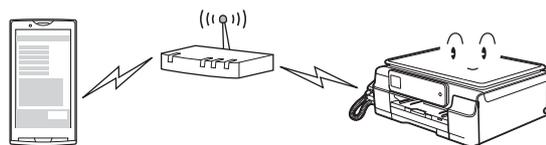
本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、パソコン上で [リムーバブルディスク] として使用できます。



パソコン活用編

● モバイルプリント機能

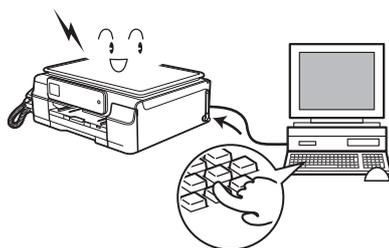
Android™やiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷したり、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送することができます。



モバイルプリント&スキャンガイド

● 本製品の設定をパソコンから変更する (リモートセットアップ)

パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。

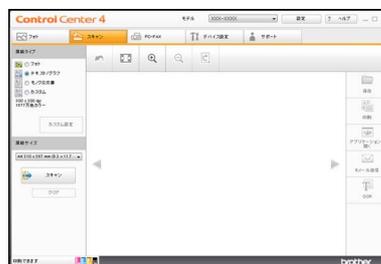


パソコン活用編

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡 単に起動する

(ControlCenter)

スキャナーやメモリーカードアクセス 機能などを簡単に起動できるソフトウェア「Control Center」を使用できます。



パソコン活用編

その他の機能については、「ユーザズガイド 応用編」および「ユーザズガイド パソコン活用編」を参照してください。

第1章

ご使用の前に

必ずお読みください

各部の名称とはたらき	26
外觀図	26
外面図	26
内面図	27
子機	28
操作パネル（本体）	29
待ち受け画面	30
タッチパネル	31
操作例	31
電源ボタンについて	32
電源をオフにする	32
電源をオンにする	32
操作パネル（子機）	33
画面（子機）	34
はじめに設定する	35
回線種別を設定する	35
子機の設置場所を確認する	36
日付と時刻を設定する	36
親機の場合	36
子機の場合	37
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する	38
電話とファクスの受信設定	39
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき	39
在宅モード：留守番機能がセットされていないとき	39
留守モード：留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき	39
電話・ファクスの受けかたを変更する	40
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない	43
呼出ベル回数を設定する	44
再呼出の設定をする	45
電話会社の有料サービス利用の有無を設定する	46
ナンバー・ディスプレイ機能を設定する	46
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	46
音量を設定する	47
親機の音量を設定する	47
子機の音量を設定する	48
着信音量を設定する	48
ボタン確認音を設定する	48
スピーカー音量を設定する	48
受話音量を設定する	48

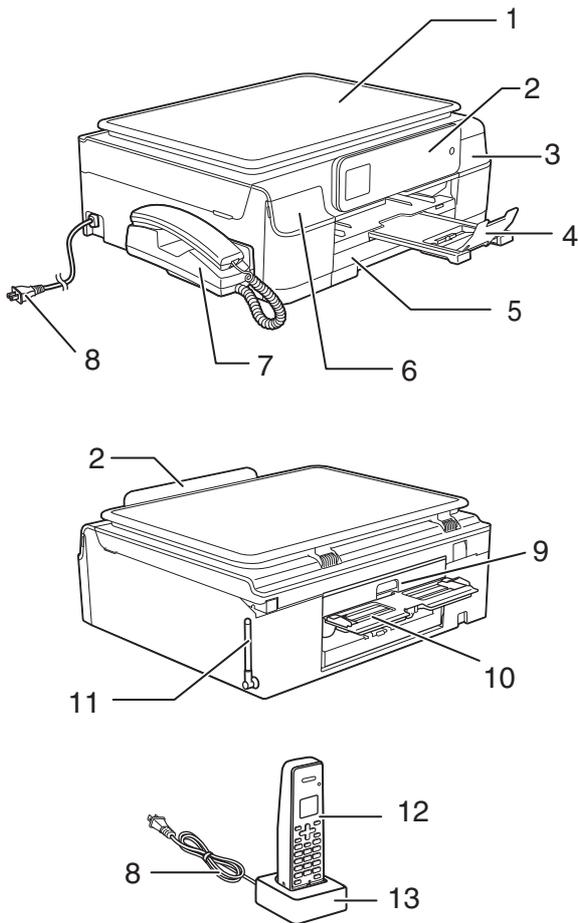
着信音と保留音を設定する	49
親機の着信音・保留音を選ぶ	49
子機の着信音を選ぶ	50
スリープモードに入る時間を設定する	51
お気に入り登録する	52
記録紙のセット	54
使用できる記録紙	54
専用紙・推奨紙	55
記録紙の印刷範囲	56
トレイの種類	56
記録紙トレイ	56
スライドトレイ	56
給紙トレイマーカーの見かた	56
手差しトレイ	56
最大排紙枚数について	57
記録紙トレイにセットする	57
スライドトレイにセットする	61
手差しトレイにセットする	63
記録紙の種類を設定する	65
記録紙のサイズを設定する	65
原稿のセット	66
原稿の読み取り範囲	66
原稿をセットする	66

各部の名称とはたらき

必ずお読みください

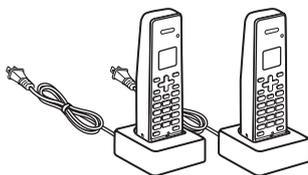
外観図

外面図

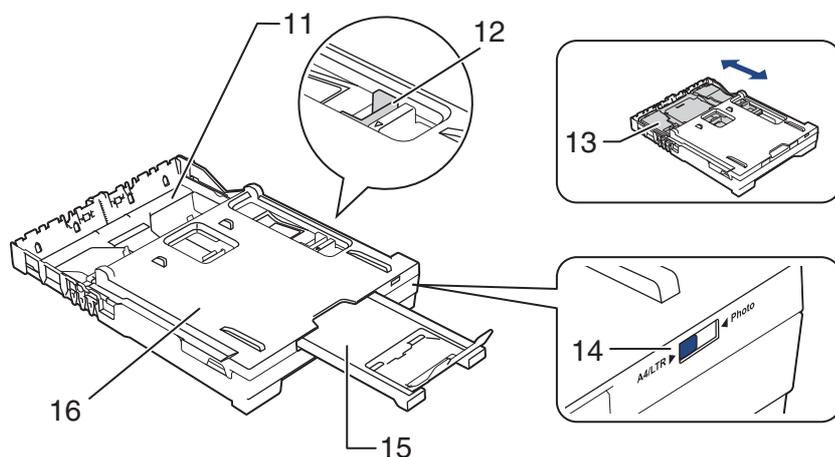
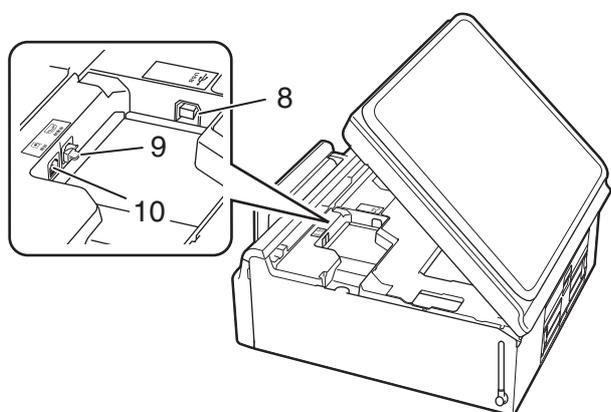
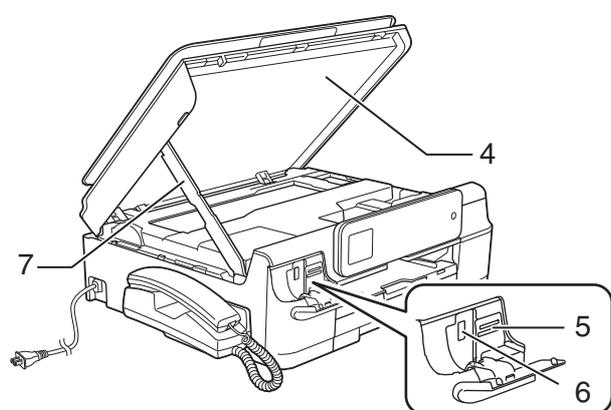
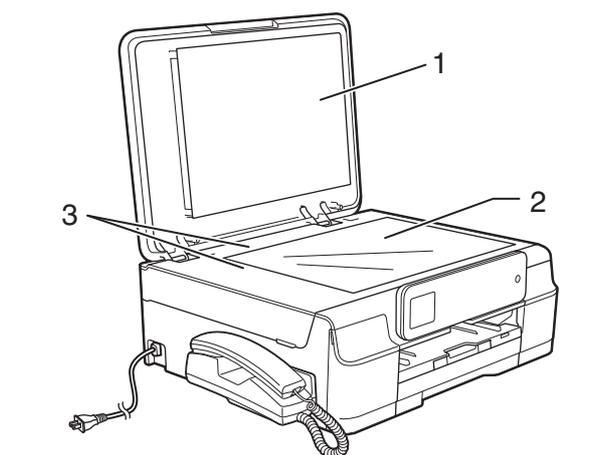


1	原稿台カバー
2	操作パネル
3	インクカバー（インクカートリッジ挿入口）
4	記録紙ストッパー
5	記録紙トレイ
6	メディアスロットカバー
7	受話器（親機）
8	AC 電源コード
9	紙づまり解除カバー
10	手差しトレイ
11	アンテナ
12	子機
13	子機充電器

MFC-J727DWIには子機が2台付属します



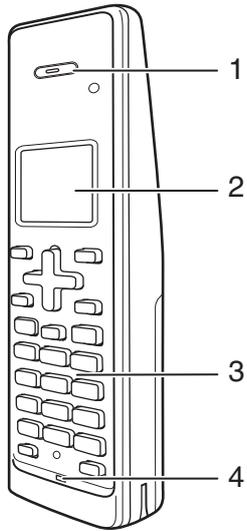
内面図



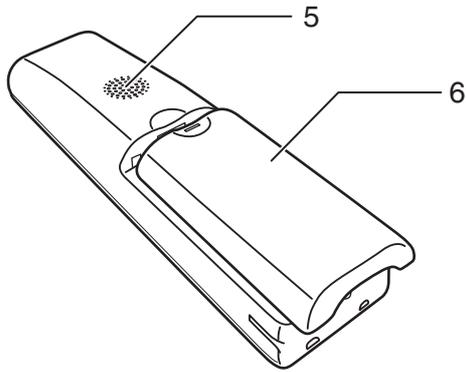
1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	原稿ガイド
4	本体カバー
5	カードスロット
6	PictBridge ケーブル差し込み口 /USB フラッシュメモリー差し込み口
7	本体カバーサポート
8	USB ケーブル差し込み口
9	停電時 (電話) 接続端子
10	回線接続端子
11	記録紙トレイ
12	リリースボタン
13	スライドトレイ L判光沢紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでトレイを奥に移動させます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。
14	給紙トレイマーカ 記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であることを示します。
15	記録紙ストッパー
16	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジタルプリント
こんなときは
付録

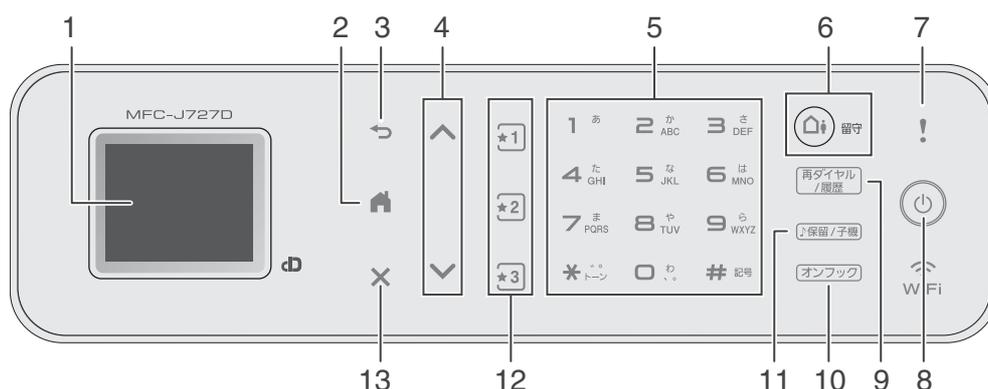
子機



1	受話口
2	画面
3	操作パネル
4	マイクと送話口
5	スピーカー
6	バッテリーカバー

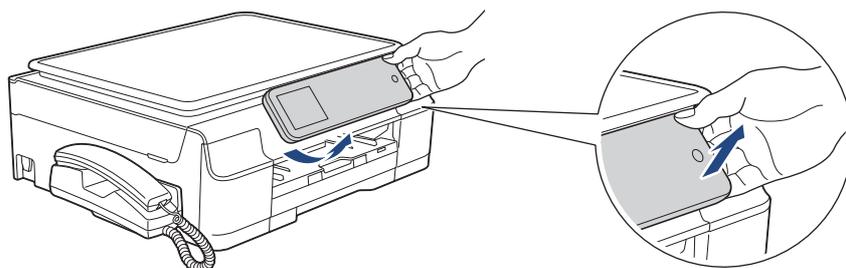


操作パネル（本体）



1	タッチパネル	各種のメニューボタンから、または操作方法を案内するメッセージに従い、画面に直接タッチして操作/設定を行います。 ⇒ 30 ページ「待ち受け画面」
2	ホームボタン	設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。
3	戻るボタン	1つ前の画面に戻るときに押します。
4	項目選択ボタン	上下にカーソルを進めて項目を選択します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。
6	留守ボタン	留守モードにするときに押します。 ⇒ 113 ページ「留守番機能をセットする」
7	エラーランプ	エラーが発生すると点灯します。
8	電源ボタン	電源をオン/オフするときには押します。 ⇒ 32 ページ「電源ボタンについて」
9	再ダイヤル/履歴ボタン	再ダイヤルするとき、発信履歴や着信履歴からダイヤルするときには押します。ダイヤル中は、ポーズを入力するときには押します。
10	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときには使用します。押すだけで、受話器をとる / 置く、と同じ役割を果たします。天気予報や各種自動音声案内など、通話が不要なときに受話器を上げずにダイヤルして、そのまま聞いたり、案内に従ってダイヤル操作をしたりすることが可能です。
11	保留 / 子機ボタン	通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。
12	お気に入りボタン	登録したお気に入り設定を呼び出すときに押します。お気に入り設定を登録していない場合に押すと、お気に入り設定を登録する画面が表示されます。
13	停止ボタン	処理中の動作を中止するときには押します。

■ 操作パネルは使いやすい角度に調整してください



※操作ボタンに触れないように、パネルは端を持って動かしてください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

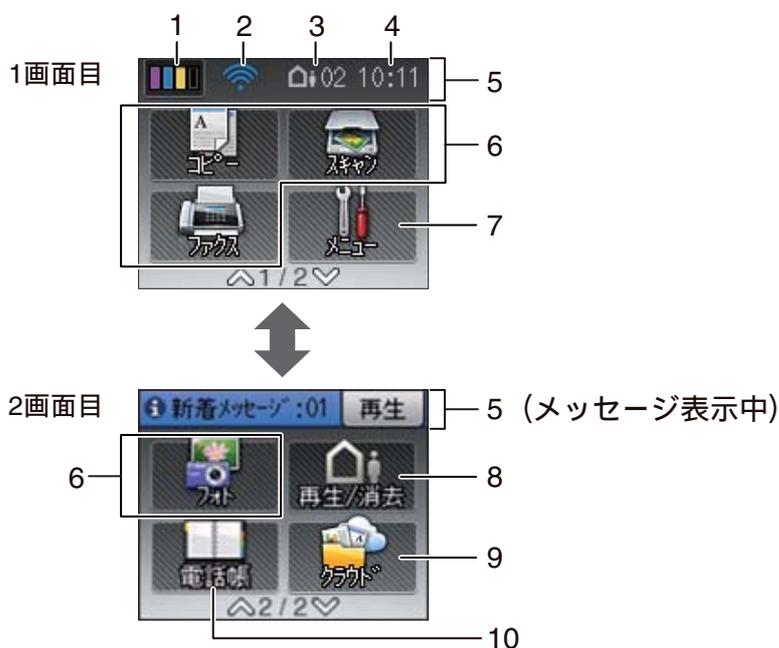
デジカメプリント

こんなときは

付録

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の時刻やインク残量などが確認でき、【メニュー】などよく使用するボタンが並んでいます。



1	インク残量表示 / インクメニューボタンまたはメモリー内のファクス保存件数		マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクに関するメニューを表示します。 ただし、ファクスの【メモリ保持のみ】(⇒ 100 ページ)を設定し、受信したファクスがメモリーに保存されると、インク残量表示  から、ファクスの保存件数表示  に変わります。
2	Wi-Fi 設定ボタン / 無線 LAN 電波状態		Wi-Fi® 設定を行うときに押します。(Wi-Fi 接続されていることを示す表示ではありません。) Wi-Fi 設定後は、Wi-Fi 設定ボタンは表示されません。 Wi-Fi 設定を変更する場合は、メニューボタンから設定を変更してください。
			無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階 () で表示します。
3	メモリーに保存されている音声メッセージの件数		メモリーに保存されている留守録メッセージおよび録音した会話の件数が表示されます。
4	時刻表示		現在の時刻が表示されます。
5	メッセージ表示		ファクスの受信や留守中の着信があった場合、エラーが発生した場合にメッセージを表示してお知らせします。メッセージが重複した場合は交互に表示されます。
6	モードボタン		コピー / スキャン / ファクス / デジカメプリント (フォト) の各モードに切り替えます。
7	メニューボタン		メニューを表示させるときに押します。
8	再生 / 消去ボタン		メモリーに保存されている音声メッセージをまとめて再生したり消去したりするとき押します。
9	クラウドボタン		クラウドサービスに接続します。 詳しくはクラウド接続ガイドをご覧ください。(クラウド接続ガイドはサポートサイトからダウンロードできます。)
10	電話帳ボタン		電話帳登録や電話帳検索するとき押します。

タッチパネル

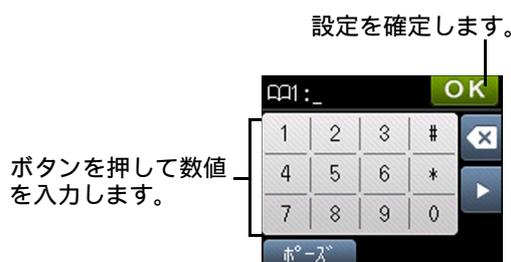
画面に表示された項目やボタンを指で軽く押して使用します。

重要

- タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあとすぐには、操作パネルに触れないでください。エラーを引き起こす恐れがあります。本製品の操作は待ち受け画面が表示されてから行ってください。



操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 を押す

メニュー画面が表示されます。

2 【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

3 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。



次の階層が表示されます。

4 【画面の明るさ】を押す



5 好みの明るさを選ぶ



ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

6 を押して設定を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン / オフできます。なお、本製品は、電源をオフにした場合でも、印刷品質を保つため、定期的にヘッドクリーニングを行う必要があります。ヘッドクリーニングを定期的に行うためには、電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。

- ❏ 電源ボタンで電源を切ることにより、待機状態（スリープモード）よりも更に消費電力を抑えることができます。
- ❏ 本体の電源がオフのときは、電話機コードが接続されていても電話はつながりません。電源がオフの場合に使用できない機能は以下のとおりです。
 - ファクス
 - 電話
 - 親機 / 子機操作
 - パソコンからの印刷
 - デジカメプリント
 - コピー
 - スキャン
 - レポート印刷
 - クラウド
- ❏ ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。
- ❏ ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 を 2 秒以上押す

画面に【電源をオフにします オフ後はファクス / 電話 / 子機が使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

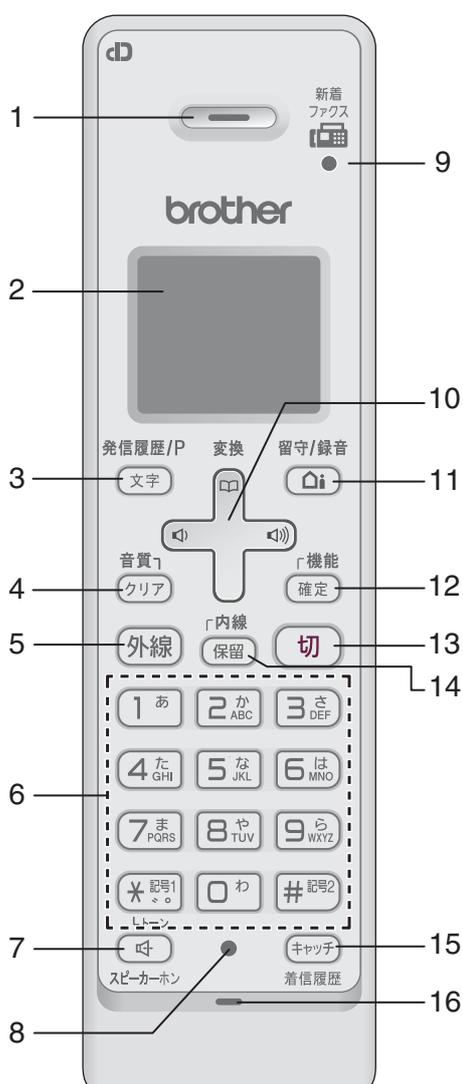
- ❏ 親機の電源をオフにすると子機に【電源 Off】と表示されます。

電源をオンにする

1 を押す

【子機が「デンゲン Off」表示の時は 子機のボタンを押すと使えるようになります】というメッセージが表示され、電源がオンになります。

操作パネル（子機）



1	受話口	相手の声が聞こえます。
2	画面	子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
3	再ダイヤル/発信履歴 / 文字切替 / ポーズ入力ボタン	最近かけた相手（10件まで）を検索しダイヤルする・入力文字の種類を切り替える・ダイヤル番号入力時にポーズを入れる・「ツーン音」がしているときに押してリダイヤルするときに押します。
4	クリア / 音質ボタン	文字を消すときと、通話中、相手の声の聞こえかたを調整するときに押します。
5	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。

6	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号1/トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号2ボタン	記号を入力するときに押します。
7	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
8	充電表示ランプ	充電中に点灯します。充電が終わると消灯します。
9	ファクス受信ランプ	ファクスを受信すると点滅して知らせます。
10	マルチセレクトボタン	上下を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン 音量ボタン	待機中は、電話帳を開くときに上下を押します。文字入力中は漢字変換するときに上下を押します。 着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに左右を押します。
11	留守/録音ボタン	子機で、留守モードに切り替えるとき、外線通話を録音するときに押します。
12	機能/確定ボタン	待機中は、子機のメニュー操作（機能設定）を開始するとき、設定内容を確定するときに押します。通話中は、通話拒否、ファクス受信をするときに押します。電話を取る前に押しても通話拒否ができません。
13	切ボタン	電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
14	内線/保留ボタン	内線通話をするとき、または保留にして相手にメロディを流すときに押します。
15	キャッチ/着信履歴ボタン	キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
16	マイクと送話口	子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

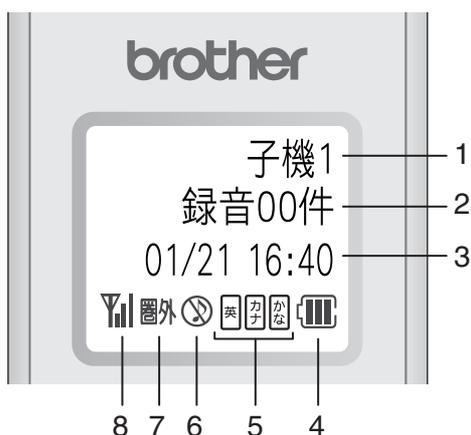
デジタルプリント

こんなときは

付録

画面（子機）

—非接続中/各種設定中—



※上図の表示は、すべてが同時に
出るわけではありません。

—外線接続中—



1	内線番号（子機名）
2	メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数を表示します。
3	日時表示
4	 バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリー残量の目安〉  : 20%以上  : 20%未満  : 10%未満  : 要充電
5	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は  (文字) を押して切り替えます。  : ひらがな(全角)と、変換キーを使用することにより漢字および記号が入力できます。  : カタカナ(半/全角)および記号が入力できます。  : アルファベット(大/小文字)、記号および数字が入力できます。
6	 着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7	 電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8	 通話中の電波の状態が表示されます。▮の数が多いほど、電波状態が良好です。
9	外線接続時間の目安(相手につながってからの時間ではなく子機の  を押してからの経過時間)

はじめに設定する

「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が既に完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは、設定し直してください。

回線種別を設定する

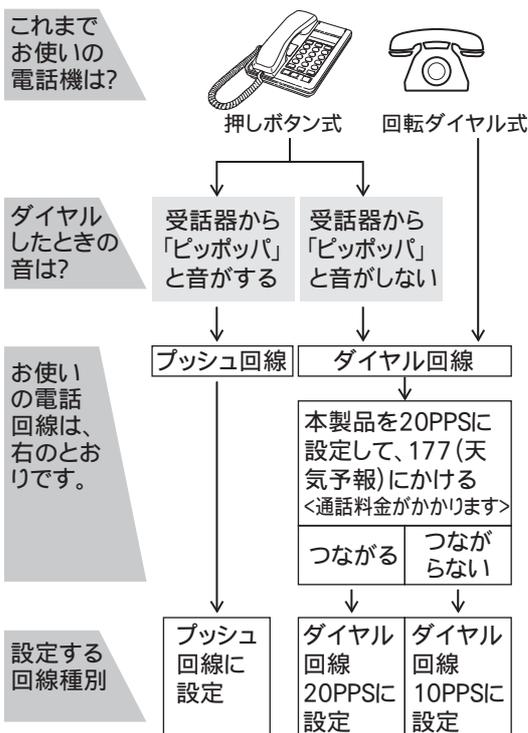
[回線種別設定]

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 受話器を取り、「ツー」という音が聞こえることを確認して、受話器を戻す

- 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。(⇒かんたん設置ガイド)
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 回線種別を確認する



3 を押す

4 【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 回線種別を選ぶ

-  回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
-  ひかり電話サービス、直取電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

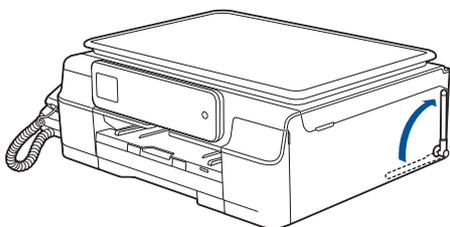
6 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報) などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

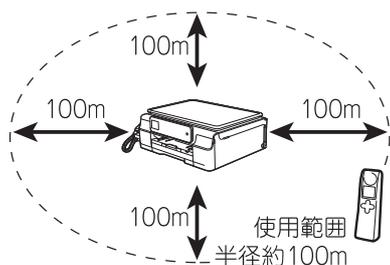
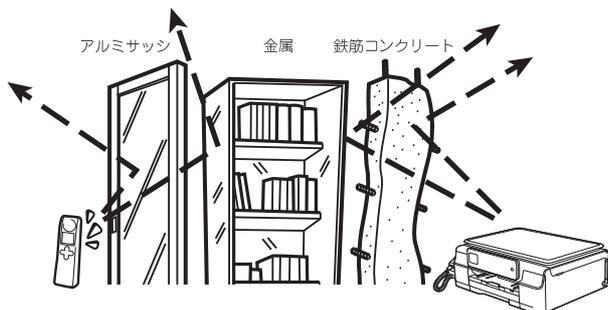
子機の設置場所を確認する

子機を設置するときは以下のような点に注意してください。

- 親機のアンテナを立ててください。
アンテナを立てていないと、電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



- 親機から障害物のない直線距離で約100m以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺的环境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。
親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。



- 子機は親機や他の子機から離して(推奨3m以上)設置してください。
- 本製品は、BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機を増設することはできません。

日付と時刻を設定する

【時計セット】

親機の場合

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は、ファクスを送信したときに相手側の記録紙に印刷されます。また、待ち受け画面の右上の表示はここで設定した時刻です。

1  を押す

2 【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

年の入力画面が表示されます。



3 画面に表示されているテンキーで西暦の下2桁を押し、【OK】を押す

2014年の場合は、【1】【4】を押します。

 日付や時刻を間違えて入力したときは、【×】を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

1月の場合は、【0】【1】を押します。

日付の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで日付を2桁で押し、【OK】を押す

21日の場合は、【2】【1】を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで時刻を24時間制で押し、【OK】を押し

午後0時45分の場合は、【1】【2】【4】【5】を押しします。

日付と時刻が設定されます。

7 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した時刻が表示されます。



-  時間の経過により、設定した時刻に誤差が生じてきます。また、長期間電源プラグを抜いたまましていると、お買い上げ時の設定に戻ります。時計は、定期的に設定し直すことをお勧めします。
-  発信元登録をしていない場合は、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

子機の場合

子機の日付と時刻を設定します。

- 1  を押し
- 2  で【時計設定】を選び、 を押し
- 3 日付を入力し、 または  を押し
例：2014年1月21日の場合
      と押しします。
- 4 時刻を24時間制(4桁)で入力し、 を押し
例：12時45分の場合
    と押しします。
- 5  を押して設定を終了する

-  数字を入れ間違えたときは、 で間違えた箇所まで  (カーソル) を移動し、入力し直してください。
-  設定を途中で中止するときは  を押ししてください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

【発信元登録】

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2014/01/21 15:25 052XXXXXXX 山田 太郎 ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 を押す

2 【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

ファクス番号の入力画面が表示されます。

3 ファクス番号を入力し、【OK】を押す

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

 ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前を入力画面が表示されます。

4 名前を入力し、【OK】を押す

16文字まで入力できます。
⇒ 204 ページ「文字の入力方法」

設定が有効になります。

5 を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

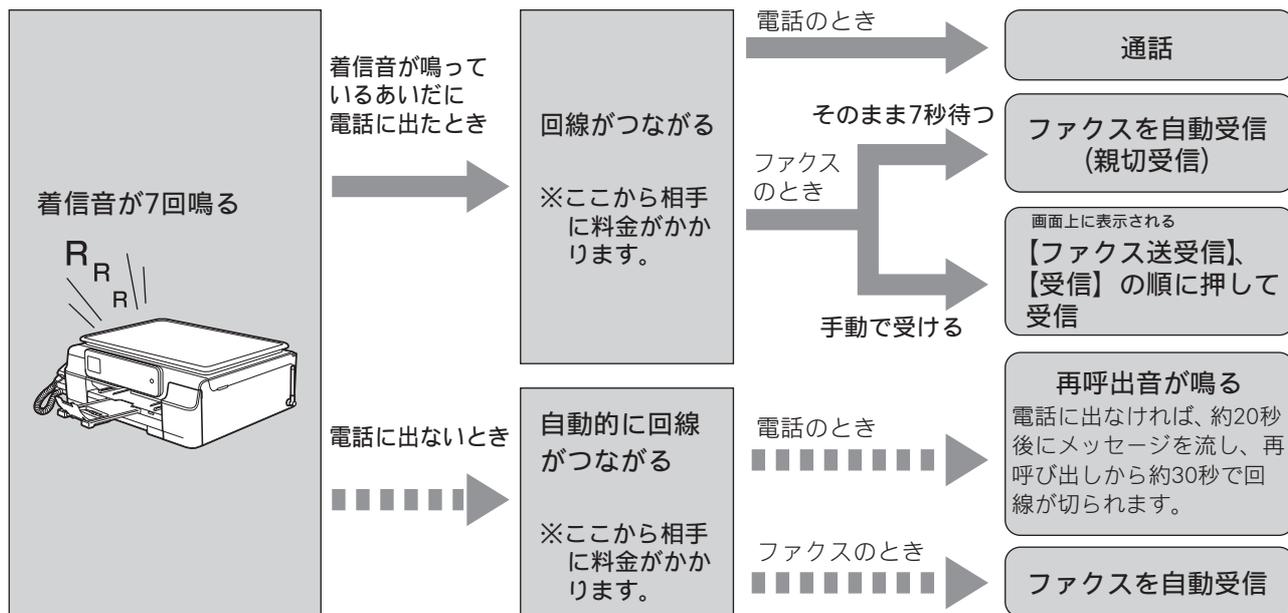
- (1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」(38 ページ) の手順 ①、② を行う
- (2)  を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す
- (3)  を押して操作を終了する

電話とファクスの受信設定

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

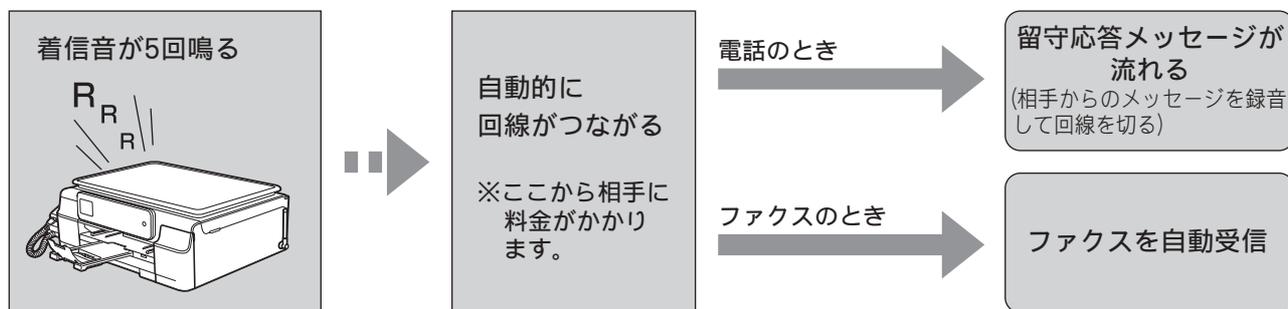
お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。40 ページから 45 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

在宅モード：留守番機能がセットされていないとき



- 着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。
- 7回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。30秒のあいだ電話に出ないでいると、「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して、数秒後に回線が切れます。

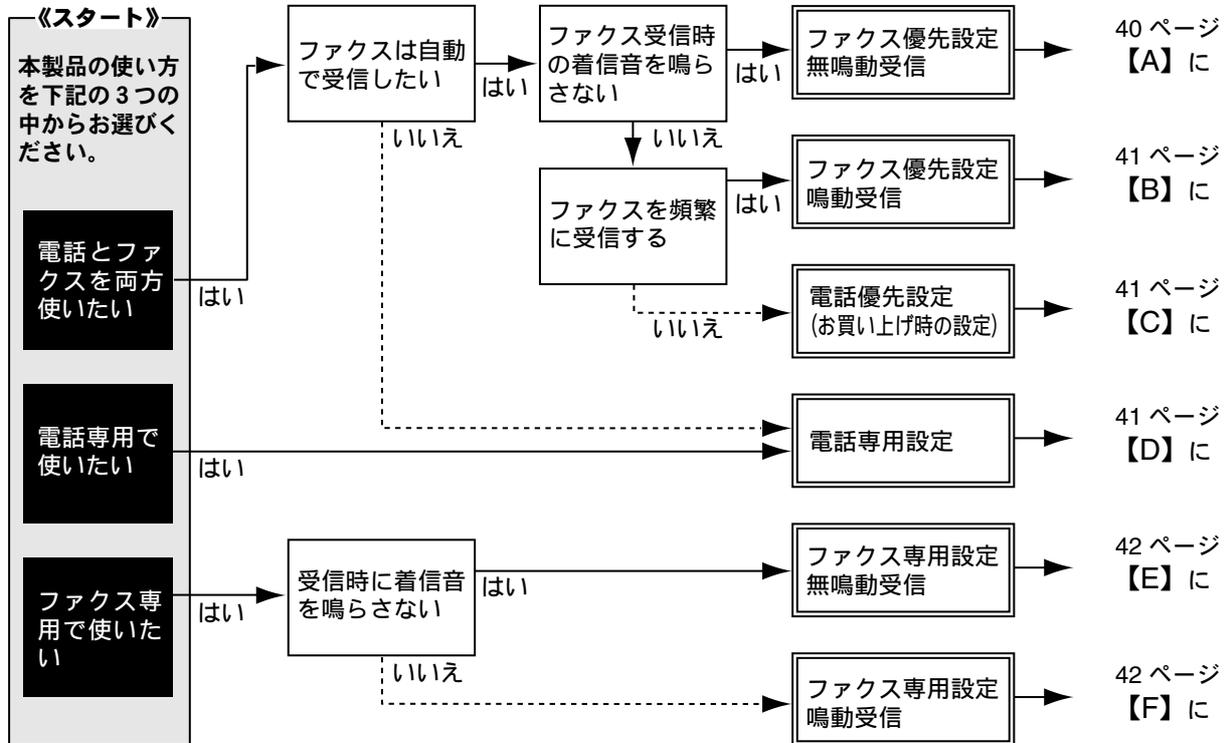
留守モード：留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき



- 5回の着信音が鳴ったあとに自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守しております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

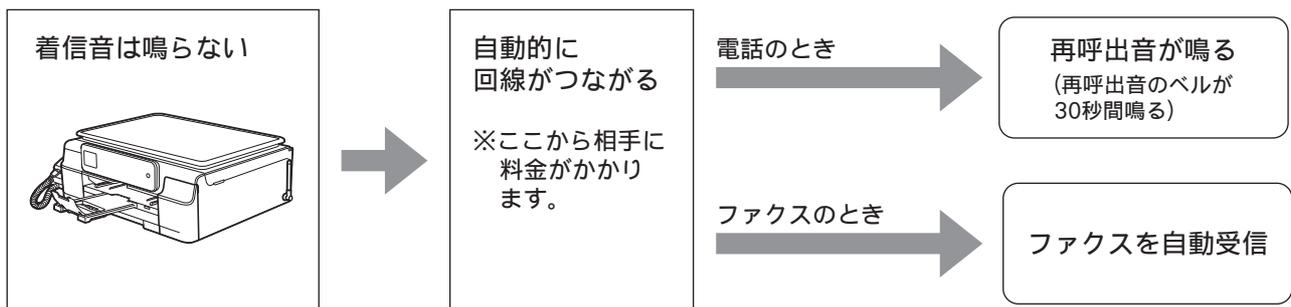
電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



【A】 本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける (ファクス優先設定無鳴動受信)

着信音の呼出ベル回数を0回にし、再呼出ベル設定を【オン (相手にベル)】、再呼出時間を【30秒】にします。
⇒ 43 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」



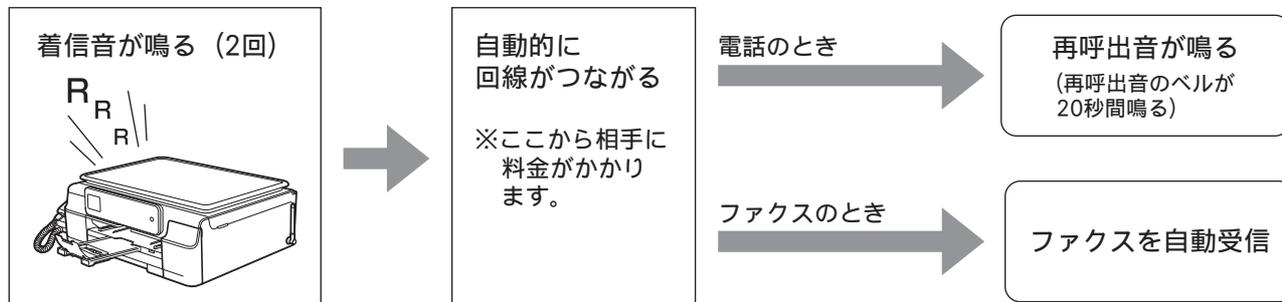
【B】 着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を1～2回にし、再呼出ベル設定を【オン（相手にベル）】にします。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」

例：着信音の呼出ベル回数を2回、再呼出ベル設定を【オン（相手にベル）】、再呼出時間を【20秒】に設定した場合



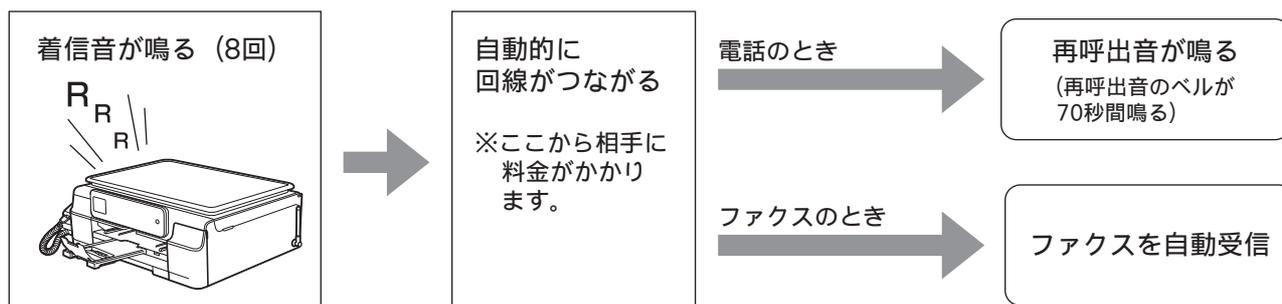
【C】 電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信音の呼出ベル回数を7～15回にし、再呼出ベル設定を【オン（相手にベル）】にします。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」

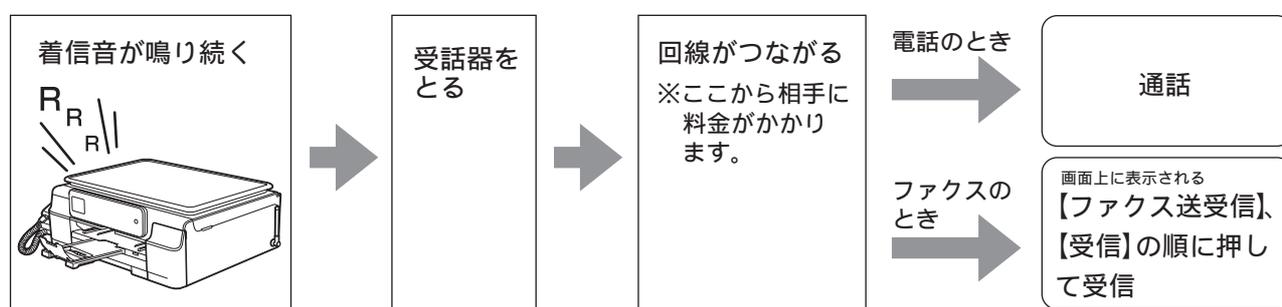
例：着信音の呼出ベル回数を8回、再呼出ベル設定を【オン（相手にベル）】、再呼出時間を【70秒】に設定した場合



【D】 電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信音の呼出ベル回数を無制限にします。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

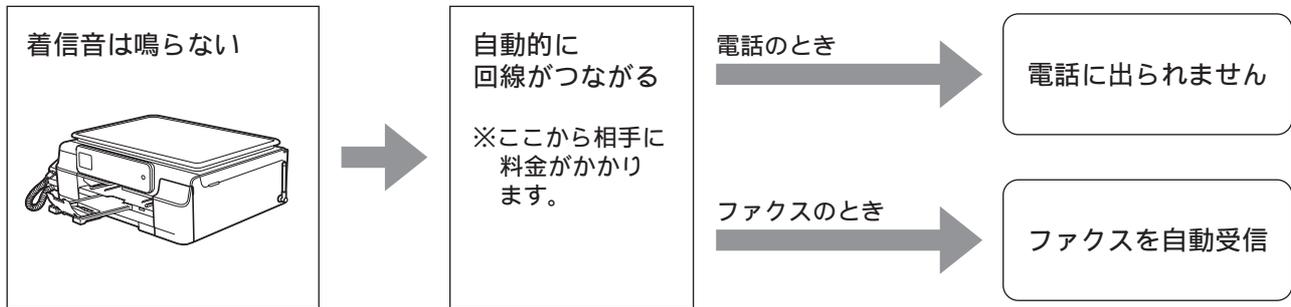


【E】 本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 0 回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】にします。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」



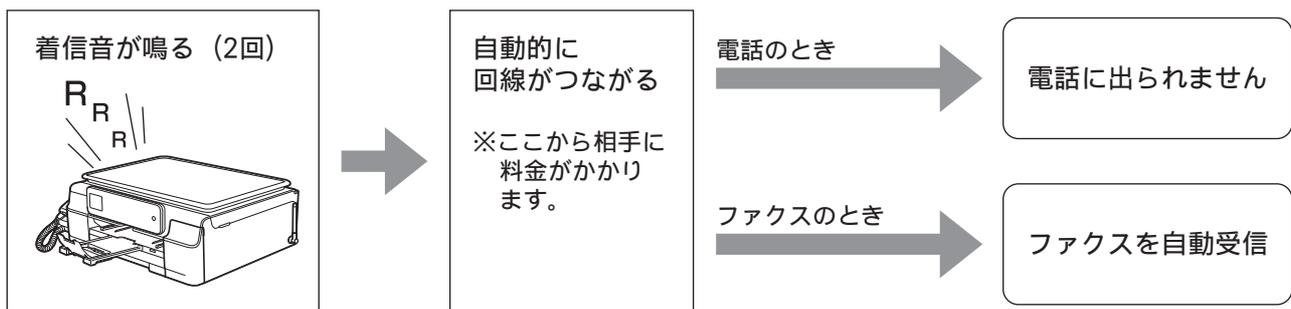
【F】 本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 1～2 回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】にします。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」

例：着信音の呼出ベル回数を 2 回、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】に設定した場合



ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない

【ファクス無鳴動受信】

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

- ☑ ファクス無鳴動受信を【する】に設定すると、電話のときはベル音が鳴ります。このベル音はメロディなどに変更できません。
- ☑ ファクス無鳴動受信を【する】に設定すると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話を取らなくても相手側には通話料金が発生します。
- ☑ ファクス無鳴動受信を【する】に設定しても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【ファクス無鳴動受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し 電話のときは再呼出音が鳴る設定にします / する / しない】と表示されます。

3 【する】を押す

【する】に設定すると、ファクスのときはベルが鳴らずにすぐ受信を開始し、電話のときの再呼び出し動作が、次のように設定されます。

- 再呼出方法：オン（相手にベル）
- 再呼出時間：30 秒

【しない】に設定すると、7 回の呼び出しのあと、ファクスのときは受信を開始し、電話のときの再呼び出し動作が、次のように設定されます。

- 再呼出方法：オン（相手にベル）
- 再呼出時間：30 秒

4 を押して設定を終了する

呼出ベル回数を設定する

[呼出ベル回数]

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを自動判別）までに鳴る着信音の回数を設定します。

お買い上げ時は「在宅モード7回」、「留守モード5回」に設定されています。

0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。）なお、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【呼出ベル回数】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【在宅モード】を押す

4 呼出回数を選ぶ

- 【0～15（回）】：
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】：
受話器を取るまで着信音が鳴り続けます。受話器を取ると回線がつながります。

5 【留守モード】を押す

6 呼出回数を選ぶ

- 【0～7（回）】：
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】：
外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
⇒ 44 ページ「トールセーバーを利用する」

7 を押して設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2回：音声メッセージがある
- 5回：音声メッセージがない

呼出音の3回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が2回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりませんが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第4章「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

【再呼出ベル設定】

着信を知らせる呼出音が、⇒44 ページ「呼出ベル回数を設定する」で設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。留守モードに設定されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的にを行います。ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。お買い上げ時は、ファクスの場合はすぐに受信を開始、電話の場合は30秒のベル音が鳴ってから電話が切れるように設定されています。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【再呼出ベル設定】を押して、自動着信後の動作を選ぶ

- 【オン（相手にベル）】：
電話とファクスの両方を使うときに選びます。ファクスは自動的に受信し、電話のときは、「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音が鳴ります。
- 【オン（相手にメッセージ）】：
電話とファクスの両方を使うときに選びます。ファクスは自動的に受信し、電話のときは、在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。在宅応答メッセージは自分の声で録音することもできます。
⇒111 ページ「応答メッセージを録音する」
- 【オフ（ファクス専用）】：
本製品をファクス専用として使うときに選びます。回線接続後は再呼び出しをせず、すぐにファクス受信を開始するため電話は受けられません。

- 【オン（相手にベル）】または【オン（相手にメッセージ）】を選んだ場合：⇒手順 4 へ
- 【オフ（ファクス専用）】を選んだ場合：⇒手順 5 へ

4 再呼び出し時間を選ぶ

再呼出音を何秒鳴らすかを設定します。
【20秒 / 30秒 / 40秒 / 70秒】から選びます。

5 を押して設定を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する

電話会社と下記の有料サービスを契約している場合に設定します。電話会社と契約するだけでは、正しく動作しない場合がありますので、契約の有無に従って設定を行ってください。

- ナンバー・ディスプレイ機能
- キャッチホン・ディスプレイ機能

 本製品はキャッチホン機能にも対応していますが、特に設定を必要としません。

 本製品はネーム・ディスプレイ機能には対応していません。

ナンバー・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【あり】に設定されています。契約されていない場合は、【なし】に設定してください。ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の上、【あり】に設定しているときは、各種のオプション機能が利用できます。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 83 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

- ナンバー・ディスプレイ機能を契約されている場合は、必ず【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【あり】または【なし】を押す

4 を押して設定を終了する

-  ナンバー・ディスプレイ機能を利用するときには、呼出回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。
⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【なし】に設定されています。キャッチホン・ディスプレイ機能を契約されている場合は、下記の手順で【あり】に設定してください。キャッチホン・ディスプレイについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 88 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【あり】を押す

4 【キャッチディスプレイ】を押す

5 【あり】を押す

6 を押して設定を終了する

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

親機の音量を設定する

1 を押す

2 【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 変更したい音量を選ぶ

- 【着信音量】
着信時のベルやメロディの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】
オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。
- 【受話音量】
受話口から聞こえる相手の声の大きさを調整します。

4 目的の音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

 受話音量に【切】はありません。

5 を押して設定を終了する

 着信音量は着信中に表示される  /  でも調整できます。

 スピーカー音量は、**オンフック** を押し、「ツー」という音が聞こえているときに  を押して表示される  /  でも調整できます。

 スピーカー音量を【切】に設定していても、下記の場合は【小】の音量で音が鳴ります。

-  留守を押したときの応答メッセージ再生音
-  を押したときの録音メッセージ再生音
-  着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。
 - 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルツ、トゥルツ」という再呼出音
 - 内線呼出音
-  ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通話中に受話音量を変える

電話をかけたとき

- (1) 通話中に  を押す
- (2)  /  を押す

電話を受けたとき

- (1) 通話中に  を押す
- (2)  /  を押す

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

お買い上げ時は、【■■■□】（3段階目）に設定されています。

- 1  を繰り返し押しして音量を選ぶ
音量はオフ【□□□□】を含めて5段階から選べ、オフにすると画面にが表示されます。

 2秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の【ON / OFF】を設定します。お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

- 1  を押す
- 2  で【鳴動音設定】を選び、 を押す
- 3  で【3. ボタン確認音】を選び、 を押す
- 4  で【ON】または【OFF】を選び、 を押す
- 5  を押しして設定を終了する

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

 を押しして、「ツー」という音が聞こえているとスピーカーホン
またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
お買い上げ時は、【■■□□】（2段階目）に設定されています。

- 1  を押す
スピーカーホン
- 2  を繰り返し押しして音量を選ぶ
スピーカー音量は4段階の調整ができます。
- 3 通話中の変更であれば、そのまま通話を続け、通話中でなければ、 を押しして設定を終了する

 2秒間操作しないと元の画面に戻ります。

 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げてください。

受話音量を設定する

受話口から聞こえる相手の声の大きさが調整できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2段階目）に設定されています。

- 1 通話中に  を押しして音量を選ぶ
受話音量は4段階の調整ができます。

 2秒間操作しないと元の画面に戻ります。

 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げてください。

着信音と保留音を設定する

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。

お願い

- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。(受話器を上げていると設定できません。)
- 呼出回数を0回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を3回以上に設定してください。
⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

着信音はベル音4種類と下表の30曲の中から、保留音は下表の30曲の中から選べます。お買い上げ時は、着信音が【ベル1】、保留音は【花のワルツ】に設定されています。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第2番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌 (交響曲第9番)	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデー
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷 (ふるさと)
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

- を押す
- 【ファクス / 電話】、【メロディ設定】を順に押す**
キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。
- 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ**
- メロディを選び、【OK】を押す**
現在選択されているメロディが流れます。
【OK】を押すとメロディが止まります。

 ベル音は保留メロディには設定できません。
- を押して設定を終了する

-  構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。
-  再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしているときは相手先ごとに着信音を設定できます。
⇒ 85 ページ「着信鳴り分けを設定する」

子機の着信音を選ぶ

子機の着信音はベル音 1 種類と下表にある 6 曲の中から選べます。お買い上げ時は、ベル音に設定されています。

子機の個体それぞれで好みの着信音に設定できます。

曲名	
1	アヴェ・マリア
2	大きな古時計
3	ガボット
4	きらきら星
5	四季より「春」
6	花のワルツ

- 1 を押す
- 2 で【鳴動音設定】を選び、を押す
- 3 で【1. 着信音】を選び、を押す
現在選択されているメロディが流れます。
- 4 で着信音を選び、を押す
- 5 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。お買い上げ時は【5分】に設定されています。

1  を押す

2 【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分 / 60分】から選びます。

4  を押して設定を終了する

 使用するときには、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

お気に入り登録する

よく使う機能や設定を「お気に入り」として 3 つまで登録することができます。登録後は操作パネル中央のお気に入りボタンから、ワンタッチで呼び出せるようになります。

- 1**  を押す
- 2** 【お気に入り設定】 を押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 3** 【★1 - 未登録 -】 を押す
保存先は 【★1 - 未登録 -】 / 【★2 - 未登録 -】 / 【★3 - 未登録 -】 から選びます。
- 4** 【次へ】 を押す
- 5** 登録したい機能を選ぶ
【コピー／ファクス／スキャン】 から選びます。
- 6** 機能を設定する
 - 【コピー】
コピー画質
記録紙タイプ
記録紙サイズ
拡大 / 縮小
コピー濃度
スタック / ソート コピー
レイアウト コピー
便利なコピー設定 (インク節約モード / 裏写り除去コピー / ブックコピー / 地色除去コピー)
 - 【ファクス】
宛先
ファクス画質
原稿濃度
カラー設定
リアルタイム送信
海外送信モード
 - 【スキャン】
メディア保存 (カラー設定 / 解像度 / ファイル形式 / ファイル名 / スキャンサイズ / 地色除去)
- 7** 設定できたら 【OK】 を押す
- 8** 画面に表示されているキーボードでお気に入り設定に表示する名前を入力し、【OK】 を押す
6 文字まで入力できます。お気に入り設定の名前を編集しない場合は、そのまま 【OK】 を押します。
⇒ 204 ページ「文字の入力方法」
- 9** 設定内容を確認し、【登録する】 を押す
- 10** 【OK】 を押す
- 11**  を押して設定を終了する

お気に入り設定の内容を変更するには

- (1) 「お気に入りを登録する」(52 ページ)の手順③で、変更したいお気に入り設定を選ぶ
- (2) 【設定変更】を押す
【前に登録したお気に入り設定は 消去されますがよろしいですか? / はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
- (4) 設定内容を変更し、【OK】を押す
- (5) 名前を確認し、【OK】を押す
◆名前を変えるときは、を押して現在の名前を消し、入力し直します。
- (6) 設定内容を確認し、【登録する】を押す
- (7) 【OK】を押す
- (8) を押して設定を終了する

お気に入り設定の内容を削除するには

- (1) 「お気に入りを登録する」(52 ページ)の手順③で、削除したいお気に入り設定を選ぶ
- (2) 【消去】を押す
【消去してよろしいですか? はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
◆選んだお気に入り設定が削除されます。
- (4) を押す

お気に入りを呼び出すには

- (1) 操作パネル中央の★1、★2、★3のうち、いずれかを押す
◆お気に入り登録した設定が呼び出されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。記録紙をセットしたときは、本製品で【記録紙タイプ】を設定してください。

⇒ 65 ページ「記録紙の種類を設定する」

パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。

⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」または「Macintosh 編」-「印刷の設定を変更する」

記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	坪量 (厚さ)	サイズ			一度にセットできる枚数			
		コピー	デジカメ プリント	プリンター	記録紙 トレイ	スライド トレイ	手差し トレイ	
普通紙	64g/m ² ~ 120g/m ² (0.08mm ~ 0.15mm)	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	100* ¹	-	1	
インクジェット紙	64g/m ² ~ 200g/m ² (0.08mm ~ 0.25mm)	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	20			
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) * ²	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	20			
OHP フィルム	(0.13mm 以下)	A4 B5 A5	-		10			
封筒	75g/m ² ~ 95g/m ²	-	-	長形 3号封筒 長形 4号封筒 洋形 2号封筒 洋形 4号封筒 Com-10 DL 封筒	10			
インデックス カード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	-	-	インデックス カード	30			
往復はがき (折っていないもの)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	-	-	往復はがき	20			
2L判 * ³ (127mm × 178mm)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	2L判	2L判	2L判	20			
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)	(0.25mm 以下)	-	-	ポストカード	-			20
L判 * ³	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) * ²	L判	L判	L判	-			20
はがき * ³	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	はがき	はがき	はがき	-	20		

*¹ 80g/m² の場合

*² ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m² ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。また、手差しトレイであれば、0.28mm までの光沢紙がご使用いただけます。

*³ 普通紙、インクジェット紙、光沢紙に対応しています。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番 (サイズ)	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA (A4)	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4 (A4)	20 枚入り
		BP71GLJ50 (L判)	50 枚入り
		BP71GLJ100 (L判)	100 枚入り
		BP71GLJ300 (L判)	300 枚入り
		BP71GLJ500 (L判)	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙(マット仕上げ)	BP60MA (A4)	25 枚入り

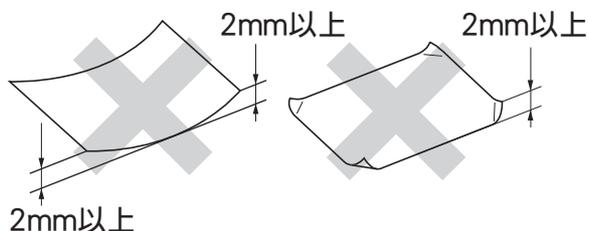
重要

- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用しないでください。めくれたラベルが内部に貼り付き、故障の原因となることがあります。

お願い

- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

- 🔍 OHP フィルムやブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 🔍 ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書－印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。
- 🔍 カールしている記録紙について
特に、はがきや光沢紙 (L判、2L判) はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

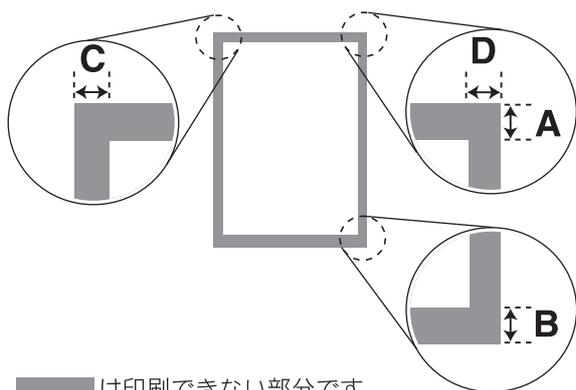
こんなときは

付録

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

❏ 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を選択すると、印刷できない部分（余白）は、基本的に「0」になりますが、お使いのパソコンの OS によっては、完全に「0」にならない場合もあります。



■ は印刷できない部分です

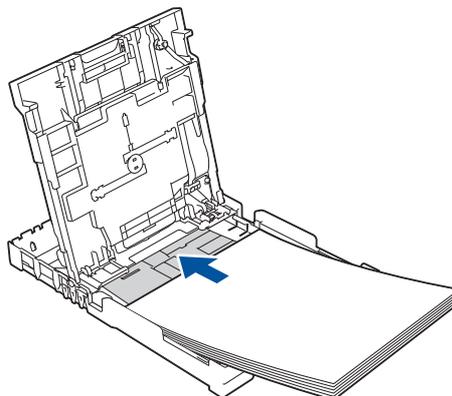
(単位：mm)

記録紙	A	B	C	D
A4/A5/A6/B5 (JIS) レター / エグゼクティブ 2L 判 / L 判 インデックスカード ポストカード はがき	3	3	3	3
長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。この数値はお使いの記録紙によっても変わることがあります。

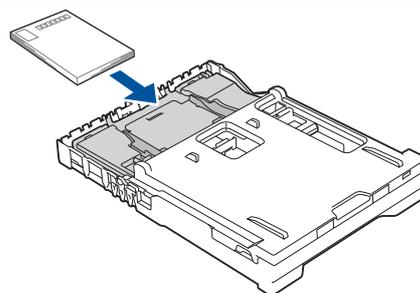
トレイの種類

記録紙トレイ



L 判、はがき、ポストカード以外の記録紙と、封筒をセットします。
⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L 判記録紙とはがき、ポストカードをセットします。
⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」

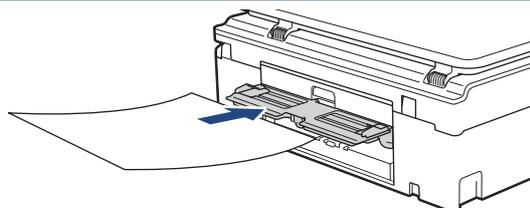
給紙トレイマーカーの見かた

記録紙トレイ正面右側の給紙トレイマーカーで、現在、記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかがわかります。スライドトレイの位置によって、青色のマーカーが自動的に切り替わります。

A4/LTR 側：記録紙は記録紙トレイから供給されます。

Photo 側：記録紙はスライドトレイから供給されます。

手差しトレイ



記録紙トレイやスライドトレイの記録紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできます。

⇒ 63 ページ「手差しトレイにセットする」

最大排紙枚数について

坪量 80g/m² の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙トレイ上に保持できます。大量の印刷を行うときは、記録紙があふれないように、順次排紙トレイから取り出してください。

写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- 光沢紙
- OHP フィルム
- 封筒
- インデックスカード
- 往復はがき

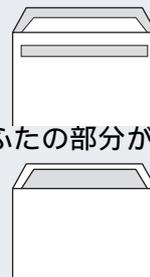
L 判記録紙およびはがき、ポストカードは、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」

重要

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

- ・ 窓付き封筒
- ・ エンボス加工がされたもの
- ・ 留め金のついたもの
- ・ 内側に印刷がほどこされているもの
- ・ ふたにのりが付いているもの



- ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

お願い

- 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- 封筒は、坪量 75g/m² ~ 95g/m² のものをお使いください。

ご使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

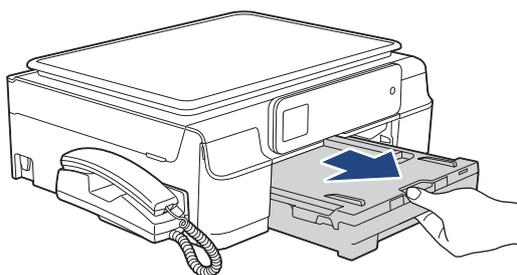
コピー

デジタルプリント

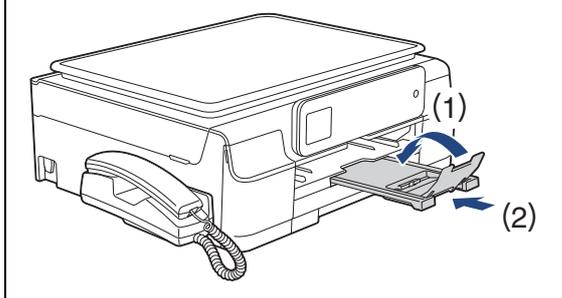
こんなときは

付録

1 記録紙トレイを引き出す

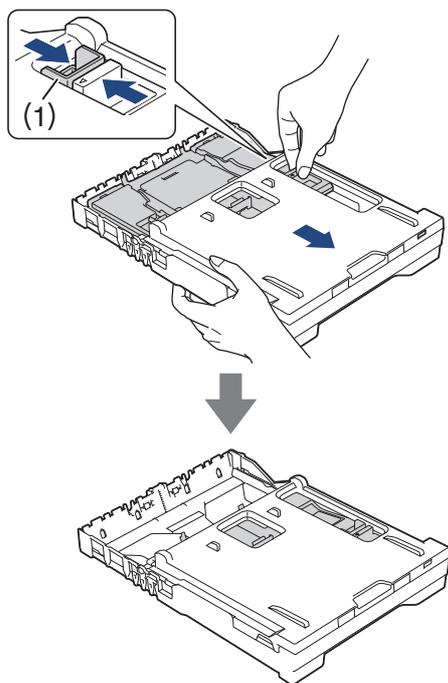


記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてから記録紙トレイを引き出してください。



お願い

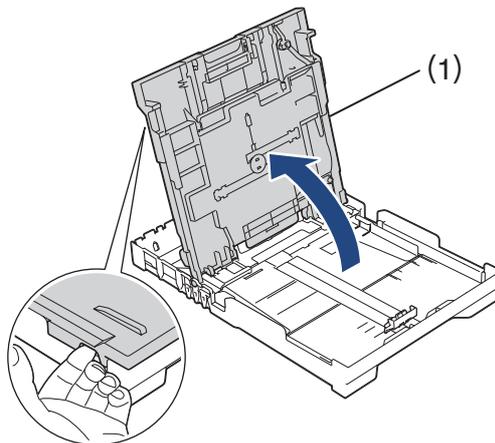
■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。リリースボタン (1) をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



2 トレイカバー (1) を開く

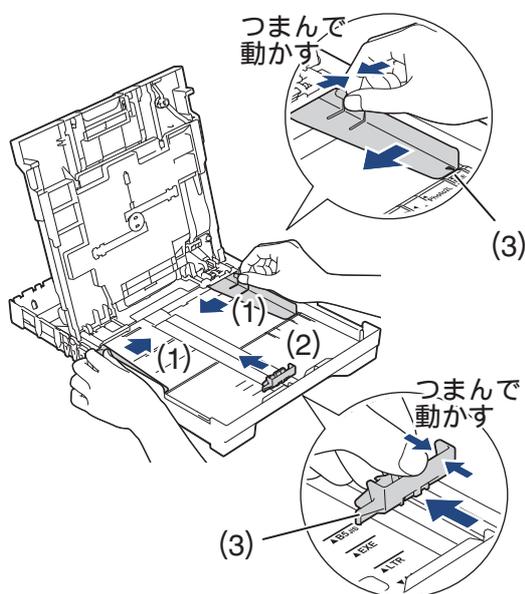
注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



3 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) の△の目印 (3) を、記録紙サイズを目盛りに合わせて

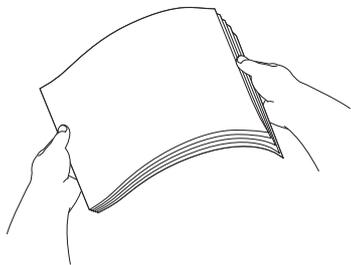
幅のガイドは両手で動かしてください。



4 記録紙をさばく

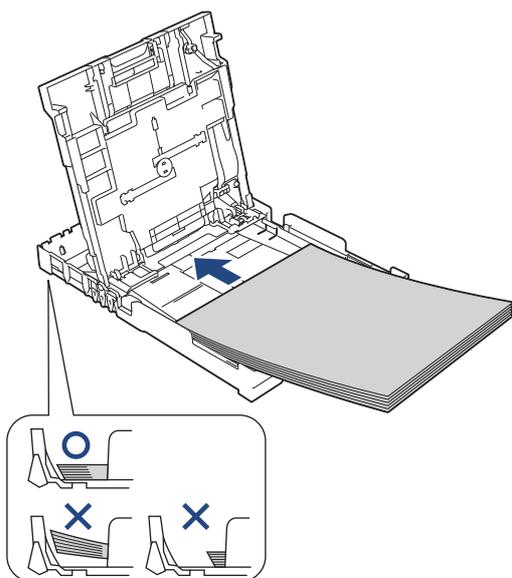
記録紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

記録紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



お願い

■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。

■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1枚多く光沢紙が同封されています。

■ 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーで次の設定をしてください。

・ Windows® の場合

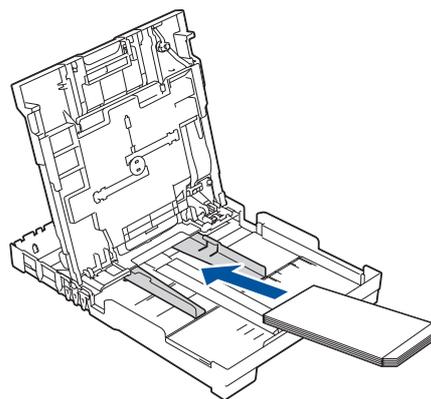
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

「Windows® 編」－「[拡張機能] タブの設定」で [上下反転]

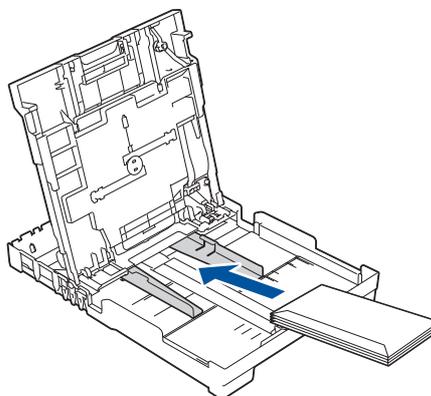
・ Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

「Macintosh 編」－「レイアウト」で [ページの方向を反転]



■ 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



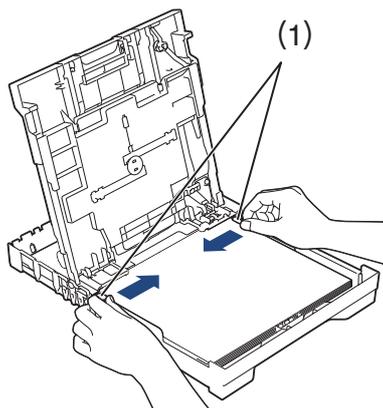
■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、封筒を1枚ずつセットしてください。

6 幅のガイド (1) を、記録紙にぴったりと合わせる

注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

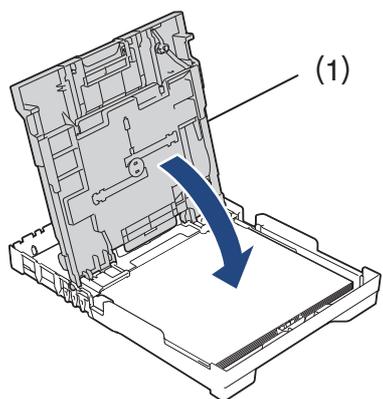
幅のガイドは両手で動かしてください。



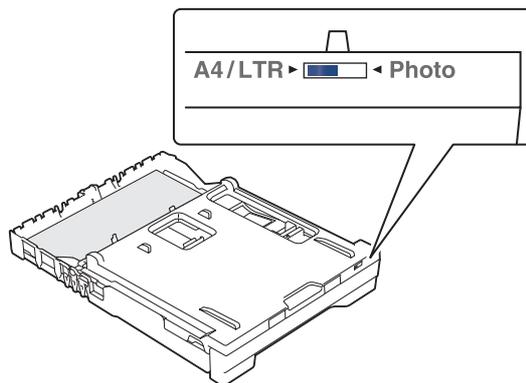
お願い

- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつかないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー (1) を閉める



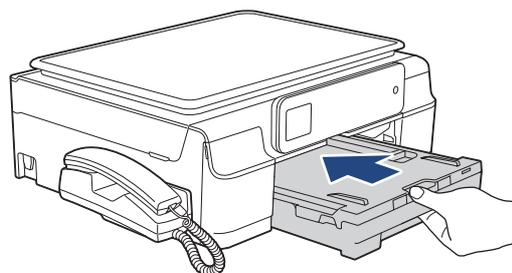
8 給紙トレイマーカーが「A4/LTR」側になっていることを確認する



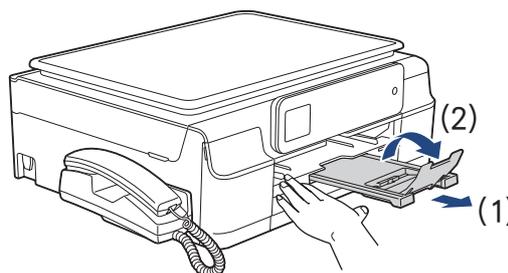
9 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。



10 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



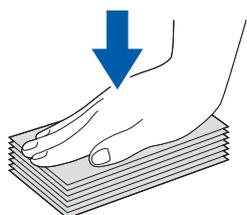
- ④ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- ④ 封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

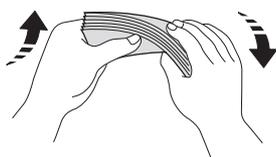
スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- L判記録紙
- はがき
- ポストカード

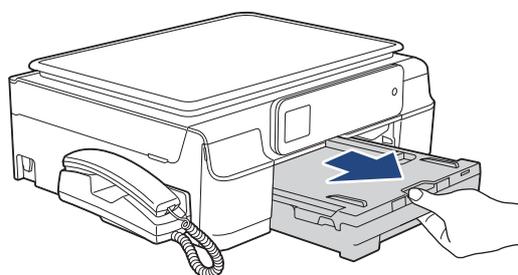
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



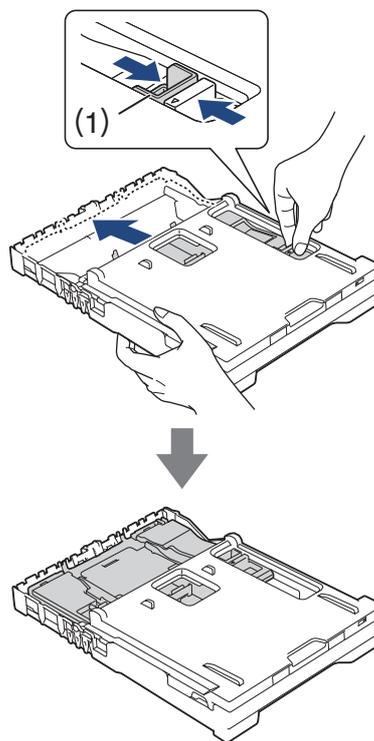
記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



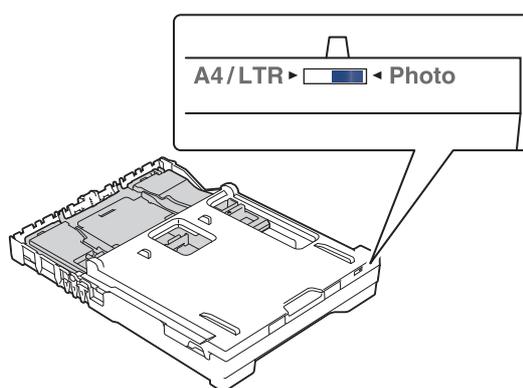
2 記録紙トレイを引き出す



3 リリースボタン (1) をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす



4 給紙トレイマーカーが「Photo」側になっていることを確認する



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

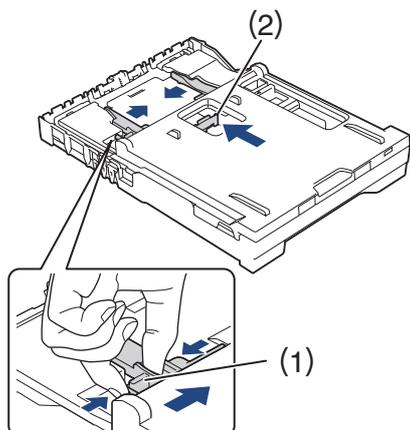
コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

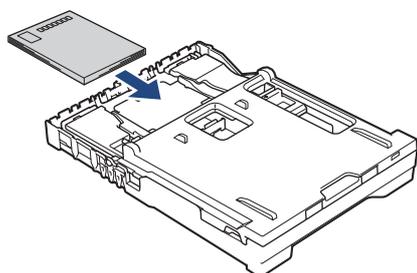
5 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) を、記録紙のサイズの目盛りに合わせて



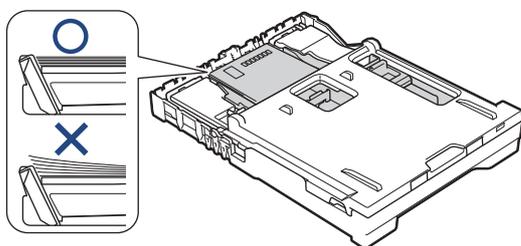
6 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。

印刷時は、一番上にある記録紙から順に給紙されます。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



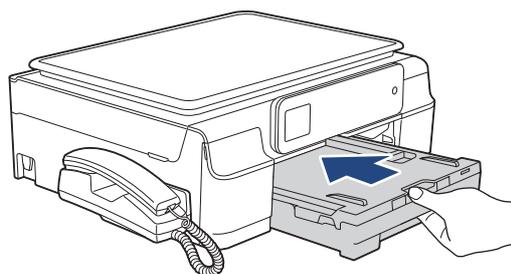
お願い

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- プラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※プラザー BP71 写真光沢紙には、1枚多く光沢紙が同封されています。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけてください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

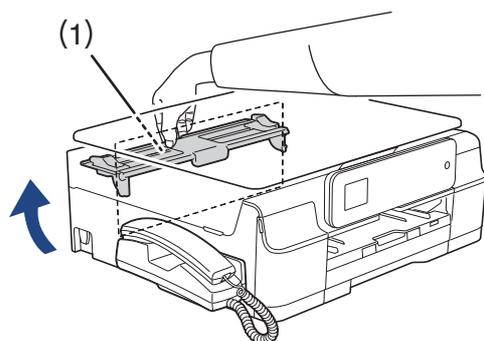


手差しトレイにセットする

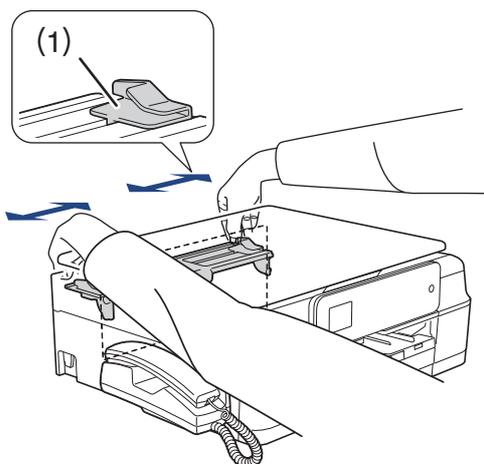
記録紙トレイやスライドトレイの記録紙を入れ替えることなく、すぐに1枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできます。

一度にセットできるのは1枚です。

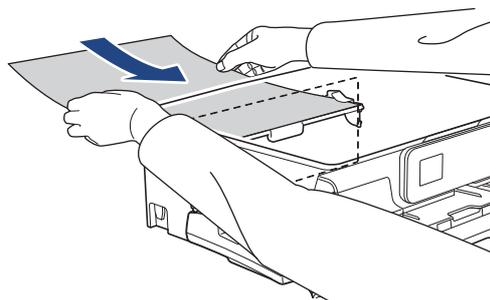
1 背面の手差しトレイ (1) を起こす



2 ガイド (1) をつまんで動かし、記録紙のサイズに合わせる



3 印刷する面を上にして、記録紙を1枚だけセットする

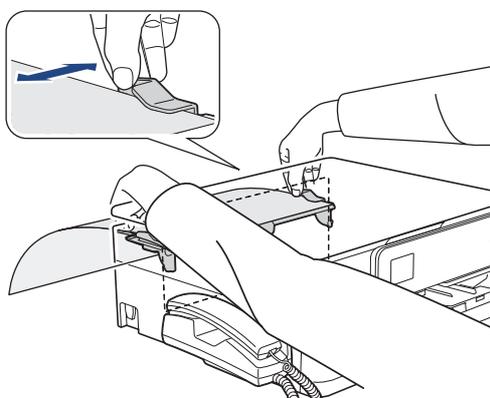


お願い

- 記録紙を2枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 記録紙トレイから給紙させた記録紙での印刷中に、手差しトレイに記録紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを記録紙のサイズに合わせる

記録紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



お願い

- ガイドで記録紙を強くはさまないでください。記録紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、記録紙を取り出してセットし直してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

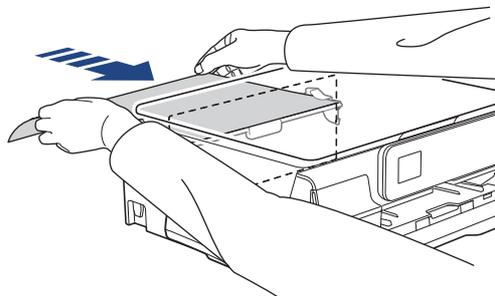
こんなときは

付録

5 両手で記録紙を挿入し、記録紙の上端が奥に当たるまで差し込む

記録紙が奥に当たって、記録紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。

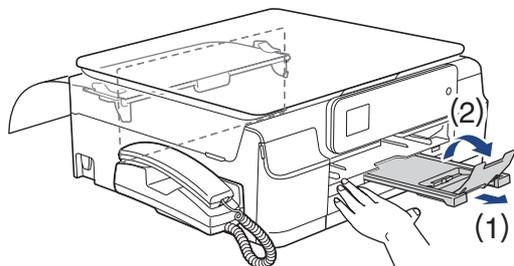
一度にセットできるのは1枚です。



お願い

- 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで奥に差し込んでください。

6 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



記録紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

- ❗ 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- ❗ 記録紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。
- ❗ レポート印刷 (⇒ 201 ページ)、テストプリント (⇒ 160 ページ)、受信ファクスは、手差しトレイからは印刷できません。手差しトレイの記録紙は自動的に排紙され、記録紙トレイから印刷されます。
- ❗ ヘッドクリーニングが始まると、手差しトレイの記録紙は自動的に排紙されます。ヘッドクリーニングが終了してからもう一度記録紙をセットしてください。
- ❗ 記録紙を手差しトレイにセットしたあと、印刷せずに給紙をやめたいときは、記録紙を両手で持ちゆっくりと引き抜いてください。

記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

1 を押す

2 【基本設定】、【記録紙タイプ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

記録紙タイプ設定画面が表示されます。

3 記録紙の種類を選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】から選びます。

 ブラザー BP71 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。

 カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

4 を押して設定を終了する

 コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
⇒ 121 ページ 「L 判の写真写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
⇒ 132 ページ 「L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」

 パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
Windows® の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Windows® 編」 - 「印刷の設定を変更する」
Macintosh の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Macintosh 編」 - 「印刷の設定を変更する」

記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

1 を押す

2 【基本設定】、【記録紙サイズ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

記録紙サイズ設定画面が表示されます。

3 記録紙のサイズを選ぶ

【A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判】から選びます。

設定が有効になります。

4 を押して設定を終了する

 コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
⇒ 121 ページ 「L 判の写真写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
⇒ 132 ページ 「L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」

 パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
Windows® の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Windows® 編」 - 「印刷の設定を変更する」
Macintosh の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Macintosh 編」 - 「印刷する」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

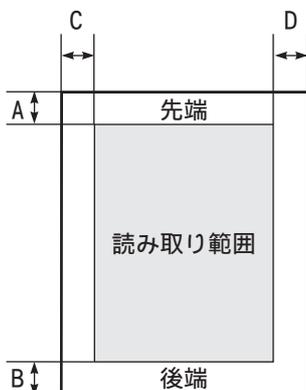
こんなときは

付録

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



(単位：mm)

機能	A	B	C	D
ファクス	3		3	
コピー	3		3	
スキャン	1		1	

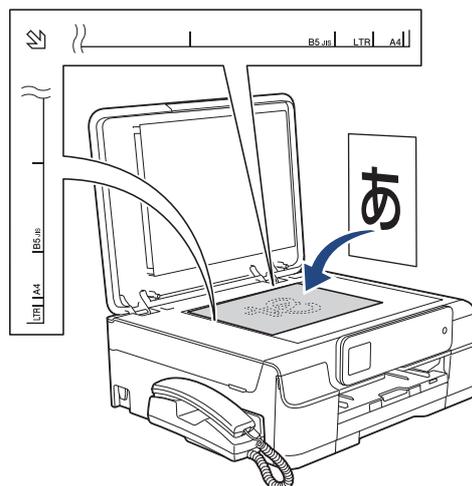
原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

お願い

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

- 1 原稿台カバーを持ち上げる
- 2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



- 3 原稿台カバーを閉じる

- 🔍 本など厚みのある原稿は、原稿台カバーの上から軽く押さえると、隙間から光が入らずきれいに読み取ることができます。

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。
- 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

第2章

電話

基本

電話をかける / 受ける	68
電話をかける	68
親機の場合	68
子機の場合	68
電話を受ける	68
親機の場合	68
子機の場合	68
電話帳からかける	69
親機の場合	69
子機の場合	69
通話を保留にする	69
親機の場合	69
子機の場合	69
通話を録音する	70
親機の場合	70
子機の場合	70
録音した通話を再生 / 消去する	70
親機の場合	70
子機の場合	71
いろいろな電話のかけかた	72
通話中の各種操作	74
電話を取り次ぐ	75
親機から子機へ電話を取り次ぐ	75
子機から親機へ電話を取り次ぐ	75
子機から子機へ電話を取り次ぐ	76
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	76
親機から子機へ	76
子機から親機へ	76
子機から子機へ	76
内線通話をする	77
親機から子機へかける	77
子機から親機へかける	77
子機から子機へかける	78
3人で同時に話す	78
親機から子機を呼び出してトリプル通話 (3者通話) する	78
子機から親機を呼び出してトリプル通話をする	79
子機から別の子機を呼び出してトリプル通話をする	79
かかってきた電話を拒否する	80
通話前に電話を拒否する	80
親機の場合	80
子機の場合	80
通話中に電話を拒否する	80

親機の場合	80
子機の場合	80

キャッチホンで電話を受ける	81
キャッチホンで電話を受けた場合	81
キャッチホンでファクスを受けた場合	81

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	83
ナンバー・ディスプレイサービスとは	83
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能	83
電話番号表示機能	84
電話がかかってきたときは	84
着信履歴を利用する	84
着信鳴り分けを設定する	85
電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える (親機)	85
電話帳に登録している相手からの着信音を変える (子機)	86
迷惑電話指定する	86
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	87
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する	88

電話をかける / 受ける

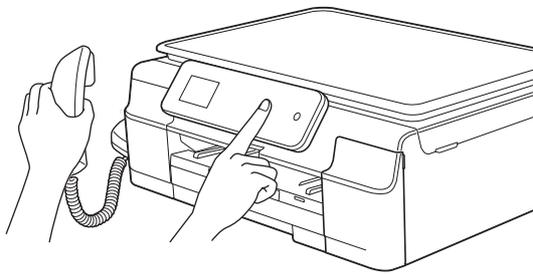
基本

親機や子機で電話をかけたり受けたりできます。

電話をかける

親機の場合

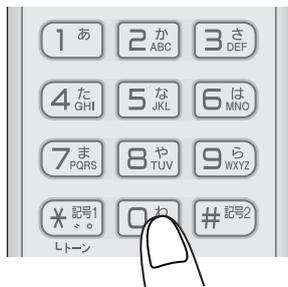
- 1 受話器を取る
- 2  ~  を押して相手に電話をかける



通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

- 1 子機を充電器から取り、 を押す
子機を充電器に置いていないときは、 を押します。
- 2  ~  を押して相手に電話をかける

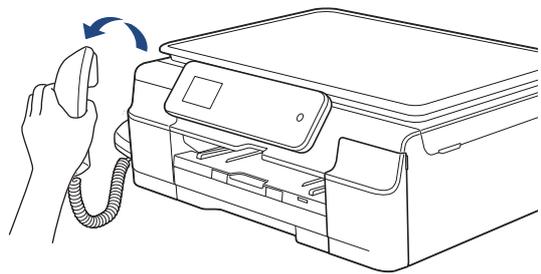


通話が終わったら子機を充電器に戻します (または  を押します)。

電話を受ける

親機の場合

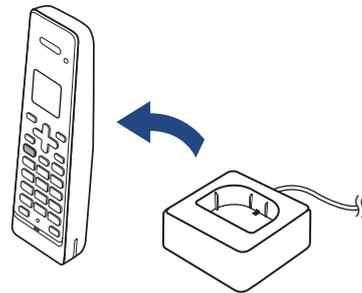
- 1 電話がかかってきたら、受話器を取って受ける



通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

- 1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る
子機を充電器に置いていないときは、 を押します。



通話が終わったら子機を充電器に戻します (または  を押します)。

電話帳からかける

【電話帳 / 短縮 (親機)】

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

⇒ 104 ページ「親機の電話帳に登録する」

⇒ 107 ページ「子機の電話帳に登録する」

親機の場合

- 1 / で待ち受け画面を送り、

を押す

- 2 【あいうえお順検索】または【番号順検索】を押す

短縮番号がわかっている場合は、【電話帳番号入力】欄に番号を入力すると、直接相手先を呼び出せます。

- 3 かける相手を選ぶ

画面は、 / で送ることができます。

- 4 受話器を取り、【電話をかける】を押す

を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
 のときは五十音順に、
 のときは短縮番号順に並べ替えられます。

子機の場合

- 1 子機を充電器から取る

- 2 を押す

- 3 で電話をかける相手を選ぶ

- 4 を押す

通話を保留にする

親機の場合

- 1 通話中に を押す

保留メロディが流れます。(相手にこちらの声が聞こえなくなります。)

- 2 受話器を受話器台に戻す

- 3 通話に戻るときは、受話器を取る

子機の場合

- 1 通話中に を押す

保留メロディが流れます。(相手にこちらの声が聞こえなくなります。)

- 2 通話に戻るときは、 を押す

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- ① 1回の操作で録音できるのは180秒です。180秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- ② 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- ③ 録音できる通話数は最大99件、総録音時間は合計で29分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- ④ 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。
- ⑤ 再生は、子機からもできます。

親機の場合

1 通話中に【録音】を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、を押す

子機の場合

1 通話中に、子機の を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、、、 のいずれかを押す

録音した通話を再生 / 消去する

親機の場合

録音が終わると、待ち受け画面の最上段に【新着メッセージ：01】のように表示されて、会話データが本製品のメモリーに新しく保存されたことをお知らせします。メッセージ右横の【再生】を押すと、新着分だけを再生することができます。

一括で再生または消去するには、次のように操作します。

お願い

■ 親機では、待ち受け画面のメッセージ右横の【再生】を押して新着再生したのちは、通話中の会話録音分と留守録メッセージをと分けて再生することはできません。これらを分けて再生したいときは、子機で操作してください。

なお、メモリーには、録音された順番ではなく、留守録メッセージ⇒通話中の会話録音の順にまとめて保存されます。一括で再生するときの目安にしてください。

1 / で待ち受け画面を送り、

 を押す

2 【再生】または【全消去】を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。を押すと再生を中止できます。
- 【全消去】を選んだ場合：【音声消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。【はい】を押すとメモリー内の会話データおよび留守録メッセージがすべて消去されます。【いいえ】を押すと消去を中止します。

子機の場合

- 1 子機の  を押す
- 2  で【再生 / 消去】を選び、 を押す
- 3  で【会話】を選び、 を押す
- 4  で【1件ずつ】または【全件】を選び、 を押す

【1件ずつ】を選ぶと記録されているメッセージの1件目の詳細が表示されます。

 で操作の対象を選んで  を押してください。

- 5  で【再生】または【消去】を選び、 を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。
- 【消去】を選んだ場合：【消去？1.スル
2.シナイ番号を入力】と表示されます。
 を押して消去します。

- 6  を押して操作を終了する

ご使用の前に

電話

フアクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

親機の場合

- (1) 受話器を取る
- (2)  を押す

子機の場合

- (1) 子機を充電器から取り、 を押す
- (2)  を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

親機の場合

- (1)  を押す
- (2)  で画面を送り、かける相手を選ぶ
- (3) 【電話をかける】を押す
- (4) 受話器を取る

子機の場合

- (1) 充電器から子機を取る
- (2)  を押す
- (3)  で相手先を選ぶ
- (4)  を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合のみ、使用できます。

親機の場合

- (1)  を押す
- (2)  を押して、着信履歴に切り替える
- (3)  で画面を送り、かける相手を選ぶ
- (4) 【電話をかける】を押す
- (5) 受話器を取る

子機の場合

- (1) 充電器から子機を取る
- (2)  を押す
- (3)  で相手先を選ぶ
- (4)  を押す

受話器を置いたままかける

親機の場合

- (1) **オンフック** を押し、相手先の電話番号を
押す
- (2) 相手が出たら、受話器を取る
※途中で操作をやめるときやかけ直すときは、もう
一度 **オンフック** を押します。

子機の場合

- (1) **スピーカーホン** を押す
- (2) 相手先の電話番号を押す
- (3) 相手が出たら、マイクに向かって話す



※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器から取って話してください。

- (4) 通話が終わったら、**切** を押す

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に  を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、

 を押す

スピーカーホン

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。

ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) 受話器を取り（子機の場合は  を押し）、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、（子機の場合は ）を押す

(3) サービスの指示に従って操作パネルまたは子機のダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する（子機のみ）

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に  を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2)  を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する（子機のみ）

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に  を約 2 秒押す

◆【内緒：ON】と表示されます。

※設定を解除するには、もう一度  を約 2 秒押します。

電話を取り次ぐ

親機から子機へ電話を取り次ぐ

親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に **保留/子機** を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

子機が1台の場合は、**1あ**を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは **保留/子機** を押します。

3 子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**内線保留** を押します。

4 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置く

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ電話を取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に **内線保留** を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 **+ (クロス)** で【親機】を選び、**機能確定** を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

親機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは **内線保留** を押します。

3 親機の受話器を取る

4 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて **切** を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機の内線番号について

子機の内線番号は、以下のように設定されています。

機種 \ 通話先	子機 1	子機 2	増設子機 2	増設子機 3	増設子機 4
MFC-J727D	1あ	—	2か ABC	3さ DEF	4た GHI
MFC-J727DW	2か ABC	—	—	—	—

子機から子機へ電話を取り次ぐ

子機を2台以上使用しているとき、子機でとった電話を別の子機に取り次ぐことができます。ここでは「子機1で受け、子機2へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 子機1で通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 + で【子機2】を選び、「機能確定」を押す

子機2の内線呼出音が鳴ります。

 呼び出している子機2が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、「内線保留」を押します。

3 子機2を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、「内線保留」または「外線」を押します。

4 子機2が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機1の「切」を押す

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。居間で自分が受けた電話を、自分の部屋の子機にまわすなど、ひとりで取り次ぎ操作を完結させたいときなどにも使えます。

親機から子機へ

1 通話中に「保留/子機」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 親機の受話器を置く

3 子機を取り、「外線」を押す

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ

1 通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 + で【親機】を選び、「機能確定」を押す

3 子機の「切」を押して、充電器に戻す

4 親機の受話器を取る

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ

例：「子機1」で受け、「子機2」に取り次ぐ場合

1 子機1で通話中に、「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 + で【子機2】を選び、「機能確定」を押す

子機2の内線呼出音が鳴ります。

3 子機1の「切」を押す

子機2の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。

4 子機2を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、「外線」を押します。

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。

親機から子機へかける

- 1 受話器を取って、**保留/子機** を押す
- 2 通話したい子機の内線番号を押す
子機が1台の場合は、**1** を押します。
子機の内線呼出音が鳴ります。
- 3 子機を充電器から取る
子機を充電器に置いていないときは、**内線保留** または **外線** を押します。
親機と子機で通話できます。

子機から親機へかける

- 1 子機を充電器から取り、**内線保留** を押す
- 2 **+** で【親機】を選び、**機能確定** を押す
親機の内線呼出音が鳴ります。
- 3 親機の受話器を取る
親機と子機で通話できます。

 内線通話中に外線がかかってきたときは、内線通話状態のまま親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して、もう一度受話器を取ると外線と電話がつながります。

子機から子機へかける

子機どうして通話する操作方法です。

外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。

⇒ 76 ページ「子機から子機へ電話を取り次ぐ」

ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例に説明します。

1 子機 1 を充電器から取り、を押す

2 で【子機 2】を選び、を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、または を押します。

子機 1 と子機 2 で通話できます。

 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す

親機と子機と外線の相手、または子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

 外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。

 トリプル通話中は、保留にできません。

親機から子機を呼び出してトリプル通話 (3 者通話) する

1 親機で外線通話中に を押す

通話が保留になります。

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、または を押します。

4 子機の相手に 3 人で話すことを伝えて、を押す

トリプル通話が始まります。

■ 2 者間の外線通話に戻すときは
トリプル通話から通常 (2 者間) の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら受話器を受話器台に戻し、子機なら を押してください。

子機から親機を呼び出してトリプル通話をする

1 子機で外線通話中に「内線保留」を押す

通話が保留になります。

2 + で【親機】を選び、「機能確定」を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の手話器を取る

4 親機の相手に3人で話すことを伝えて、「内線保留」を押す

トリプル通話が始まります。

■ 2者間の外線通話に戻すときはトリプル通話から通常（2者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら手話器を手話器台に戻し、子機なら「切」を押してください。

子機から別の子機を呼び出してトリプル通話をする

例：「子機1」から「子機2」を呼び出してトリプル通話をする場合

1 子機1で外線通話中に「内線保留」を押す

通話が保留になります。

2 + で【子機2】を選び、「機能確定」を押す

子機2の内線呼出音が鳴ります。

3 子機2を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、「内線保留」または「外線」を押します。

4 子機2の相手に3人で話すことを伝えて、「内線保留」を押す

トリプル通話が始まります。

■ 2者間の外線通話に戻すときはトリプル通話から通常（2者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の「切」を押してください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

かかってきた電話を拒否する

通話前に電話を拒否する

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、次の手順で回線を切ることができます。

親機の場合

- 1 着信音が鳴っているときに、【おことわり】を押す



【おことわりしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

- 2 【はい】を押す

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

子機の場合

- 1 着信音が鳴っているときに、充電器から取らずに子機の「機能確定」を押す

子機を充電器に置いていないときは、そのまま「機能確定」を押します。

通話中専用のメニューが表示されます。

- 2 **+** で【おことわり】を選び、「機能確定」を押す

「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

通話中に電話を拒否する

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

親機の場合

- 1 通話中に、【おことわり】を押す

【おことわりしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

- 2 【はい】を押す

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

- 3 受話器を受話器台に戻す

子機の場合

- 1 通話中に、子機の「機能確定」を押す

通話中専用のメニューが表示されます。

- 2 **+** で【おことわり】を選び、「機能確定」を押す

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

- 3 子機を充電器に戻す

ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は

各電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信音を鳴らしたくない電話番号をあらかじめ本製品に登録して、着信拒否することもできます。
⇒ 86 ページ「迷惑電話指定する」

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

- ④ ご利用には別途、電話会社との契約（NTT の場合、「キャッチホン／キャッチホンII」）が必要です。（有料）
- ④ ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ④ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- ④ 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ④ ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンII」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

- 1 通話中に「プップ」と聞こえたら、画面に表示される【キャッチ】を押す（子機の場合は （キャッチ） を押す）

- ④ 別途、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。
⇒ 88 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

- 2 新しくかかってきた相手と通話する

- 3 最初の相手に戻るときは、再度【キャッチ】（ （キャッチ） ）を押す

最初の相手に戻ります。

- ④ 【キャッチ】（ （キャッチ） ）を押すたびに、通話の相手が切り替わります。
- ④ キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

- ④ 親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 ④、⑤ のとおりに手動で受信してください。

- 1 通話中に「プップ」と聞こえたら、画面に表示される【キャッチ】を押す（子機の場合は （キャッチ） を押す）

「ピーピー」という音が聞こえます。先の相手との通話は保留になります。

- 2 再度【キャッチ】（ （キャッチ） ）を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度【キャッチ】（「キャッチ」
着信履歴）を押す

キャッチの相手（ファクス）につながりません。

お願い

- 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終わってください。会話が長くなるとファクスを受信できなくなることがあります。

4 親機の【ファクス送受信】を押し、【受信】を押す（子機の場合は「機能
確定」）、【ファクス受信】、「機能
確定」を順に押す）

ダイヤル入力画面のときは【スタート】を押し、【受信】を押す

5 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す（子機の場合は、画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、充電器に戻す）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合は、本製品でも当サービスの機能をご利用いただくことができます。電話会社と当サービスの契約をしていない場合、本製品は着信履歴に相手の番号を表示させることはできません。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示させることができる電話会社の有料サービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

- ④ 本製品の設定だけでは、ナンバー・ディスプレイサービスは利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。
- ④ 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ④ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。なお、ナンバー・ディスプレイを利用する/しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。
- ④ ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- ④ 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ④ 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ④ IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- ④ 本製品は「ネーム・ディスプレイサービス」には対応していません。

ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能

ナンバー・ディスプレイサービスを契約し、本製品の設定を【あり】に設定しているときは、下記のような機能が利用できます。

- 【あり】に設定されていれば使える機能
 - 番号表示機能
 - 名前と電話番号を含めた着信履歴を残す（「名前」表示は、本製品の電話帳に登録されている相手先に限る）
- 【あり】に設定した上で、更に本製品の設定を必要とする機能
 - 着信鳴り分け
 - 非通知着信拒否
 - 公衆電話拒否
 - 表示圏外拒否
 - キャッチホン・ディスプレイ（電話会社とキャッチホン機能のご契約が必要です）

お買い上げ時は、【ナンバーディスプレイ】は【あり】に設定されています。設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」

電話番号表示機能

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。



● その他の表示例

- 【非通知】
相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

着信履歴を利用する

【着信履歴】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴に相手の電話番号と（本製品の電話帳に登録した）名前を残すことができます。また、着信履歴は、過去の通話相手を見るだけでなく、見てそのまま電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。更に、着信履歴から、迷惑電話の相手として本製品に登録し、その後の着信を拒否することもできます。

着信履歴を見る

親機の場合

- (1)  を押す
- (2)  を押して、着信履歴に切り替える
◆最新の着信履歴が表示されます。



子機の場合

- (1)  を押す
◆着信履歴が表示されます。



- 📄 着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
- 📄 着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ 72 ページ「最近かかってきた相手にかける (着信履歴)」
⇒ ユーザーズガイド応用編 第 3 章「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を削除する（親機）

- (1) を押す
- (2) を押して、着信履歴に切り替える
- (3) で削除する着信履歴を選ぶ
- (4) **【設定】** を押す
- (5) **【消去】** を押す
◆【消去しますか？ / はい / いいえ】 と表示されます。
- (6) **【はい】** を押す
◆指定した着信履歴を削除し、1つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。
- (7) を押して操作を終了する
※親機での削除操作は子機の履歴には反映されません。

履歴を削除する（子機）

1 件のみ削除する場合

- (1) を押す
- (2) で **【着信履歴】** を選び、 を押す
- (3) で削除したい履歴を選び、 を押す
- (4) で **【1 件消去】** を選び、 を押す
- (5) を押す
◆選択した履歴が削除されます。
- (6) を押して操作を終了する

すべての履歴を削除する場合

- (1) を押す
- (2) で **【着信履歴】** を選び、 を押す
- (3) を押す
- (4) で **【全件消去】** を選び、 を押す
- (5) を押す
◆すべての履歴が削除されます。

※子機での削除操作は親機の履歴には反映されません。
※手順(2)で **【発信履歴】** を選ぶと、発信履歴も削除できます。

着信鳴り分けを設定する

【着信鳴り分け設定】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、かけてきた相手によって着信音を変えることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

- 1 を押す
- 2 **【ファクス / 電話】**、**【ナンバーディスプレイ】** を順に押す
キーが表示されていないときは、 を押して画面を送ります。
- 3 **【あり】** を押す
- 4 **【着信鳴り分け設定】** を押す
- 5 **鳴り分けを設定したい電話番号を選ぶ**
 を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
 のときは五十音順に、
 のときは短縮番号順に並べ替えられます。
- 6 **【ファクス専用】** または **【電話鳴り分け】** を選ぶ

- **【ファクス専用】**
着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- **【電話鳴り分け】**
設定した着信音で親機が鳴ります。
【電話鳴り分け】 を選んだ場合⇒手順 7 へ
【ファクス専用】、**【迷惑番号指定】** を選んだ場合⇒手順 8 へ
【迷惑番号指定】 については、下記をご覧ください。
⇒ 86 ページ「迷惑電話指定する」

7 着信音を選び、【OK】を押す

⇒ 49 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」

8 を押して設定を終了する

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 を押し、 で【鳴動音設定】を選び、 を押す

2 で【2. 着信鳴分け】を選び、 を押す

着信音を選ぶ画面が表示されます。

3 で着信音を選び、 を押す ⇒ 50 ページ「子機の着信音を選ぶ」

4 を押して設定を終了する

-  子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
-  子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

迷惑電話指定する

【迷惑番号指定】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から 100 件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。

-  迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
-  親機を【迷惑番号指定】に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【あり】を押す

4 【着信拒否】、【迷惑番号指定】を順に押す

5 【OK】を押す

6 / で迷惑指定（または解除）する番号を選ぶ

-    を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
-   のときは五十音順に、
-   のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 【迷惑番号指定】を押す

8 を押して設定を終了する

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】のときは設定できません。

(1) 「迷惑電話指定する」(86 ページ) の手順 ③ までを行う

(2) 【着信拒否】を押す

キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。

(3) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を選ぶ

(4) 【する】を押す

(5) を押して設定を終了する

 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直してください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 87 ページ「着信拒否モニターを設定する」

 拒否設定した相手から送られたファクスも受信しません。

着信拒否モニターを設定する

非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否した相手から電話がかかってきたとき、本製品から流れる着信拒否メッセージをスピーカーから聞くことができます。

スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器を取ると、電話に出ることができます。

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える(親機)」(85 ページ) の手順 ③ までを行う

(2) 【着信拒否】を押す

キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。

(3) 【着信拒否モニター】を押す

(4) 【する】を押す

(5) を押して設定を終了する

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

ナンバー・ディスプレイ機能のオプションサービスとしてキャッチホン・ディスプレイ機能があります。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 88 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、NTT のサービスです。本製品はこの機能に対応しています。また、他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

お買い上げ時は、【キャッチディスプレイ】は【なし】に設定されています。設定のしかたについては、下記をご覧ください。

⇒ 46 ページ「キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する」

お願い

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」（⇒ 81 ページ「キャッチホンで電話を受ける」）と、「ナンバー・ディスプレイサービス」（⇒ 83 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）の両方を、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。（有料）
- ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。なお、キャッチホン・ディスプレイを利用する / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

- 📞 ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 📞 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 📞 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 📞 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポツ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬とぎれます。
- 📞 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

第3章

ファクス

基本

ファクスを送る	90
ファクス送信時の画面とボタンについて	90
ファクスを送る (1枚のとき)	91
ファクスを送る (2枚以上のとき)	91
送信中のいろいろな操作	92
設定を変えてファクスするには	93
文字の細かい原稿をカラーで送る (設定変更の操作例) ...	94
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る ...	96
ファクスを受ける	97
自動的に受ける	97
電話に出てから受ける	97
電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	99
親切受信でファクスを受ける	99
親切受信を設定する	99
ファクスの便利な受けかた	100
ファクスをメモリーで受信する	100
メモリー受信したファクスを印刷する	100
ファクスメッセージをメモリーから消去する ...	101
メモリー受信を解除する	101

通信管理

通信状態を確かめる	102
送信待ちファクスを確認・解除する	102

下記の機能については・・・

- 発信・着信履歴からの送信 / 手動送信 / 同報送信 / リアルタイム送信 / 海外送信モード
- 自動縮小受信 / ファクス転送 / PC ファクス受信
- 通信管理レポート / 送信管理レポート / 着信履歴リスト

応用編を参照

ファクスを送る

基本

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。モノクロでファクスを送る場合に限り、複数枚の原稿を送ることができます。

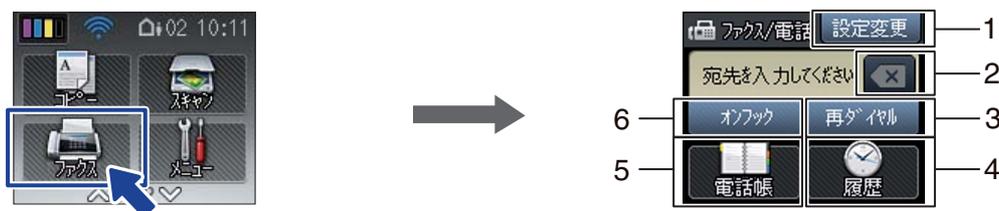
お願い

- 相手先のファクス機がモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

- 🔌 ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くなります。
- 🔌 ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、デュアルアクセス）をすることができません。

ファクス送信時の画面とボタンについて

ここでは、ファクス送信時に表示される画面やボタンについて説明します。



1	設定変更ボタン	画質や濃度、モノクロまたはカラー送信の選択など、設定を変更するときに押します。 ⇒ 93 ページ「設定を変えてファクスするには」
2	クリアボタン	番号を修正するときに押します。
3	再ダイヤルボタン	最後にダイヤルした相手に送信するときに押します。
4	履歴ボタン	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
5	電話帳ボタン	すでに登録済みの電話帳のあて先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒ 96 ページ「電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る」 ⇒ 104 ページ「電話帳に登録する」
6	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときに使用します。操作パネル上の オンフック と同じ機能です。 ⇒ 29 ページ「オンフックボタン」

ファクスを送る (1 枚のとき)

[自動送信]

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿をセットする

⇒ 66 ページ「原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 を押す

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

-  **オンフック** は押さないでください。
-  ファクスをカラーで送信する場合は、【設定変更】からカラー設定を行ってください。また、【設定変更】からは、画質や濃度なども変更できます。

4 【スタート】を押す

- モノクロで送信する場合：原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ (送信)】と表示されます。⇒手順 5 へ
- カラー送信に設定した場合：メッセージを確認して、【カラー送信】を押します。操作は終了です。ファクスが送られます。

5 【いいえ (送信)】を押す

ファクスが送られます。

ファクスを送る (2 枚以上のとき)

[自動送信]

モノクロでファクスを送る場合に限り、複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。

お願い

- リアルタイム送信を【する】にしている場合は、複数枚の原稿を一度に送ることができません。複数枚の原稿を一度に送りたいときは、リアルタイム送信しないでください。⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」

1) 1 枚目の原稿を読み込む

1 原稿をセットする

⇒ 66 ページ「原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 を押す

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

-  **オンフック** は押さないでください。

4 【スタート】を押す

原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ (送信)】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されます。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

2) 2枚目以降の原稿を読み込む

6 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順

5、6を繰り返します。読み取りが終わったら手順7に進みます。

7 【いいえ (送信)】を押す

ファクスが送られます。

送信中のいろいろな操作

送信する前にファクスを中止するには

ダイヤル中または送信中に、を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【キャンセル/はい/いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスを中止するには

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5分おきに3回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス/電話】を選び、【通信待ち一覧】を選んで中止します。(102ページ)

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信結果レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信 (⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章 「相手先の受信音を確認してから送る」) や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第1章 「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する」

送信・印刷中の次の原稿の読み取り (デュアルアクセス) について

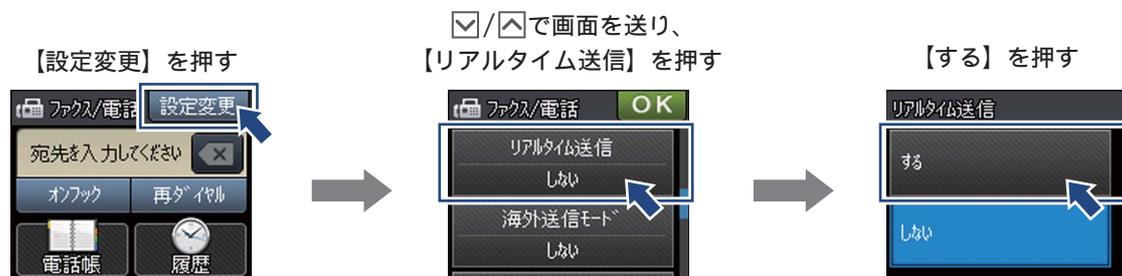
本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号が表示されます。

※カラーファクスの場合は、ファクス送信中のデュアルアクセス機能は無効になります。

設定を変えてファクスするには

 を押して、画面に表示される【設定変更】から、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

例：リアルタイム送信する



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。

※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。

※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなる場合があります。

※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) 同報送信

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、電話帳・グループダイヤルから指定できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(4) カラー設定

ファクス送信するとき、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。

(5) リアルタイム送信

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。

⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章「原稿をすぐに送る」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

(6) 海外送信モード
海外へは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このようなときに海外送信モードを【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章「海外へ送る」
(7) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。 ⇒95 ページ「変更した設定を保持する」
(8) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ⇒95 ページ「変更した設定を保持する」

文字の細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例）

文字が細かい原稿1枚を、カラーで送信する手順を例にして説明します。

1 原稿をセットする

⇒66 ページ「原稿をセットする」

2 を押す

3 【設定変更】を押す



1) ファクス画質を設定する

4 【ファクス画質】を選ぶ

5 【ファイン】を押す

2) カラー設定を設定する

6 / で画面を送り、【カラー設定】を押す

7 【カラー】を押す

8 【OK】を押す

9 相手のファクス番号をダイヤルして、【スタート】を押す

カラー送信を確認するメッセージが表示されます。

10 【カラー送信】を押す

ファクスが送られます。

変更した設定を保持する

保持できる設定項目は以下のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- カラー設定
- リアルタイム送信

(1) 、【設定変更】を順に押す

(2) 初期値にしたい設定に変更する

キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。

(3) /で画面を送り、【設定を保持する】を押す

(4) 設定項目を確認し、【OK】を押す

◆【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆変更した設定内容が初期値になります。

(6) を押して設定を終了する

※手順 (1) のあとに、【設定をリセットする】を選び、【はい】を押すと設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

【電話帳 / 短縮】

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておく、簡単な操作でダイヤルできます。

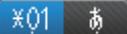
1 原稿をセットする

⇒ 66 ページ「原稿をセットする」

2 を押す

3 【電話帳】 を押す

4 【あいうえお順検索】 または 【番号順検索】 を押し、相手先を選ぶ

  を押し、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。

 のときは五十音順に、

 のときは短縮番号順に並べ替えられます。

 短縮番号がわかっている場合は、【電話帳番号入力】欄に番号を入力すると、直接相手先を呼び出せます。

5 【ファクス送信】 を押す

6 【スタート】 を押す

- ・ モノクロ送信で、原稿が複数枚の場合：
⇒ 手順 **7** へ
- ・ モノクロ送信で、原稿が 1 枚の場合：
【いいえ (送信)】 を押します。操作は終了です。ファクスが送られます。
- ・ カラー送信の場合：【カラー送信】 を押します。操作は終了です。ファクスが送られます。

7 【はい】 を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 **7**、**8** を繰り返します。読み取りが終わったら、手順 **9** に進みます。

9 【いいえ (送信)】 を押す

ファクスが送られます。

ファクスを受ける

本製品は次の方法でファクスを受信します。

お願い

- 本製品が次のような状態のときに、ファクスを受信すると、送られてきたファクスは自動的にメモリーに記憶されます（メモリー代行受信）。
 - 記録紙がなくなったとき、間違ったサイズの記録紙をセットしてしまったとき
⇒ 54 ページ「記録紙のセット」
 - インクがなくなったとき⇒ 145 ページ「インクがなくなったときは」
 - 記録紙が詰まったとき⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」
 メッセージに従って操作し、ファクスを印刷してください。
 ※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
 ※メモリー代行受信できるのは約 120 枚です。
- カラーインクのいずれかが残り少なくなり、画面に【まもなくインク切れ】と表示されると、カラーファクスはモノクロで印刷されます。カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。
 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」

自動的に受ける

【自動受信】

設定した回数（お買い上げ時の設定は 7 回）の呼出ベルが鳴り終わると、本製品の回線につながり、相手が電話なのかファクスなのかを自動判定します。もしファクスであればそのまま受信して印刷します。

自動受信する前に電話をとって相手がファクスだったときの受信のしかたについては、下記をご覧ください。

⇒ 97 ページ「電話に出てから受ける」

⇒ 99 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

- 🔧 自動判定までの呼出ベルの回数は、自由に変更できます。
⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」
また、このとき【無制限】に設定すると、自動受信はしません。受話器を取って、電話かファクスかを自分で判断することになります。
- 🔧 「無鳴動受信」に設定すると呼出ベルを鳴らさずにファクスを受信することができます。
⇒ 43 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」

電話に出てから受ける

【手動受信】

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

2 「ポーポー」と音がしていたら、【ファクス送受信】を押す

コピーやスキャンなど他の機能を使用しているときは、 を押すと、【ファクス送受信】が表示されます。

- 🔧 通話中にファクスを受信するときも、【ファクス送受信】を押します。いったんファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

【ファクスしますか？ / 送信 / 受信】と表示されます。

3 【受信】を押す

ファクスを受信します。

4 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

子機で電話に出たときは

子機で電話に出てファクスだったときは、次のように操作します。

- (1) 「ポーポー」と音がしていたら、子機の^{「機能」}**確定**を押す
- (2) で【ファクス受信】を選び、^{「機能」}**確定**を押す
相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手にファクスに切り替えることを伝えて^{「機能」}**確定**を押します。
- (3) 画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、子機を充電器に戻す

 親切受信 (⇒ 99 ページ「電話に出ると自動的に受ける (親切受信)」) が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

【親切受信】

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話に出たときにファクスであれば、受話器または子機を持ったまま約7秒待つと自動的にファクスを受信できます。

親切受信でファクスを受ける

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま7秒待つ

約7秒後に、自動的にファクスを受信します。

3 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

お願い

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。

 ファクスの受信が始まったら受話器または子機を置いてください。

 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ 97 ページ「電話に出てから受ける」

 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ 97 ページ「電話に出てから受ける」

 親切受信は、電話に出たあと、約40秒間有効です。40秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ 97 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【する】に設定されています。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【する】を押す

設定は【する / しない】から選びます。

- 【する】：
親切受信をする
- 【しない】：
親切受信をしない

4 を押して設定を終了する

ファクスの便利な受けかた

ファクスをメモリーで受信する

【メモリー保持のみ】

【メモリー保持のみ】に設定すると、受信したファクスを印刷すると同時に、本製品のメモリーに記憶して保存します。メモリー内のファクスは、必要に応じて印刷できます。

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

お願い

- 本製品のメモリーに保存できるのは、最大 60 件で約 120 枚までです。(メモリーの残量や受信ファクスの内容によって、保存できる枚数は変化します。) 保存したファクスは定期的に再印刷または消去して、メモリー残量を確保してください。

 【メモリー受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

 【メモリー保持のみ】は、【ファクス転送】【PCファクス受信】と同時に設定できません。

1  を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【メモリー保持のみ】を押す

4  を押して設定を終了する

メモリー受信したファクスを印刷する

【ファクス出力】

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1  を押す

2 【ファクス / 電話】、【ファクス出力】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【スタート】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

4  を押して設定を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1  を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。

- ・【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：
【すべてのファクスをプリントしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- ・上記以外の設定にしている場合：
【ファクスを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去され、メモリー受信の設定が解除されます。

今後、受信ファクスは本製品のメモリーに保存されなくなります。必要に応じて、再度【メモリ受信】を設定してください。

5  を押して設定を終了する

メモリー受信を解除する

【オフ】

いったん設定したメモリー受信（ファクス転送、メモリ保持のみ、PC ファクス受信）をやめるときは、次の手順で行います。

1  を押す

2 【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

ファクスメッセージが本体に残っている場合は、以下のメッセージが表示されます。

- ・【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：
【すべてのファクスをプリントしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- ・上記以外の設定にしている場合：
【ファクスを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

ファクスメッセージが本体のメモリーに残っていない場合：⇒手順 ⑤ へ

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

メモリー受信の設定が解除されます。

5  を押して設定を終了する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

通信状態を確かめる

送信待ちファクスを確認・解除する

【通信待ち一覧】

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1  を押す

2 【ファクス / 電話】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。

- ・ 確認を終了するとき⇒手順 5 へ
- ・ 送信をやめたいとき⇒手順 3 へ

3 解除するファクスを選び、【停止】を押す

【解除しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

送信待ちのファクスが解除されます。

5  を押して設定を終了する

第4章

電話帳

電話帳

親機の電話帳に登録する	104
電話帳に登録する	104
親機の電話帳を子機へ転送する	106
電話帳リストを印刷する	106
子機の電話帳に登録する	107
電話帳に登録する	107

下記の機能については・・・

- 発信・着信履歴から親機または子機の電話帳に登録する
- ファクス送付先をグループ登録する（親機）
- 子機の電話帳から親機に転送する
- パソコンから電話帳に登録/編集する（リモートセットアップ）

応用編を参照

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルメモ

こんなときは

付録

親機の電話帳に登録する

電話帳

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを電話帳に登録します。さらに、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、相手先に応じた着信音の鳴り分けや、着信拒否などを設定できます。(⇒ 83 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」)
また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

- ☞ 「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 3 章 「パソコンを使って電話帳に登録する」
- ☞ 転送機能を使用して、子機の電話帳の内容を親機に送ることもできます。
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第 3 章 「子機の電話帳を親機へ転送する」

電話帳に登録する

【電話帳登録】

相手先の電話(またはファクス)番号と名称を、2桁の短縮番号00～99(最大100件×2番号)に登録します。

お願い

- 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すこととなります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 106 ページ「電話帳リストを印刷する」

- 1 待ち受け画面の 、または  を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

- ☞ 画面上の 、【ファクス/電話】、【電話帳/短縮設定】、【電話帳登録】、【新規登録】を順に押しても登録できます。⇒手順 4 へ

- 2 【あいうえお順検索】または【番号順検索】、【設定】の順に押す

登録件数が0件の場合は、1 のあとに直接【設定】を押します。

- 3 【電話帳登録】を押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

名前を入力する画面が表示されます。

- 4 名前を入力し、【OK】を押す



名前は10文字まで入力できます。読みがなは、自動的に16文字まで入力されます。
⇒ 204 ページ「文字の入力方法」

- 5 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、【OK】を押す



読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

6 番号を入力し、【OK】を押す

電話・ファクス番号は20桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字 (0～9)
- 記号 (*、#)
- スペース
【▶】を押す
- ポーズ (p)

※電話番号にハイフン、カッコは入力できません。

7 同様の手順で、2つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

8 自動で割り振られた短縮番号を確認し、必要があれば変更して、【OK】を押す

短縮番号を変更する必要がある場合は、そのまま【OK】を押します。

9 登録内容を確認し、【OK】を押す

短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10  を押して登録を終了する**電話帳から電話をかける**

⇒ 69 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

- (1) 「電話帳に登録する」(104 ページ) の手順 ③ で、【変更】を押す
- (2) 変更したい相手先を選ぶ
- (3) 変更したい項目を選ぶ
- (4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
複数の項目を変更する場合は、手順 (3) (4) を繰り返します。
- (5) 【OK】を押す
◆変更した内容が反映されます。
- (6)  を押して設定を終了する

電話帳の内容を削除するには

- (1) 「電話帳に登録する」(104 ページ) の手順 ③ で【消去】を押す
- (2) 消去したい相手先を選び、【OK】を押す
【消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
◆選んだ番号が削除されます。
- (4)  を押して操作を終了する

こんなときは～電話番号を登録するとき～

- (A) 「186」または「184」を付ける場合
同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例)
○ 186 XXX XXX XXXX
(市外局番) (市内局番) (相手先番号)
× 186 XXX XXXX
(市内局番) (相手先番号)
- (B) 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合
“0” のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
- (C) 国際電話の場合
国番号のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
 - 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
 - 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
(国際電話サービス会社指定の番号)
+010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
 ※入力したポーズは「p」で表示されます。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

親機の電話帳を子機へ転送する

【子機に転送】

お願い

■ 親機の電話帳を子機へ転送するときは、子機のバッテリー切れを防ぐため、充電器に子機を置いた状態で操作してください。また、転送が終わるまでは、充電器から子機を取らないでください。

1 待ち受け画面の 、または  を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

2 【あいうえお順検索】または【番号順検索】、【設定】の順に押す

3 【子機に転送】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンの **1^あ** ~ **4^た_{GHI}** を押して子機を選んでください。

4 【OK】を押す

5 子機に転送する相手先を選び、【OK】を押す

一度に転送できる相手先は20件です。1つの名前に2件登録されている場合は、個別に選んでください。

【選択した電話帳を子機に転送します 転送中は電話ができません よろしいですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

電話帳が転送されます。引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 **5**、**6** を繰り返してください。

7  を押して操作を終了する

-  以下の場合は、電話帳を転送できません。
- 外線使用中
 - 親子内線通話中、呼び出し中
 - 転送先の子機が待ち受け画面でない場合

電話帳リストを印刷する

【電話帳リスト】

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。電話帳リストはモノクロで印刷されます。

1 A4サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」

2  を押す

3 【レポート印刷】、【電話帳リスト】の順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

4 【あいうえお順】または【番号順】を選ぶ

5 【スタート】を押す

電話帳リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、 を押す

子機の電話帳に登録する

電話帳には 100 件まで登録できます。

- 転送機能を使用して、親機の電話帳の内容を子機に送ることもできます。
⇒ 106 ページ「親機の電話帳を子機へ転送する」

電話帳に登録する

- +** を押す
- +** で【電話帳登録】を選び、**機** を押す
- 名前を入力し、**機** を押す
名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 207 ページ「子機」
名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)
- 自動入力された読みがなが、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、**機** を押す
- 電話番号を入力し、**機** を押す
電話番号は 20 桁まで入力できます。(数字、*、#、P (ポーズ) のみ。)
電話番号が登録されます。
- 切** を押して登録を終了する

- ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ 86 ページ「電話帳に登録している相手からの着信音を変える (子機)」
- 「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 105 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳の内容を変更するには

- +** を押す
- +** で変更したい電話帳データを選び、**機** を押す
- +** で【変更】を選び、**機** を押す
- 「電話帳に登録する」(107 ページ) の手順 ③ 以降の手順で登録内容を変更する
※ 変更しない項目は、**機** を押すと次の手順へ進むことができます。
- 切** を押して設定を終了する

電話帳の内容を削除するには

- +** を押す
- +** で削除したい電話帳データを選び、**機** を押す
- +** で【消去】を選び、**機** を押す
- 1** を押す
◆ 選んだ電話帳データが削除されます。
- 切** を押して操作を終了する

ご利用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

Memo

第5章

留守番機能

留守番機能

留守番機能を設定する	110
留守番機能で設定できること	110
メッセージの録音時間を設定する	111
応答メッセージを録音する	111
留守録モニターを設定する	112
出かけるとき	113
留守番機能をセットする	113
留守応答メッセージを選ぶ	113
帰ってきたとき	114
留守番機能を解除する	114
メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する ...	114

下記の機能については・・・

- 外出先から本製品を操作する (リモコンアクセス)
- 留守録メッセージを外出先で聞く / 外出中に届いたファクスを外出先に転送する

応用編を参照

留守番機能を設定する

留守番機能

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。

留守番機能では、以下のような設定をすることができます。

留守番機能で設定できること

● メッセージの録音時間

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定することができます。

⇒ 111 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

 メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● 留守応答メッセージ

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音することができます。

⇒ 111 ページ「応答メッセージを録音する」

また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。

⇒ 113 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

 お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」と録音されています。

● 在宅応答メッセージ

在宅応答メッセージとは、留守モードにセットされていないときの着信メッセージです。次の設定下で、かかってきた電話に応答します。

- ・留守モードに設定されていない
- ・再呼び出しあり（ファクス専用・電話専用の設定ではない）

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージが録音されていますが、自分の声で録音して既存のメッセージと入れ替えることができます。

⇒ 111 ページ「応答メッセージを録音する」

 在宅時の応答メッセージは、【再呼出ベル設定】を【オン（相手にメッセージ）】に設定すると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● 呼出ベル回数

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定することができます。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

● 留守録モニター

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

⇒ 112 ページ「留守録モニターを設定する」

メッセージの録音時間を設定する

【録音時間】

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの1回あたりの録音時間を設定します。

1回の最大録音時間は約3分、最大件数は99件、合計で29分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60秒】に設定されています。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【録音時間】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 録音時間を選ぶ

【0秒（応答メッセージのみ） / 30秒 / 60秒 / 120秒 / 180秒】から選びます。

【0秒（応答メッセージのみ）】に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。

⇒ 111 ページ「メッセージの録音時間【0秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意」

4 を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【0秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意

【0秒（応答メッセージのみ）】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。

録音時間【0秒（応答メッセージのみ）】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけなおしてください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。

⇒ 111 ページ「応答メッセージを録音する」

⇒ 113 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

応答メッセージを録音する

【応答メッセージ】

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて2種類の留守応答メッセージと1種類の在宅応答メッセージを、それぞれ20秒まで自分の声で録音することができます。

● 留守応答1、留守応答2

留守番機能がセットされている場合で電話に出られない場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」

● 在宅応答

留守番機能がセットされていない状態で、電話とファクスの両方を使う設定にしている場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」

 留守応答メッセージは、留守モード設定時にメッセージを選ぶことができますが、在宅応答メッセージは、いったん録音すると、消去するまでお買い上げ時のメッセージを使用することはできなくなります。

 メッセージは何度でも録音し直すことができます。

1 を押す

2 【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【応答メッセージ】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

3 設定したい応答メッセージを選ぶ

【留守応答1 / 留守応答2 / 在宅応答】から選びます。

4 【応答録音】を押す

5 受話器を取り、【スタート】を押してメッセージを録音する

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

6 録音が終わったら受話器を受話器台に戻す

今録音した内容が自動的に再生されます。

7 別の録音を続ける場合は、手順③～⑥を繰り返す

8 を押して設定を終了する

応答メッセージを消去する

- (1) 「応答メッセージを録音する」の手順④で、【応答消去】を押す
 ◆【応答を消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

- (2) 【はい】を押す

- (3)  を押す
 ◆応答メッセージが消去されます。

※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

- (1) 「応答メッセージを録音する」の手順④で、【応答再生】を押す
 ◆応答メッセージが再生されます。

- (2)  を押す
 ◆確認を終了します。

留守録モニターを設定する

【留守録モニター】

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

-  モニター中の音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
 ⇒ 47 ページ「親機の音量を設定する」

- 1  を押す

- 2 【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録モニター】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

- 3 【する】または【しない】を選ぶ

- 4  を押して設定を終了する

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 留守 を押す



留守応答メッセージが再生されます。

 留守 が点灯し、留守モードになります。



 留守番機能を解除するときは、もう一度

 留守 を押します。

 留守番機能は、子機の  を押して設定することもできます。

留守応答メッセージを選ぶ

自分で録音した応答メッセージがある場合は、応答メッセージを選ぶことができます。

1 留守 を押す

ボタンが点灯しているときは、 留守 を押

し、ボタンを消灯させてから再度  留守 を押してください。

2 メッセージ再生中に、 または

 で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【応答再生／応答再生 1／応答再生 2】から選択します。

- 【応答再生】：
あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【応答再生 1】：
自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【応答再生 2】：
自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さないかぎり有効です。

 応答メッセージが登録されていない場合、 または  を押すことはできません。

 メッセージ再生中に  を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、

 留守 が点滅しています。



1 留守 を押す

 留守 が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

 子機で留守番機能を解除する場合は、 を押します。

メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生 / 消去できます。

1  で待ち受け画面を送り、
 を押す

2 【再生】または【全消去】を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。
- 【全消去】を選んだ場合：【音声消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。【はい】を押すとメモリー内の会話データおよび留守録メッセージがすべて消去されます。【いいえ】を押すと消去を中止します。

子機で留守録メッセージを再生 / 消去する

- (1) 子機の  を押す
- (2)  で【再生 / 消去】を選び、 を押す
- (3)  で【留守】を選び、 を押す
- (4)  で【1件ずつ】または【全件】を選び、 を押す
 - ◆手順 (4) で【1件ずつ】を選ぶと留守録メッセージの 1 件目の詳細が表示されます。
 -  で操作の対象を選んで  を押してください。
- (5)  で【再生】または【消去】を選び、 を押す
 - ◆【再生】を選んだ場合：再生が始まります。
 を押すと再生を中止できます。
⇒手順 (7) へ
 - ◆【消去】を選んだ場合：選んだメッセージまたは全メッセージを消去します。
⇒手順 (6) へ
- (6)  を押す
- (7)  を押して操作を終了する

音声メッセージを確認する

親機の場合

- (A) 再生中のメッセージを聞き直すとき
 -  を押す。
 - ◆再生中のメッセージの最初に戻ります。
 - ※  を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。
 は、ゆっくり押ししてください。
- (B) 次のメッセージを聞くととき
 -  を押す。
- (C) 途中でメッセージの再生をやめるとき
 - 再生中に  を押す。
- (D) メッセージを消去するとき
 - 再生中に【消去】を押し、【この用件を消去しますか? / はい / いいえ】と表示されたら、【はい】を押す。
 - ◆再生中のメッセージが消去されます。
 - ※消去を中止する場合は、【いいえ】を押します。

子機の場合

留守録メッセージの再生で【全件】を選んだときは、下記の操作ができます。

- (A) 再生中のメッセージを聞き直すとき
 -  を押す。
 - ◆再生中のメッセージを頭出しします。
 - ※  を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージを頭出しします。
- (B) 次のメッセージを聞くととき
 -  を押す。
- (C) 途中でメッセージの再生をやめるとき
 - 再生中に  または  を押す。
 - ◆再生 / 消去メニューに戻ります。
再生 / 消去メニューから  を押す。
 - ◆待ち受け画面に戻ります。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

ファクスが届いているとき

親機の場合

ファクスを受信すると、自動的に印刷されます。記録紙がなくなると画面に、【記録紙を送れません トレイに記録紙を入れ直してください スライドトレイを正しい位置にセットし [OK] を押してください】と表示されます。このとき、ファクスはメモリーに記憶されています。記録紙をセットして【OK】を押してください。

子機の場合

が点滅しているときは、ファクスを受信しています。親機で確認してください。

第 6 章

コピー

基本

コピーする	118
コピーモード時の画面とボタンについて	118
基本的なコピーのとりかた	118
設定を変えてコピーするには	119
L判の写真を写真用光沢はがきにコピーする (設定変更の操作例)	121

下記の機能については・・・

- ソートコピー
- レイアウトコピー
- インク節約モード / 裏写り除去コピー / ブックコピー / 地色除去コピー

応用編を参照

コピーする

基本

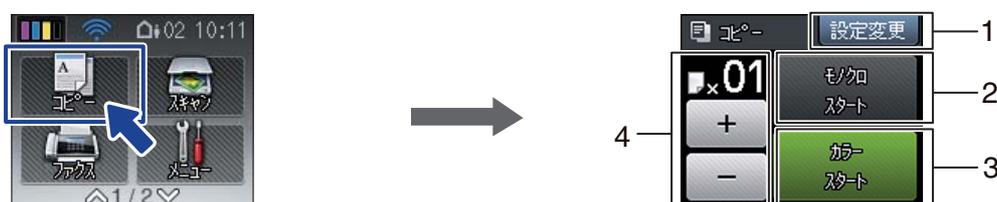
モノクロまたはカラーでコピーします。

お願い

- スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 139 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

コピーモード時の画面とボタンについて

ここでは、コピーモードで表示される画面やボタンについて説明します。



1	設定変更ボタン	コピー画質や記録紙の種類など、さまざまな設定を変更できます。 ⇒ 119 ページ「設定を変えてコピーするには」
2	モノクロスタート	モノクロでコピーします。
3	カラースタート	カラーでコピーします。
4	コピー部数表示 / 設定	部数が表示されます。【+】、【-】を押すと 1 部ずつ部数増減ができます。 ※操作パネル上のダイヤルボタンからは、直接部数を入力することができます。

基本的なコピーのとりかた

- 1 原稿をセットする**
⇒ 66 ページ「原稿をセットする」
- 2  を押す**
- 3 【+】 / 【-】 で部数を入力する**
1 ～ 99 部まで設定できます。



- ☞ 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
- ☞ 画面上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 119 ページ「設定を変えてコピーするには」

- 4 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す**

コピーを中止したいときは、 を押してください。

設定を変えてコピーするには

、【設定変更】を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は一時的なものですが、そのままの内容で記憶させておいたり、お気に入りとして登録することもできます。

例：インクジェット紙をセットした場合



(1) コピー画質	
<p>コピーの画質を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【高速】 速くコピーしたい場合に選びます。 • 【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 • 【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。 <p>※1部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。 ※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」(⇒120ページ)では、時間がかかることがあります。 ※【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。 【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。</p>	
(2) 記録紙タイプ	
<p>使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】</p>	
(3) 記録紙サイズ	
<p>使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A4／A5／B5／ハガキ／2L判／L判】</p>	
(4) 拡大 / 縮小	
<p>倍率を変更してコピーします。</p> <p>【100%】 【拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【240% L判⇒A4】 • 【204% ハガキ⇒A4】 • 【141% A5⇒A4】 • 【115% B5⇒A4】 • 【113% L判⇒ハガキ】^{*1} <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【86% A4⇒B5】 • 【69% A4⇒A5】 • 【46% A4⇒ハガキ】 • 【40% A4⇒L判】 <p>【用紙に合わせる】^{*2} 【カスタム (25-400%)】^{*3}</p>	<p>拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。</p> <p>^{*1} L判タテ向きの写真 (127mm × 89mm) をハガキにフィットさせます。</p>  <p>^{*2} 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】は次のような制約があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原稿を読み取るときに3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ソートコピー、レイアウトコピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。 <p>^{*3} 画面に表示されているテンキーや操作パネル上のダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。</p>

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

(5) コピー濃度
コピーの濃度を調整します。5段階の調整ができます。▶を押すと濃くなり、◀を押すと薄くなります。
(6) スタック/ソートコピー
複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「スタック/ソートコピーする」
(7) レイアウトコピー
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「レイアウトコピーする」
(8) 便利なコピー設定
その他のいろいろなコピーができます。 <ul style="list-style-type: none"> • インク節約モード 文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「インクを節約してコピーする」 • 裏写り除去コピー コピー時の裏写りを軽減します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「コピー時の裏写りを抑える」 • ブックコピー 原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「ブックコピーする」 • 地色除去コピー 原稿の下地（背景）の色を除いてコピーします。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第5章「原稿の地色を除去してコピーする」
(9) 設定を保持する
コピーの【設定変更】で各種の変更をしたあと【設定を保持する】、【OK】、【はい】の順に押し、変更した内容がコピーモードの初期値として本製品に記憶されます。いったん待ち受け画面に戻っても、コピーモードに切り替えると常にこの設定内容からスタートできます。 保持できる機能は、コピー画質、拡大/縮小、コピー濃度、レイアウトコピー、便利なコピー設定（インク節約モード、裏写り除去コピー、ブックコピー、地色除去コピーのうちいずれか）です。
(10) 設定をリセットする
【設定を保持する】で変更した値を、お買い上げ時の状態に戻します。

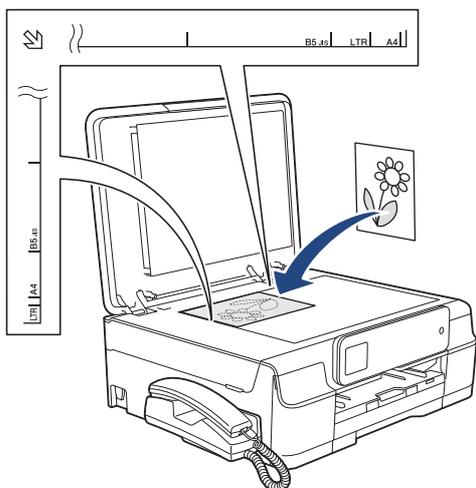
L判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1) スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」

2) 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3) 原稿台カバーを閉じる

4) を押す

5) 【+】 / 【-】 で部数を入力する

 操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

6) 【設定変更】 を押す

1) コピー画質を設定する

7) 【コピー画質】 を押す

8) 【高画質】 を押す

2) 記録紙タイプを設定する

9) 【記録紙タイプ】 を押す

10) 【その他光沢】 を押す

3) 記録紙サイズを設定する

11) / で画面を送り、【記録紙サイズ】 を押す

12) / で画面を送り、【ハガキ】 を押す

4) 拡大・縮小率を設定する

13) 【拡大 / 縮小】 を押す

14) 【拡大】 を押す

15) 【113% L判⇒ハガキ】 を押す

5) コピー濃度を設定する

16) / で画面を送り、【コピー濃度】 を押す

17) / を押して好みの濃度を選び、【OK】 を押す

18) 【OK】、【カラースタート】 を順に押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

Memo

第7章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする前に	124
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを セットする	125
動画プリントについて	127
写真をプリントする	128
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー 内の画像を見る・プリントする	128
設定を変えてプリントするには	130
L判、はがきに写真をプリントする (設定変更の操作例)	132
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから 直接プリントする	133
PictBridge とは	133
デジタルカメラで行う設定	133
写真をプリントする	134

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する	135
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する	135

下記の機能については・・・

- すべてプリント
- インデックスシート / 番号指定プリント
- 証明写真プリント

応用編を参照

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

写真をプリントする前に

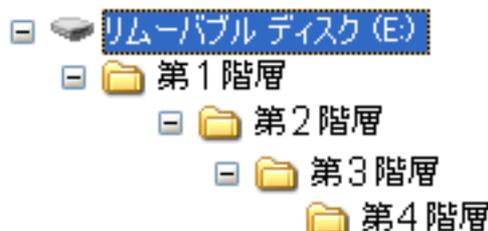
デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

お願い

- L判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。

- 🔪 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の太文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。）
- 🔪 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。
- 🔪 日本語のファイル名が付けられたファイルは、インデックスプリント（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- 🔪 本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 4 階層目までのフォルダーに入っている画像しか認識しません。5 階層目以下にある写真をプリントするときは、パソコンでフォルダー階層を上げて保存し直すか、パソコンからのプリントに切り替えてください。

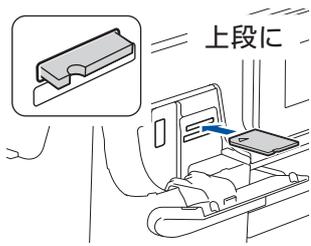
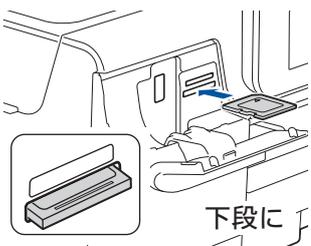
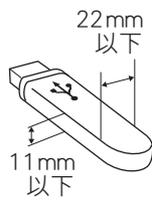
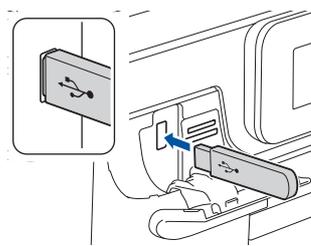


- 🔪 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- 🔪 Macintosh の場合、OS によっては、本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンがデスクトップに表示されます。アイコンがデスクトップに表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったん [ゴミ箱] に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

- 1 メディアスロットカバーを開く
- 2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーに対応しています。

種類	セットする位置
<ul style="list-style-type: none"> メモリースティック デュオ™ (最大 128MB) メモリースティック PRO デュオ™ (最大 32GB) 	 <p>上段に</p>
<ul style="list-style-type: none"> メモリースティック マイクロ™ (M2™) (最大 32GB)  <p>アダプターが 必要です</p>	
<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカード (最大 2GB) SDHCメモリーカード (最大 32GB) SDXCメモリーカード (最大 128GB) マルチメディアカード (最大 2GB) マルチメディアカード プラス (最大 4GB) 	 <p>下段に</p>
<ul style="list-style-type: none"> miniSDカード (最大 2GB) microSDカード (最大 2GB) miniSDHCカード (最大 32GB) microSDHCカード (最大 32GB) マルチメディアカード モバイル (最大 1GB)  <p>アダプターが 必要です</p>	
<ul style="list-style-type: none"> USB フラッシュメモリー (最大 64GB)  <p>22mm 以下 11mm 以下</p>	

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

録付

重要

- メモリーカードは 1 枚だけしか読み取れません。2 枚挿入すると破損の恐れがあります。使用するメモリーカードのみを挿入してください。
- カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。本製品が破損する恐れがあります。
- アクセス中は、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

お願い

- メモリーカードと USB フラッシュメモリーを両方挿入しても、最初に挿入した記録メディアしか読み込みません。使用する記録メディアのみを挿入するようにしてください。

-  データが認識されないときは、メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーが破損していないかどうかを、データを記録した機器などに戻して確認してください。
-  本製品は、著作権保護機能には対応していません。

メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを取り出すときは

アクセスが終了していることを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーにアクセスする (メモリーカードアクセス)

本製品にセットした **USB** フラッシュメモリーまたはメモリーカードを、パソコンから [リムーバブルディスク] として利用することができます。

詳しくは、下記をご覧ください。

Windows[®] の場合

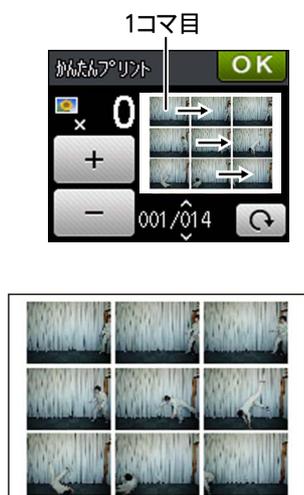
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編 「パソコンからメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを使う」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編 「**Macintosh** からメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1枚の記録紙にプリントすることができます。



出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 128 ページ「写真をプリントする」

- ✎ 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- ✎ 分割したコマの中に出力に適さない（部分的に壊れている）データがある場合は、そのコマのみ白紙になります。
- ✎ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。
使用できないデータは、**?** と表示されます。
- ✎ 動画は日付プリントができません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

 パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスし、【PC接続中】と表示されている間はデジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

【かんたんプリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

⇒ 125 ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押ししてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。



3 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。



 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

4 / でプリントしたい画像を選ぶ

-   /  を長押しすると、画面を早送りできます。
-  画像部分を押し、全画面表示させることができます。画像が確認しやすくなります。全画面の状態から  /  でプリントする画像を選んだら、再度、画面を押し、 を押し、プリント枚数設定に進みます。

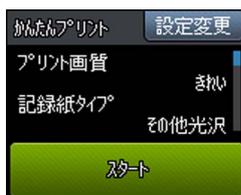
5 【+】 / 【-】 でプリント枚数を設定する



-  操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
-   を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

6 手順 4、5 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

7 画面で設定を確認する



- ④ 【設定変更】を押すと、画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
- ④ 【設定変更】を押して、日付印刷を【する】に設定すると撮影された日付をプリントします。
⇒ 130 ページ「設定を変えてプリントするには」

8 【スタート】を押す

DPOF を使用する場合

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)^{*1}を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか？ / はい / いいえ】というメッセージが表示されます。

DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

- (1) 【はい】を押す
- (2) 【設定変更】を押す
◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。
- (3) 【記録紙サイズ】を押す
- (4) 記録紙サイズを選ぶ
◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。
- (5) 【OK】を押す
- (6) 【スタート】を押す
◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

^{*1} デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF から動画のプリントはできません。

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

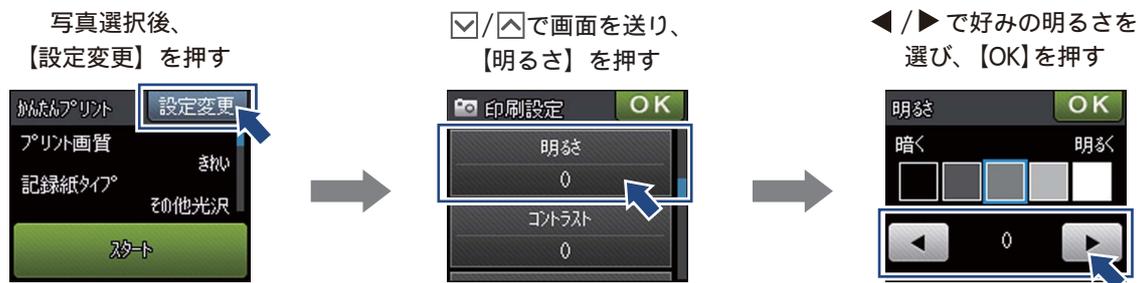
こんなときは

付録

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定変更画面で、プリントする際の設定を変更できます。

例：写真を明るくしてプリントする



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
速くプリントする場合に選びます。
 - 【きれい】
よりきれいにプリントする場合に選びます。
- ※DPOF を使用していない場合に設定できます。
※【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。

【L判／2L判／ハガキ／A4】

【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷

(4) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。5段階の調整ができます。▶を押すと明るくなり、◀を押すと暗くなります。

(5) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。

プリントする際のコントラストを調整します。5段階の調整ができます。▶を押すとコントラストが強くなり、◀を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調

- (1) 【画質強調】 を押す
- (2) 更に【画質強調】 を押して、【する】 を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶ でレベルを調整し、【OK】 を押す

(5) 必要に応じて手順 (3)、(4) を繰り返し、残りの 2 項目を調整する

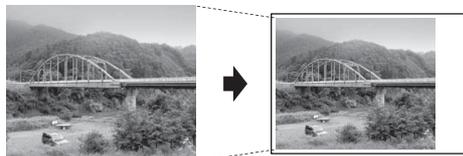
(6) 【OK】 を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した写真は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。
- 【しない】
画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※DPOF を使用していない場合に設定できます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(10) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】 を押し、【OK】 を押します。【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されるので、【はい】 を押し、現在の設定が初期値として登録されます。

(11) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真をL判サイズやはがきにプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 125 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り、 を押ししてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。



4 【かんたんプリント】を押す

 ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

5 / でプリントしたい写真を選ぶ



  /  を長押しすると、画面を早送りできます。

  を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

6 【+】 / 【-】 でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

 操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

デジカメプリントの設定確認画面が表示されます。

7 【設定変更】を押す

1) 記録紙タイプを設定する

8 【記録紙タイプ】を押す

9 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

2) 記録紙サイズを設定する

10 / で画面を送り、【記録紙サイズ】を押す

11 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

12 【OK】を押す

13 【スタート】を押す

L判記録紙またははがきに写真がプリントされます。

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、スマートフォンなどのカメラ付き携帯端末などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。



重要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

🔧 PictBridge 使用中はメモリーカードの使用はできません。

🔧 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、ハガキ
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットのひとつで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

🔧 デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L 判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

ご使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

写真をプリントする

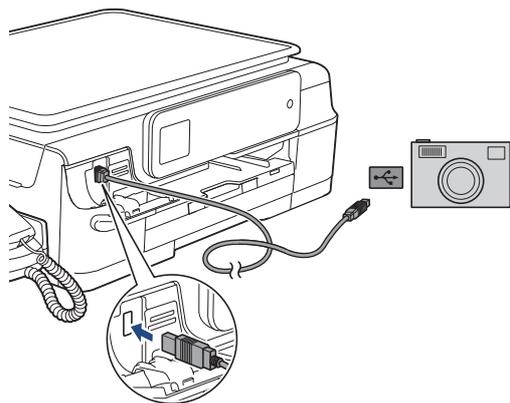
お願い

- PictBridge 使用中は、ファクスの送受信ができません。プリントが終了してからファクス操作をしてください。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



重要

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 🔧 デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。
⇒ 133 ページ「デジタルカメラで行う設定」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

お願い

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

5 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
⇒ 129 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータをメディアに保存する

その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式 (.TIF) または PDF ファイル形式 (.PDF) を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

[メディア保存]

1 原稿をセットする

⇒ 66 ページ「原稿をセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 125 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

4 で待ち受け画面に戻り、 を押す

スキャンメニューが表示されます。



5 【メディア：メディア保存】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【設定変更】を押す

7 【カラー設定】を押し、カラーを選ぶ

【カラー／モノクロ】から選びます。

8 【解像度】を押し、解像度（1 インチあたりのドット数）を選ぶ

【100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動】から選びます。

9 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 7 で、カラーを選んだ場合【PDF / JPEG】から選びます。
- 手順 7 で、モノクロを選んだ場合【TIFF / PDF】から選びます。

10 【ファイル名】を押し、保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、通し番号が自動的に追加されます。

例) 2014 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「140503XX」（「XX」は通し番号）になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違っていて入力した場合は、 を押して消去します。

11 【スキャンサイズ】を押し、スキャンする原稿のサイズを設定する

【A4/A5/B5/ハガキ/2L判/L判/名刺】から選びます。

12 必要に応じて【地色除去】を設定する

【オフ／弱／中／強】から選びます。

スキャンする原稿の地色（用紙色または背景色）を消したいときに設定します。お買い上げ時は、【オフ】に設定されており、地色が残された状態で保存されます。

13 【OK】を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

14 【スタート】を押す

原稿の読み取り後、【次の原稿はありますか？ メディアを抜かないで下さい／はい／いいえ】と表示されます。

読み取る原稿が1枚の場合 ⇒手順 17 へ
読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 15 へ

15 【はい】を押す

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されます。

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されたあと、を押すと、それまでに読み取っていたスキャンデータは次のようになります。

- PDF、TIFF 形式の場合は、すべて消去され、保存されません。
- JPG 形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータは消去され、それ以前のデータは保存されます。

操作しないで放置した場合は、約 1 分後に、PDF、TIFF、JPG 形式のいずれの場合も、それまでに読み取っていたスキャンデータを保存して自動的に終了します。

16 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

すべての原稿を読み取るまで、手順 15、16 を繰り返します。

17 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

重要

- アクセス中は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

 本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

 パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトが必要です。

設定を保持する

- (1) メディアスロットカバーを開く
- (2) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする
- (3)  で待ち受け画面に戻り、 を押す
- (4) 【メディア：メディア保存】を押す
- (5) 【設定変更】を押す
- (6) 初期値にしたい設定に変更する
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- (7)  /  で画面を送り、【設定を保持する】を押す
- (8) 【OK】を押す
◆【設定を保持しますか？ /はい/いいえ】と表示されます。
- (9) 【はい】を押す
◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (5) のあと、手順 (7) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- (10)  を押して設定を終了する

第 8 章

こんなときは

本章では、主に日常のお手入れやトラブル発生時の対処方法について説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、「付録」の「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	138
タッチパネルを清掃する	138
本製品の外側を清掃する	138
スキャナー（読み取り部）を清掃する	139
給紙ローラーを清掃する	140
排紙ローラーを清掃する	141
本体内部を清掃する	142
子機と充電器を清掃する	144
インクがなくなったときは	145
インクカートリッジを交換する	146
インク残量を確認する	148
受話器（親機）を使用しないときは	149
子機のバッテリーを交換するときは	150

困ったときは

紙が詰まったときは	152
紙詰まりが解消しないときは	155
印刷品質が良くないときは	158
定期メンテナンスについて	158
プリントヘッドをクリーニングする	158
記録紙のうら面が汚れるときは	159
印刷テストを行う	160
印刷品質をチェックする	160
印刷位置のズレをチェック / 補正する	161
画面にメッセージが表示されたときは	162
エラーが発生したときのファクスの転送方法	168
子機のメッセージ	170
故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）	172
動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）	192
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する	193
特別な回線に合わせて設定する	193
回線状況に応じて設定する	193
親機の場合	193
子機の場合	194
安心通信モードに設定する	194
ダイヤルトーン検出の設定をする	195
現在の電話回線状態を確認する	195

初期状態に戻す	196
機能設定を元に戻す	196
ネットワーク設定を元に戻す	197
電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する	197
すべての設定を元に戻す	198
子機の個人情報を消去する	198
こんなときは	199
最新のドライバーやファームウェアをサポート サイトからダウンロードして使うときは	199
本製品のファームウェアのバージョンを調べるときは	199
子機を増設する / 登録抹消する	200
停電になったときは	200
本製品のシリアルナンバーを確認する	201
本製品の設定内容や機能を確認する	201
本製品を輸送するときは	202
本製品を廃棄するときは	202

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

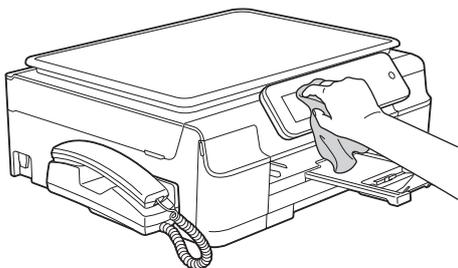
重要

- 液体の洗浄剤を使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

- タッチパネルを清掃するときは、誤操作を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

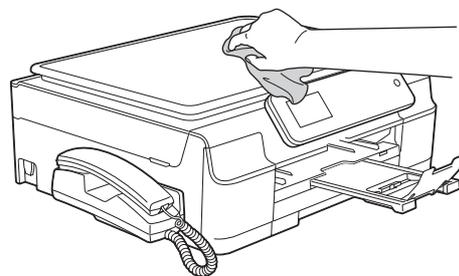


本製品の外側を清掃する

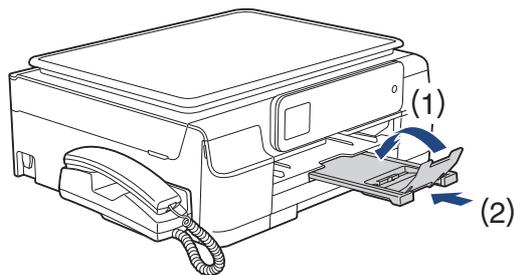
警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

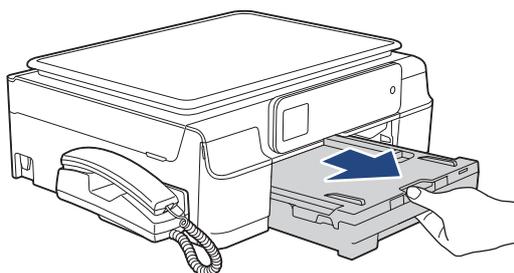
- 1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く



- 2 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



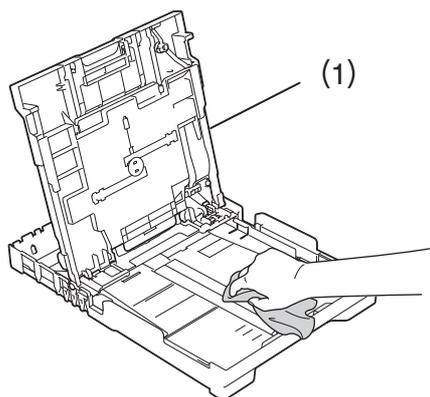
- 3 記録紙トレイを引き出す



4 トレイカバー (1) を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

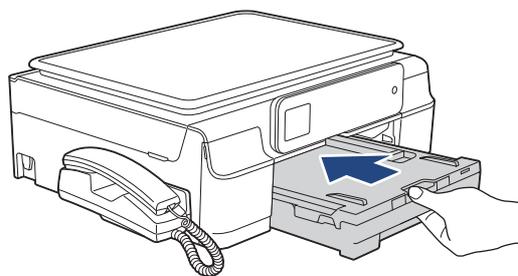
！ 注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



5 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー (読み取り部) を清掃する

スキャナー (読み取り部) が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー (読み取り部) を清掃してください。

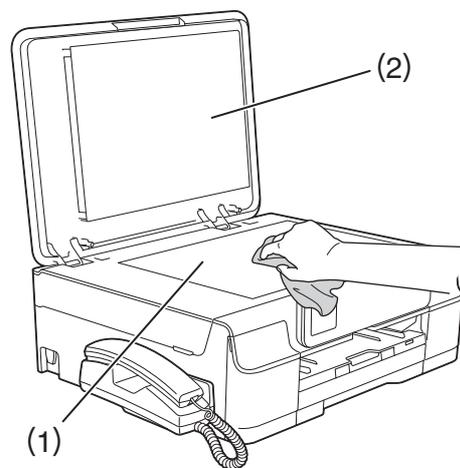
！ 警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス (1)、原稿台カバーのプラスチック面 (2) を拭いてください。



3 原稿台カバーを閉じる

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- 清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

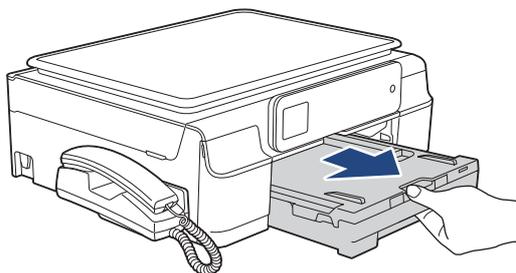
こんなときは

付録

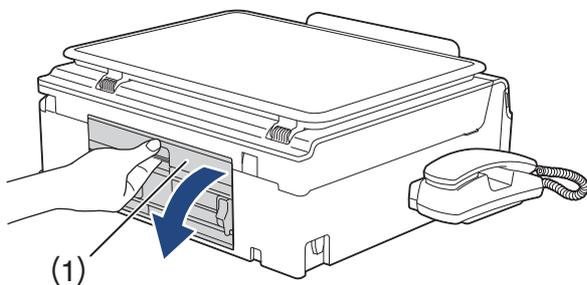
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る
- 3 記録紙トレイを引き出す



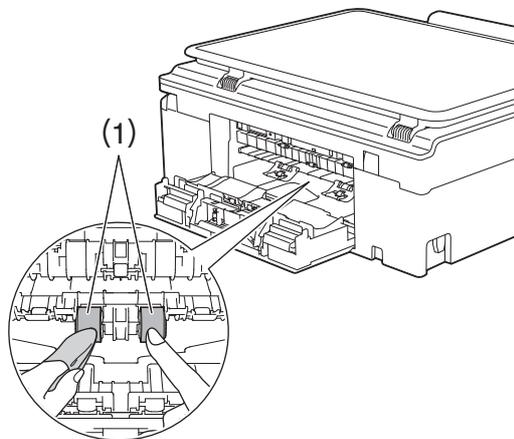
- 4 本体背面の紙づまり解除カバー (1) を開く



- 5 給紙ローラー (1) を拭く

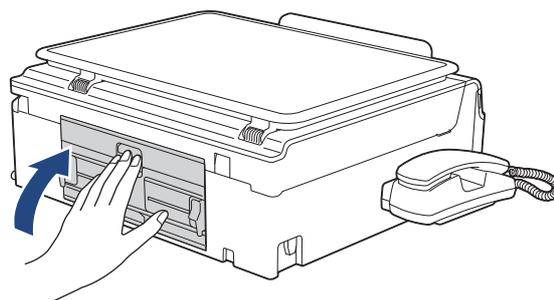
ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向に拭いてください。

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

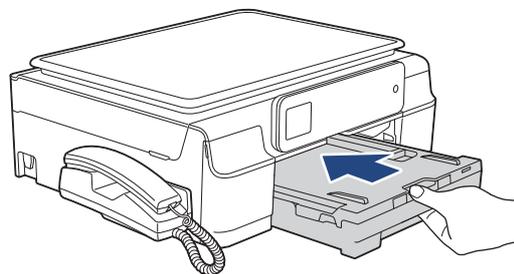


- 6 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



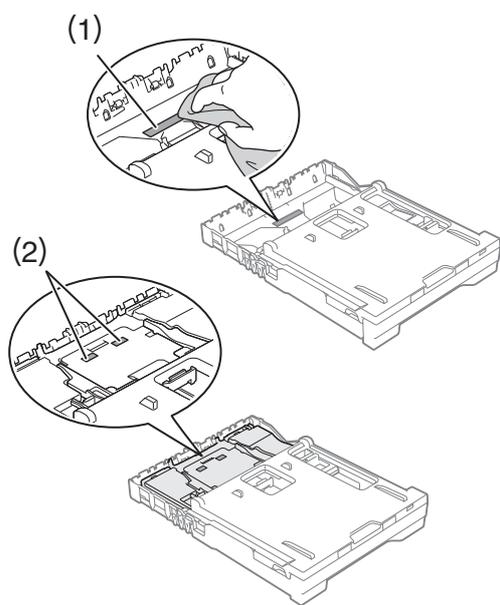
- 7 記録紙トレイを元に戻す



- 8 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

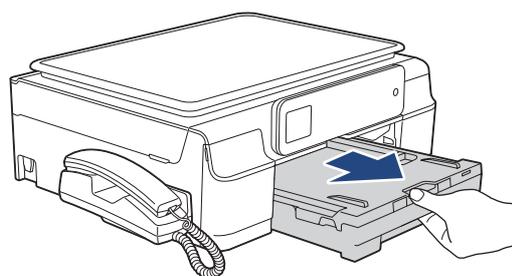
記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分 (1) とスライドトレイのコルク部分 (2) を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。



排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されない場合があります。

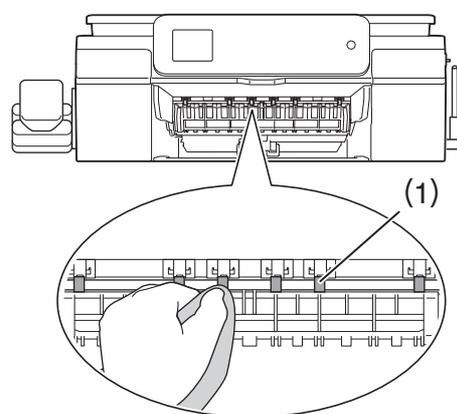
- 1** 電源プラグをコンセントから抜く
- 2** 記録紙トレイを引き出す



- 3** 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

- 4** 排紙ローラー (1) を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

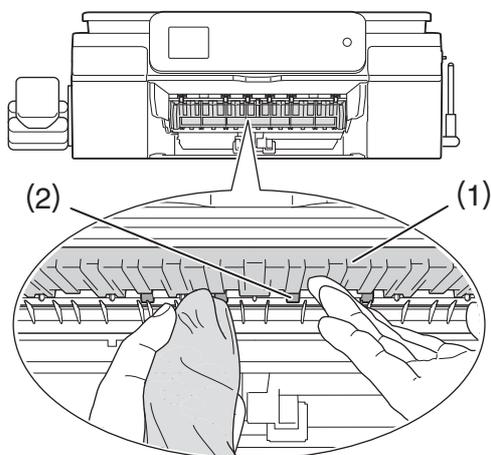
デジタルプリント

こんなときは

付録

5 フラップ (1) を手前に持ち上げて 排紙ローラー (2) のうら側を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



6 記録紙トレイをゆっくりと戻す

7 電源プラグをコンセントに差し込む

重要

- ローラーが完全に乾くまで、本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で印刷すると、紙づまりやその他不具合の原因になります。

本体内部を清掃する

記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

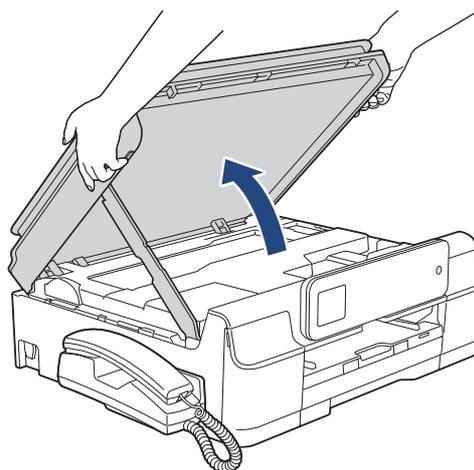
警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

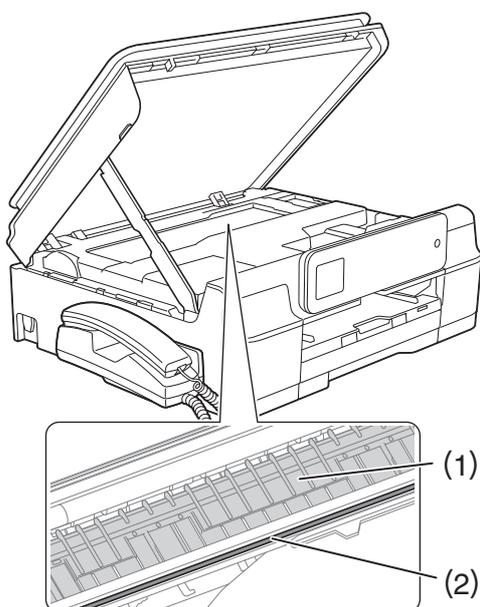


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン (1) を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で丁寧に拭き取ってください。

重要

■ エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (2) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。

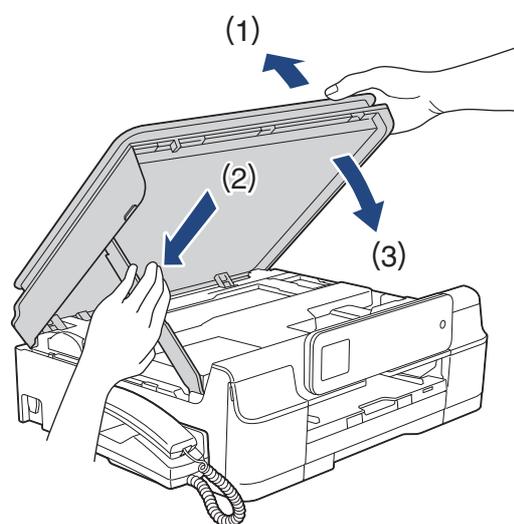


4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

! 注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、カバーサポートをゆっくり押し (2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

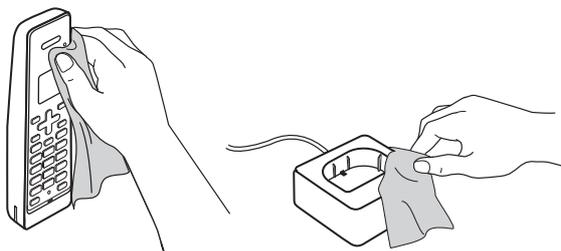
デジタルプリント

こんなときは

付録

子機と充電器を清掃する

- 1 子機を充電器から外す
- 2 充電器の電源プラグを抜く
- 3 乾いた柔らかい布で子機と充電器を拭く



- 4 充電器の電源プラグをコンセントに差し込む
- 5 子機を充電器に戻す

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。

インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【印刷できません インクを交換してください】

☞ 【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を【普通紙】、カラーを【モノクロ】に設定する必要があります。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」または「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプは、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができません。

- 空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- パソコンからの印刷時、印刷設定の【基本設定】項目の中の【乾きにくい紙】にチェックをしている場合（パソコン、本製品のそれぞれでいったん印刷を中止し、【乾きにくい紙】のチェックを外せば、印刷ができるようになります。）

☞ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

☞ 必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 148 ページ「インク残量を確認する」

☞ インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 241 ページ「消耗品」
⇒ 243 ページ「消耗品などのご注文について」

1. 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません インクを交換してください】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

注意

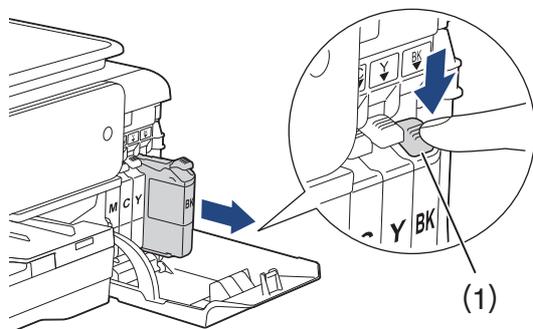
- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重要

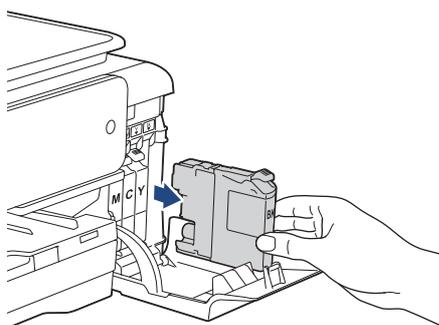
- インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
- 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
(6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。)
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー (1) を押し下げる

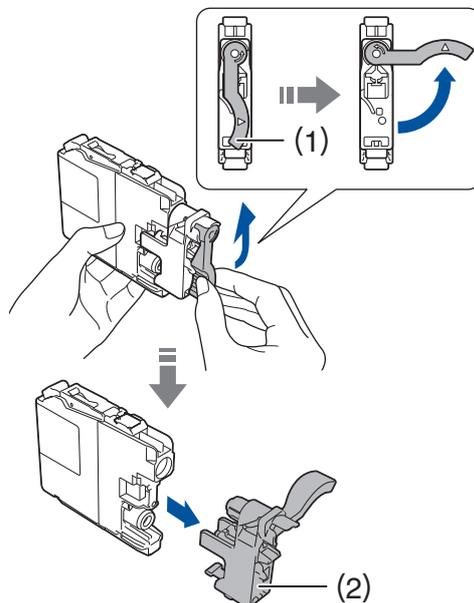


3 インクカートリッジを取り出す



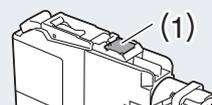
4 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色の取っ手 (1) を反時計回りに回転させて封印を開放し、オレンジ色の保護カバー (2) を引き抜きます。



重要

- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

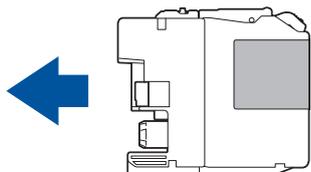


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

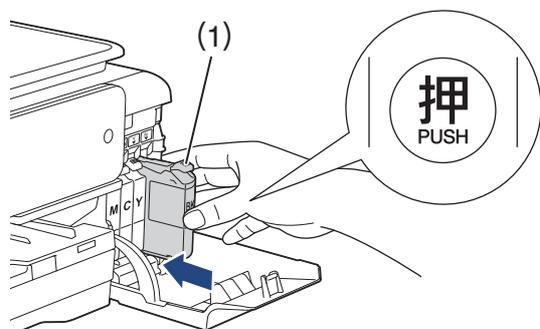
重要

- インクカートリッジは色によってセットする位置が決まっています。間違った位置にセットするとエラーになり印刷できません。表示に従って正しい位置にセットしてください。

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー (1) が上がるまで、「押」の部分を押込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか / (交換したインク色) / はい / いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

お願い

- 画面に【インクを交換しましたか / (交換したインク色) / はい / いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
⇒ 162 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。) また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 243 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

インク残量を確認する

【インク残量】

以下の手順でインク残量を確認できます。

- 1  を押す
- 2 【基本設定】、【インク】を順に押す
- 3 【インク残量】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

インク残量が表示されます。

- 4  を押して確認を終了する

 待ち受け画面の  から、インクメニューを表示させることができます。ただし、ファクスの【メモリ保持のみ】を設定し、受信したファクスがメモリーに保存されると、 から、ファクスの保存件数表示  に、ボタンが変わります。

 パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスマニター）」

Macintosh の場合

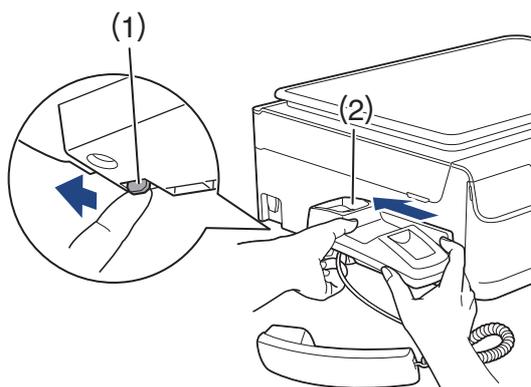
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する（ステータスマニター）」

受話器（親機）を使用しないときは

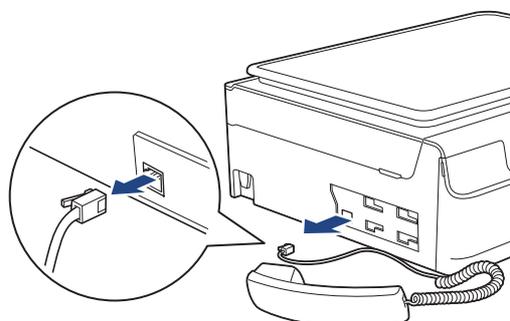
受話器を使用しない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

1 受話器を外し、受話器台底面のつまみ(1)を手前に引いて受話器台(2)を本体から外す

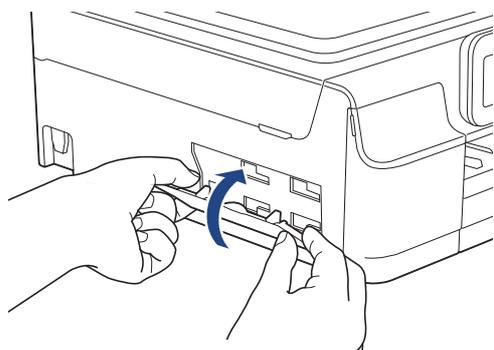
受話器台は、本体に沿わせてそのまま、後ろに向かってゆっくりスライドさせてください。



2 本体から受話器コードを抜く



3 受話器台取り付け口カバーをつける

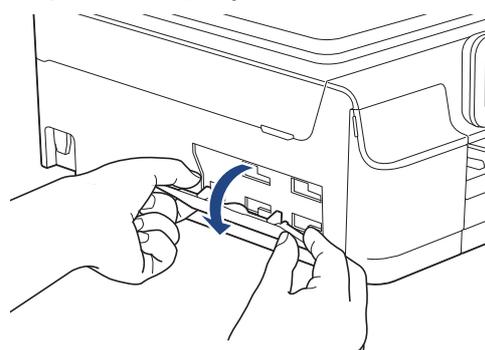


受話器台を再度取り付ける場合

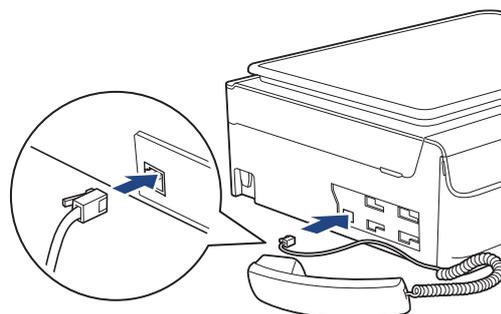
外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

(1) 受話器台取り付け口カバーを外す

※受話器台取り付け口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。

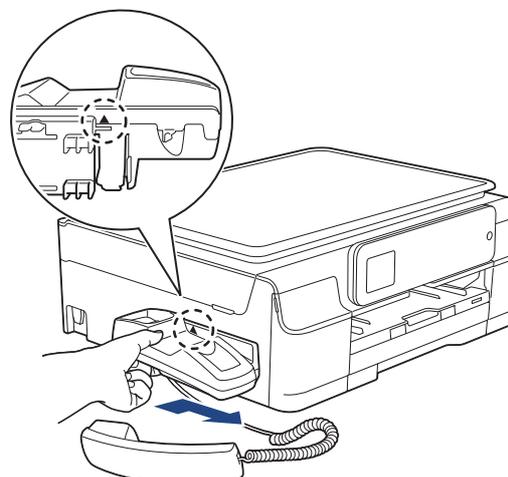


(2) 受話器コードを本体に接続する



(3) 受話器台と受話器台取り付け口の▲印を合わせて受話器台を取り付け、手前にスライドさせて固定する

受話器台は、本体にしっかり押し付けながら、ゆっくりスライドさせてください。



子機のバッテリーを交換するときは

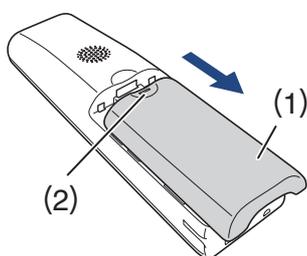
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約1年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお願いください。

！危険

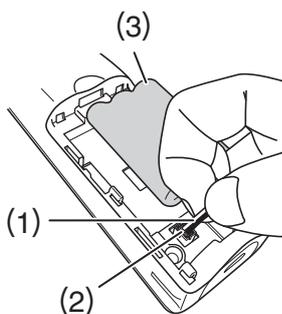
- バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

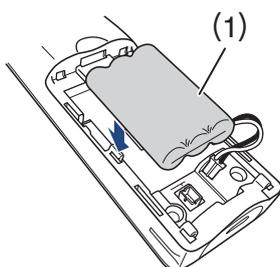
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらしします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



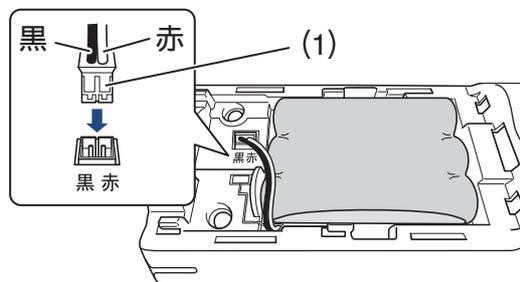
2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上引き抜き、バッテリー（3）を取り出す



3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

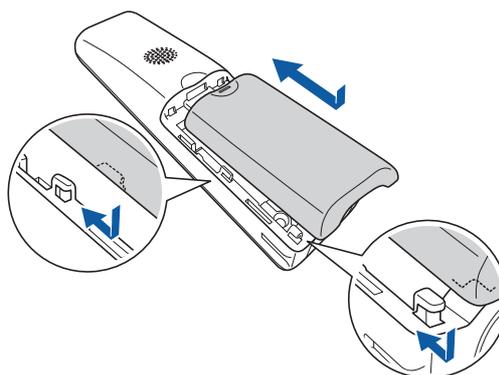


4 バッテリーコードの黒/赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込む



5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



バッテリーを交換したら、必ず12時間以上充電してください。

お願い

■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーは剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 使用済み電池の届け出先は、⇒ 151 ページ「使用済み電池の届け出」をご覧ください。



Ni-MH

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- 社団法人 電池工業会
ホームページ： <http://www.baj.or.jp>
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株） 東京事業所
〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
電話： 03-3272-0351
- ブラザー販売（株） 関西事業所
〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
電話： 06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

紙が詰まったときは

困ったときは

重要

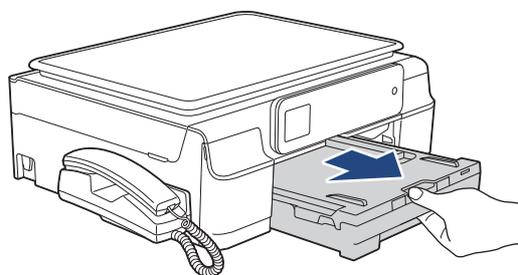
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かして、記録紙を取り除いてください。

お願い

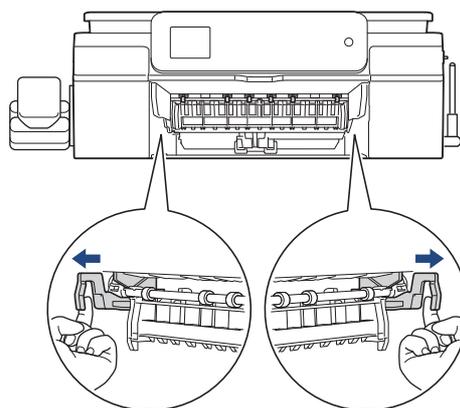
- 何度も紙が詰まるときは…。
紙の曲がりやそりを直して使用してください。
⇒ 55 ページ「カールしている記録紙について」
給紙ローラーを清掃してください。
⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」手順 ⑪
紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
⇒ 55 ページ「専用紙・推奨紙」
- メッセージに従って対処してもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグを抜き差ししてみてください。

記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています】とメッセージが表示されます。次の手順で記録紙を取り除いてください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

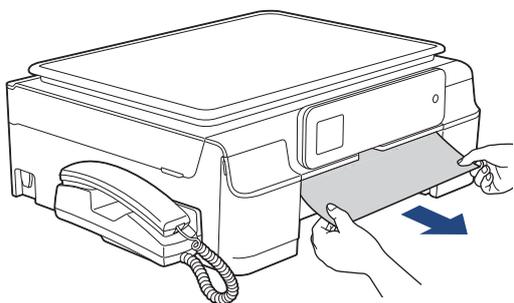


- 3 本体の内側に正面から手を入れ、両端にある緑色のレバーを手前に引く



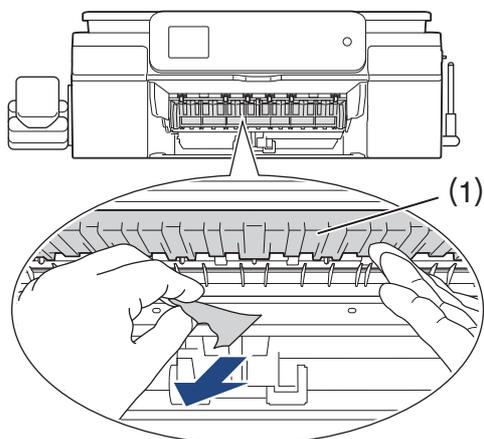
4 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります



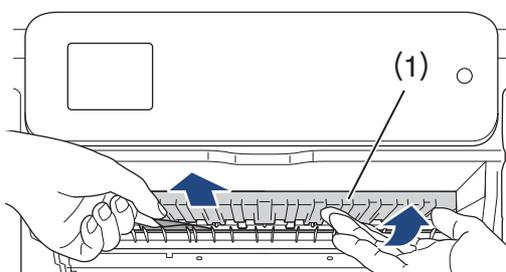
5 フラップ (1) を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



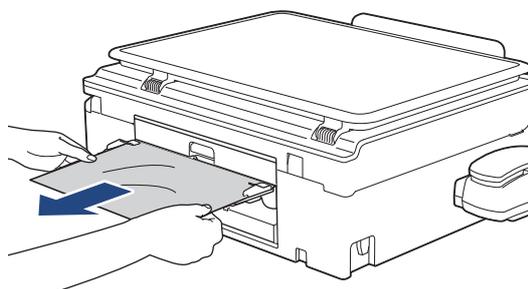
6 本体の内部やフラップ (1) の上下に紙片が残っていないかを確認する

紙片が残っていたら、破れないように静かに抜き取ります。

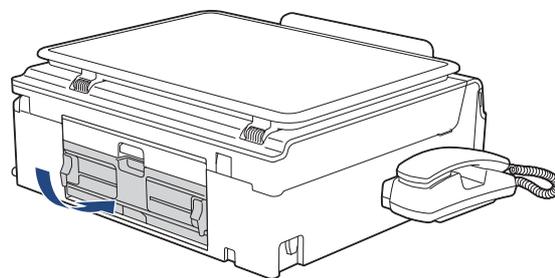


7 手差しトレイを使用している場合は、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

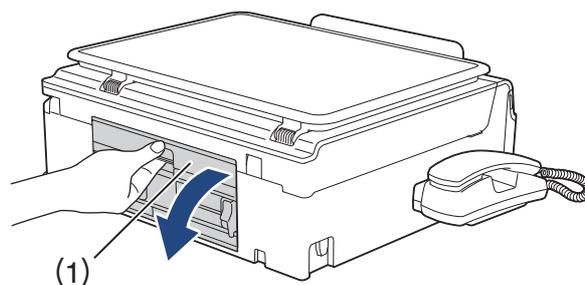


8 手差しトレイを閉じる



9 本体背面の紙づまり解除カバー (1) を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

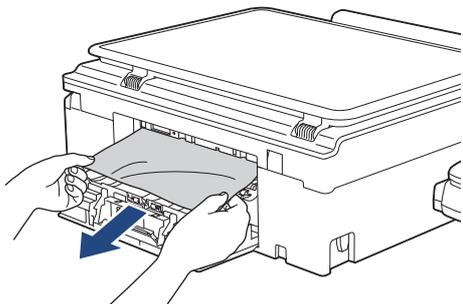
デジタルプリント

こんなときは

付録

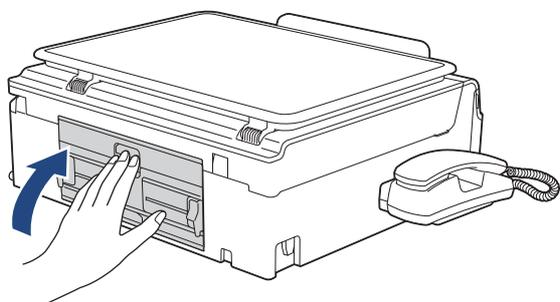
10 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



11 紙づまり解除カバーを閉じる

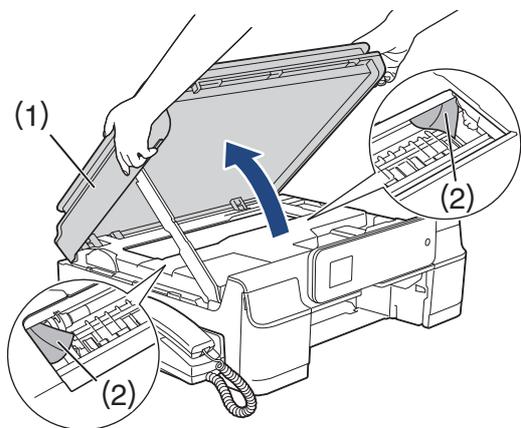
カバーを押して確実に閉じてください。



12 両手で本体カバー (1) を開いて、内部に記録紙 (2) が残っていないかを確認する

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。

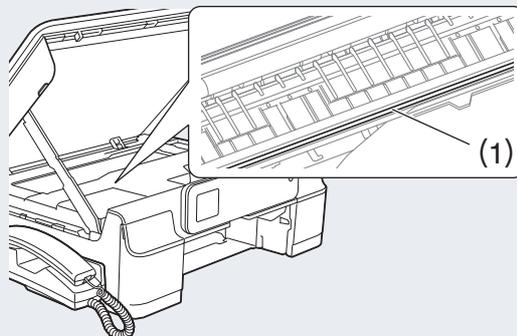


⚠ 注意

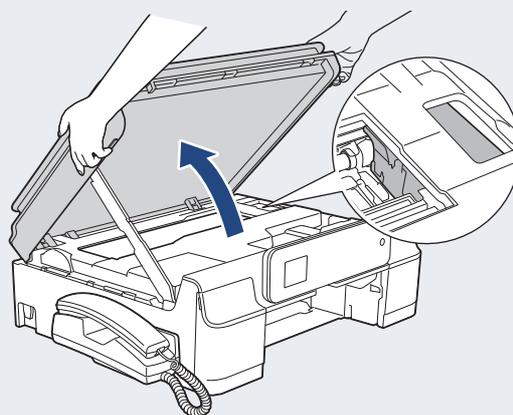
- 万が一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かして、記録紙を取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



- (1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、



を長押しする

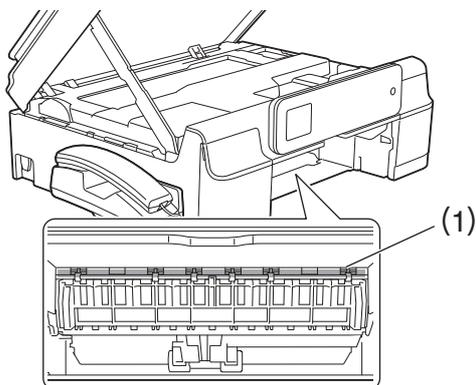
プリントヘッドが中央に移動します。

- (2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

- (3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む

本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

- 13** 本体の前面から内部 (1) を見て、他に紙片が詰まっていないかをよく確認する

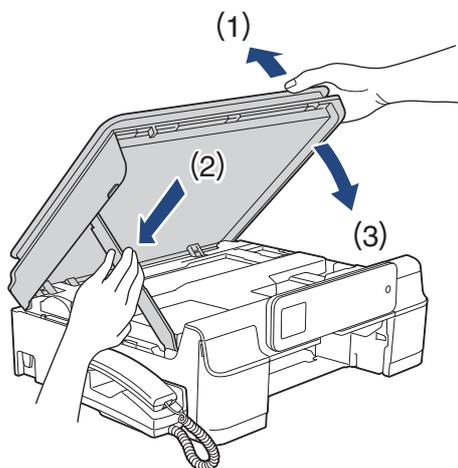


- 14** 本体カバーを閉じる

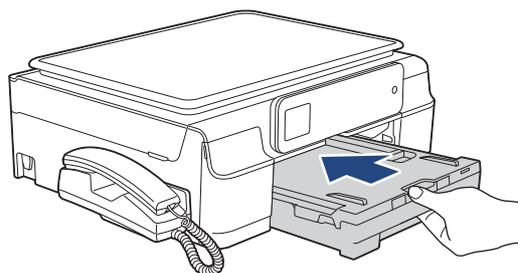
! 注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、カバーサポートをゆっくり押して (2)、本体カバーを両手で閉じます (3)。

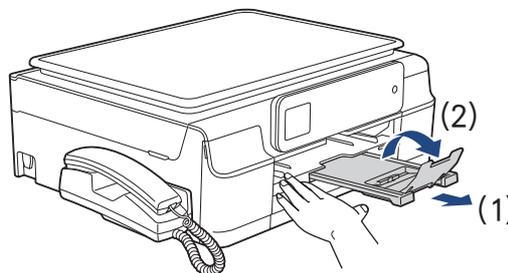


- 15** 記録紙トレイを元に戻す



- 16** 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

記録紙ストッパーは確実に引き出してください。



- 17** 電源プラグをコンセントに差し込む

- 18** エラーメッセージが消えていることを確認する

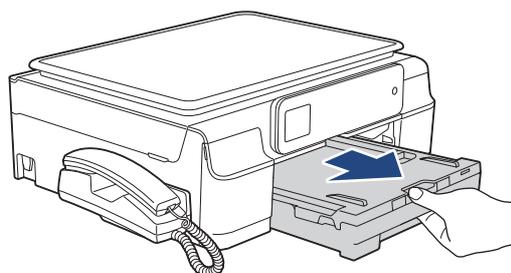
エラーメッセージが消えないときは、外からは見えない紙片が本体内部に詰まっていることが考えられます。その場合は、下記をご覧ください。詰まった紙片を取り除いてください。

⇒ 155 ページ「紙詰まりが解消しないときは」

紙詰まりが解消しないときは

厚紙を使って、外からは見えない紙片を押し出します。

- 1** 電源プラグをコンセントから抜く
- 2** 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

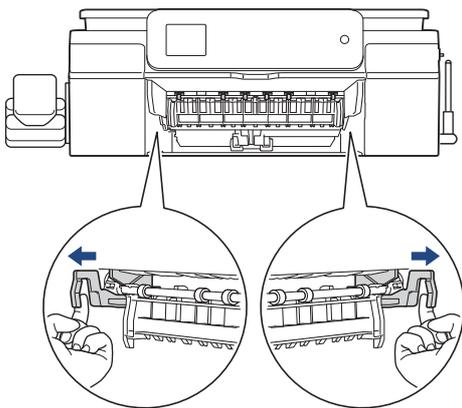
コピー

デジタルプリント

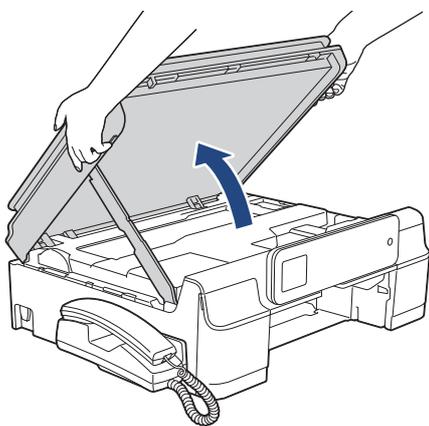
こんなときは

付録

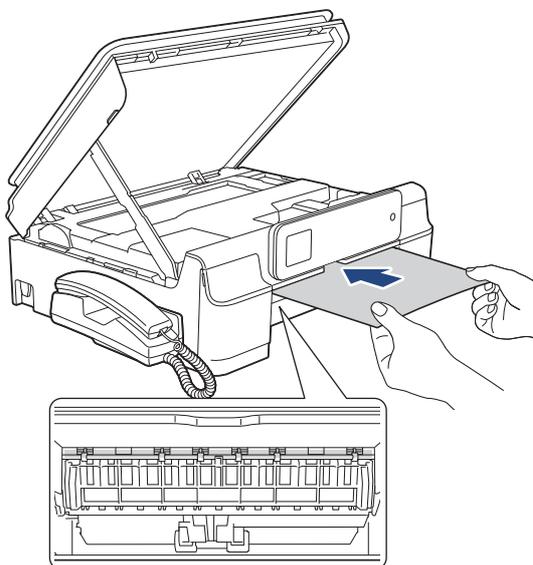
- 3** 本体の内側に正面から手を入れ、両端にある緑色のレバーを手前に引く



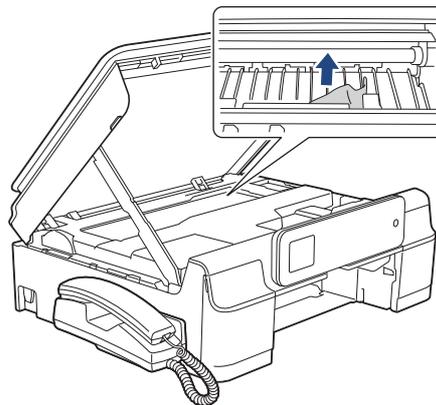
- 4** 両手で本体カバー (1) を開く
本体カバーは保持される位置まで上げてください。



- 5** A4 サイズ (210 × 297mm) の厚紙を用意して、本体内部の記録紙の挿入口に深く差し込む
写真光沢紙または写真光沢紙と同じくらいの厚さの紙をご使用ください。

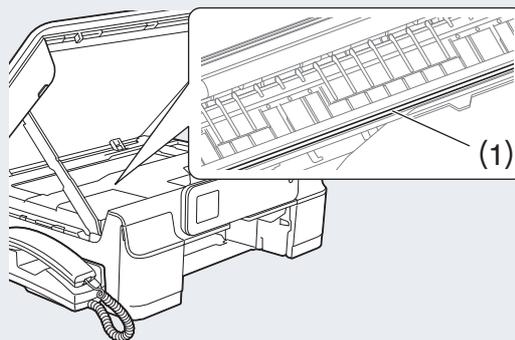


- 6** 押し出された紙片を取り除く
破れないように静かに抜き取ります。

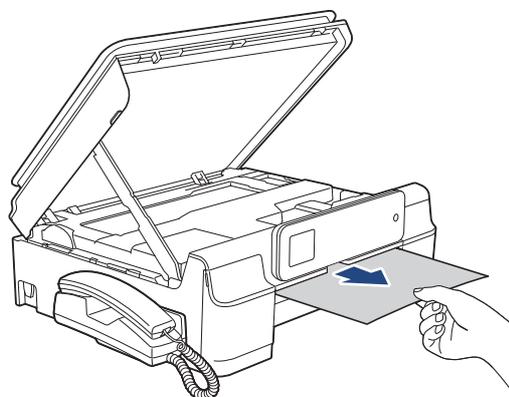


重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 7** 本体前面から、厚紙を静かに引き抜く

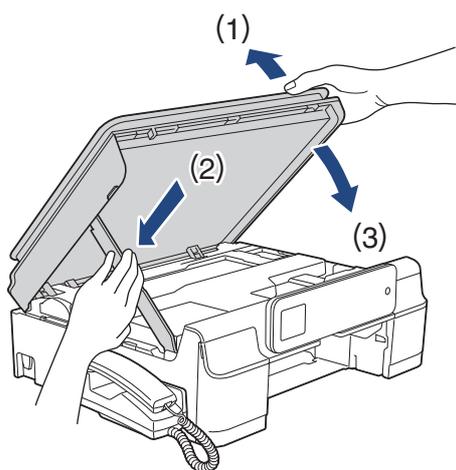


8 本体カバーを閉じる

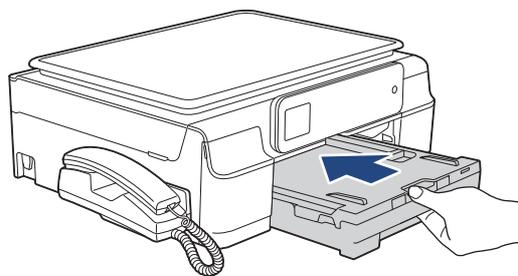
！ 注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し
 (1)、カバーサポートをゆっくり押して
 (2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。

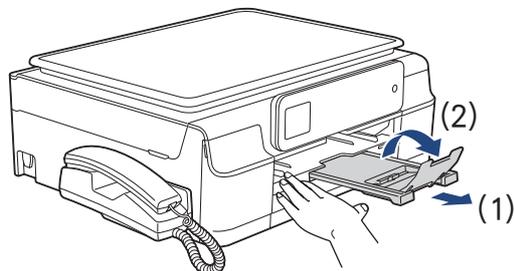


9 記録紙トレイを元に戻す



10 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

記録紙ストッパーは確実に引き出してください。



11 電源プラグをコンセントに差し込む

12 エラーメッセージが消えていることを確認する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ったり、印刷位置のズレを補正する必要があります。

重要

- ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご使用ください。ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品にはプリントヘッドを自動で定期的にクリーニングする機能があります。ただし、電源プラグが抜かれていると製品を起動させることができないため、自動クリーニングができません。電源の入/切は電源ボタンで行い、電源プラグは抜かないで本製品をご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

【ヘッドクリーニング】

印刷品質が良くないと感じたら、定期メンテナンス（自動クリーニング）を待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。



目詰まり時



正常

1  を押す

2 **【基本設定】、【インク】** を順に押す

 待ち受け画面の  から、インクメニューを表示させることができます。ただし、ファクスの【メモリ保持のみ】を設定し、受信したファクスがメモリーに保存されると、 から、ファクスの保存件数表示  に、ボタンが変わります。

3 **【ヘッドクリーニング】** を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

4 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック/カラー/全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

- ☞ ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。
- ☞ 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約1、2分かかります。【全色】を選んだときは、約3分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙/排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

- 1 **本体内部のプラテンを清掃する**
⇒ 142 ページ「本体内部を清掃する」
- 2 **紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する**
⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
- 3 **排紙ローラーに汚れがないかを確認する**
⇒ 141 ページ「排紙ローラーを清掃する」

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【基本設定】、【インク】を順に押す

 待ち受け画面の  から、インクメニューを表示させることができます。ただし、ファクスの【メモリ保持のみ】を設定し、受信したファクスがメモリーに保存されると、 から、ファクスの保存件数表示  に、ボタンが変わります。

4 【テストプリント】を押す

5 【印刷品質チェックシート】を押す

6 【スタート】を押す

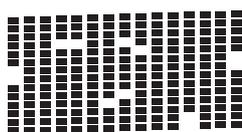
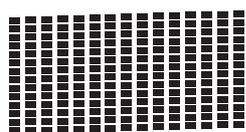
「印刷品質チェックシート」が印刷されます。印刷後は、【印刷品質は OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

7 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

<良い例>

<悪い例>



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 12 へ進みます。
【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。手順 8 へ進みます。

8 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

9 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

10 【はい】を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

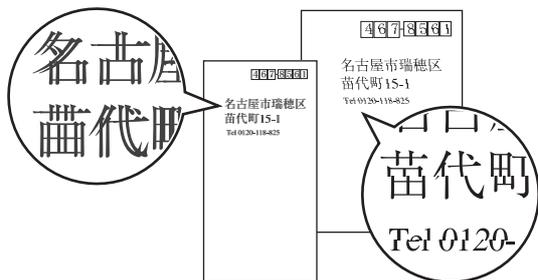
11 【スタート】を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。印刷後は、【印刷品質は OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 8 に戻ります。

12 を押してチェックを終了する

印刷位置のズレをチェック / 補正する

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 A4 サイズの記録紙をセットする
⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」

2  を押す

3 【基本設定】、【インク】を順に押す

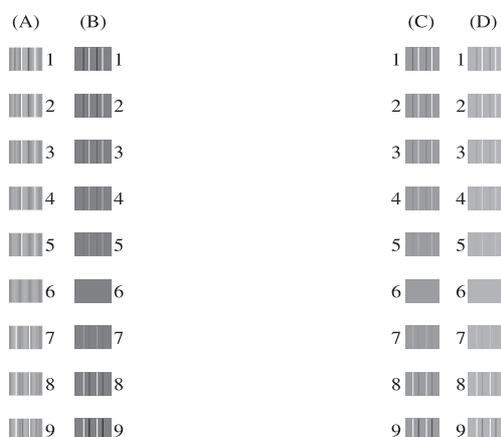
 待ち受け画面の  から、インクメニューを表示させることができます。ただし、ファクスの【メモリ保持のみ】を設定し、受信したファクスがメモリーに保存されると、 から、ファクスの保存件数表示  に、ボタンが変わります。

4 【テストプリント】を押す

5 【印刷位置チェックシート】を押す

6 【スタート】を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。

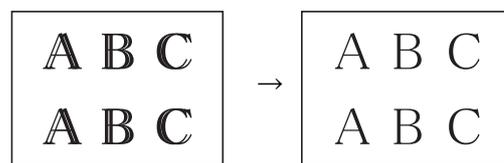


7 印刷されたチェックシートの (A) 列で、最も縦筋が目立たないパターンを選び、画面でその番号を押す

 手順 **6** のチェックシート印刷例では、「6」のパターンが最適です。

<調整前>

<調整後>



8 同様にして、(B) ~ (D) 列もそれぞれ最も縦筋が目立たないパターンの番号を押す

9  を押して操作を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を **OFF** にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押しつけてセットします。
インク量を検知できません	純正インクを使用していない。	弊社純正でないインクカートリッジをご使用になると、本製品がインク量を検知できない場合があります。弊社純正品に交換してください。純正品に換えてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷できません インクを交換してください	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
回線からの供給電圧なし 中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を確認してください 解決しない時は 回線事業者へお問い合わせください	モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性がある。	モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。

メッセージ	原因	対処
記録紙が詰まっています	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 記録紙が詰まる原因として、トレイ内のガイドが記録紙サイズに合っていないことが考えられます。ガイドの位置がセットした記録紙に合っているかどうかを確認してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	手差しトレイに記録紙を 2 枚以上セットしている。 または、次の記録紙のセットが可能であることを示すメッセージが表示される前に手差しトレイに記録紙をセットした。	手差しトレイには、一度に 1 枚しかセットできません。また、複数枚の記録紙を使用するときは、画面に次の記録紙のセットを促すメッセージが表示されるのをお待ちください。詰まった記録紙は取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」
記録紙サイズが不一致です	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットし直してください。 設定したサイズの記録紙をセットしたことを確認してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」 なお、ファクス受信やレポート印刷は A4 より小さい記録紙には対応していません。 トレイに A4 サイズの記録紙をセットし、【記録紙サイズ】も【A4】に設定してください。
記録紙を送れません	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」
	スライドトレイが手前にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」手順 11
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	記録紙が手差しトレイの中央にセットされていない。	記録紙を手差しトレイからいったん外し、ガイドを記録紙サイズの目盛りに合わせ直した上で再度セットしてください。 ⇒ 63 ページ「手差しトレイにセットする」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 158 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メッセージ	原因	対処
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
子機使用中	子機で通話している。	通話中の相手以外へファクスを送るには、子機の通話終了後に行ってください。
室温が高すぎます	室温が高くなっている。	室温を下げて、本製品の温度が下がるのを待ってからお使いください。
室温が低すぎます	室温が低くなっている。	室温を上げて、本製品が温まるのを待ってからお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒ 125 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB ハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応していません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

メッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
設定できませんでした	ADSLのIPフォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
設定できませんでした 電話機コードが「停電時」端子に接続されている可能性があります	電話機コードが停電時接続端子に接続されている。	本体カバーを開け、「停電時」端子から「回線」端子に、電話機コードを接続し直してください。電話回線を接続しない場合は、  を押してください。
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。 (相手側を含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信 / 受信してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
電話/ファクスは使えません 電話回線が接続されていない可能性があります 接続されていない場合は正しく接続してください	電話回線が接続されていない可能性がある。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。⇒かんたん設置ガイド

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

メッセージ	原因	対処
廃インク吸収パッド満杯	<p>廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に達した。</p> <p>*1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品</p>	<p>廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。</p>
話し中/応答がありません	<p>相手先が話し中か、応答がなかった。</p>	<p>少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。ファクス送信の場合、相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中/応答がありません】になります。</p>
ファイルがありません	<p>メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。</p>	<p>メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。</p>
ファクスメモリが少なくなりました	<p>メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。</p>	<p>メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。</p> <p>⇒ 100 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」</p> <p>⇒ 101 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」</p> <p>ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。</p> <p>⇒ 100 ページ「ファクスをメモリーで受信する」</p>
プリンター使用中	<p>本製品のプリンターが動作中。</p>	<p>印刷が終了してから再度操作してください。</p>
まもなくインク切れ	<p>インクの残りが少なくなっている。</p> <p>カラーインクのいずれかが残り少なくなると、カラーファクスの受信が中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。</p>	<p>カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。</p> <p>⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」</p> <p>弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。</p> <p>⇒ 243 ページ「消耗品などのご注文について」</p> <p>なお、モノクロでのファクス受信に影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。カラーコピーの場合は、【モノクロ印刷のみ可能です】になるまで利用できます。</p>
まもなく廃インクパッド満杯	<p>廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に近づいている。</p> <p>*1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品</p>	<p>廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。</p>
メディアのファイルが多すぎます	<p>メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。</p>	<p>本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。</p> <p>メモリーカード内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。</p> <p>999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。</p>
メモリがいっぱいです	<p>コピー中に本製品のメモリーに空き容量がなくなった。</p>	<p>複数枚をコピーしたときは、【OK】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿の分だけコピーを行います。❌を押すとコピーを中止します。</p>

メッセージ	原因	対処
メモリがいっぱいです	空きメモリーが不足している。	ファクス送信のときは、 [OK] を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のみファクスします。 [X] を押すと送信を中止します。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 100 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 101 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 • 留守録メッセージ ⇒ 115 ページ「音声メッセージを確認する」
メディアの容量がいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
メモリーカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
モノクロ印刷のみ可能です	1色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタードライバーの印刷設定で用紙種類を [普通紙] に設定し、モノクロ印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した（インクカートリッジを交換してください。） • 印刷設定の [基本設定] 項目の中の [乾きにくい紙] をチェックしている（パソコン側で印刷を中止し、本製品でも [X] を押して印刷を取り消してください。）	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2) 、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。
◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (3) に進んでください。
- (3) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す
※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2) 、【ファクス/電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- (3) メッセージを確認して、【OK】を押す
◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」
- (4) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ
USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。
◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- (5) 【はい】を押す
- (6) 【本体では印刷しない】を押す
- (7)  を押す

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ/ファクス転送/メモリ保持のみ）に戻してください。（211 ページ）

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2) 、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- (3) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

※発信元登録がされていないと転送できません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

子機のメッセージ

メッセージ	状態	対処
親機と接続中	親機との通信を確立中。	子機で設定した内容を親機に送り同期させるため、通信を確立する必要があります。しばらくお待ちください。
親機応答なし 親機と通信 できません	親機の電源が入っていない。	親機の電源プラグをコンセントに差ししてください。
親機を 探しています	子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	親機から 100m 以内に移動してください。それでもメッセージが表示される場合は、子機の ID 登録をしておいてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）（ http://support.brother.co.jp/ ）からダウンロードできます。
外線使用中	別の子機が通話中。	使い終わるのを待ってください。
通話圏外 親機に近づい てください	電波状態が悪い、親機の電源プラグが抜けている。	親機の状態を確認してください。子機の（外線）を押してください。問題が解決されない場合は、子機の ID 登録をしておいてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）（ http://support.brother.co.jp/ ）からダウンロードできます。
充電デキマセン。 もう一度セット してください	充電器に異物が付着している、または接地不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
<電池残り少> 充電 して下さい	バッテリー残量がなくなった。	子機充電器に置いて充電してください。
電話帳が いっぱいです	電話帳に登録できる件数を超過している。	不要な電話番号があれば消去してください。
電話帳登録 登録が ありません	電話帳に登録がない。	電話帳に登録してください。 ⇒ 107 ページ「電話帳に登録する」
電話 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から発信しようとしている。	この履歴からは発信できません。
登録 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から登録しようとしている。	この履歴からは電話帳登録できません。
発信履歴無し	発信履歴は子機ごとに残される。	操作中の子機からあらためてダイヤルするか別の子機から発信してください。
ファクス受信あり [クリア/音質] を押して下さい	ファクスを受信している。	親機で確認してください。
メモリ不足です 録音 できません	録音した通話または留守録メッセージがいっぱいになった。	メモリー内のメッセージを整理してください。 ⇒ 70 ページ「録音した通話を再生/消去する」 ⇒ 114 ページ「メモリー内の留守録メッセージを再生/消去する」

メッセージ	状態	対処
留守応答中	留守録音中。 子機1で留守録メッセージをモニターしている。	録音中のメッセージは子機1でしかモニター（聞くことは）できません。 外線 または 📞 を押すと、留守録中の相手と回線につながります。 外線発信したいときは、留守録中の相手が電話を切り表示が切り替わるのを待ってください。
留守録モニター中	留守録メッセージをモニターしている。	留守応答を続ける場合は、相手が電話を切るのを待ってください。 相手と話す場合は、 外線 または 📞 を押します。

📞 使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない/電話を受けられない。	モジュージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッタを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるか確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていませんか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	電話がかけられない。（受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに  （親機）または  （子機）を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「p」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 47 ページ「親機の音量を設定する」
	通話中に  で受話音量の設定ができません。	機能設定中に電話を受けましたか。	機能設定中に電話を受けた場合は、  、  を順に押して、受話音量を変更してください。 ⇒ 47 ページ「通話中に受話音量を変える」
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。 ⇒ 47 ページ「親機の音量を設定する」
	受話器からの相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 47 ページ「親機の音量を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	相手に声が聞こえないと言われる。	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
		通話音質を変更していませんか。	【通話音質調整】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 193 ページ「回線状況に応じて設定する」
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	④ を押してスピーカーホン通話を解除し、子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	呼出ベル回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【なし】にしてください。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	受話器から「ツー」という音が聞こえない。	①（オンフック）（親機）を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり接続されているか確認してください。「ツー」という音が聞こえていない場合は、電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒ 99 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイサービス（有料）の契約はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をする必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバー・ディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 193 ページ「回線状況に応じて設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 48 ページ「受話音量を設定する」	
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバー・ディスプレイ機能の契約をされていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒47 ページ「音量を設定する」
		電話がかかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。 本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。(初期値のままで使用可能です。)
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
	相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいこととなります。	
	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。	
契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。	
特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【光/ISDN】にしてください。 ⇒ 193 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。	
ファクス送受信ができない。 (電話も使えない)	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。	
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続(並列接続)していませんか。	ブランチ接続(並列接続)をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイ機能が動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない/着信音が鳴らない。	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていないですか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフ【□□□□】になっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ 48 ページ「着信音量を設定する」
		親機の呼出ベル回数が1回に設定されていませんか。	親機の呼出回数を 2 回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。
		親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。
		親機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が0本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示される場所でご使用ください。
		携帯電話の充電器や、ACアダプターが近くにいたり、電源が一緒になっていませんか。	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
通話状態がよくない • 声が途切れる • 通話が切れる • 雑音が入りやすい	ひかり電話やインターネット電話やIPフォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話やインターネット電話やIPフォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますのでIP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP 網サービス会社へお問い合わせください。	
	1.9GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。	
	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、【親切受信】を【しない】に設定してください。 ⇒ 99 ページ「親切受信を設定する」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 97 ページ「電話に出てから受ける」	
	ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	親機で、【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話状態がよくない ・ 声が途切れる ・ 通話が切れる ・ 雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。	電気製品などから離してください。 親機のアンテナを立てたり、向きを調節してみてください。 親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。 親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが3本表示される場所でご使用ください。
		親機を使っても同様に雑音が入りますか。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 193 ページ「回線状況に応じて設定する」
		子機のアンテナ表示が0本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが3本表示される場所でご使用ください。
相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。	
	受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 48 ページ「受話音量を設定する」	
相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。	
	通話音質を変更していませんか。	【通話音質調整】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 193 ページ「回線状況に応じて設定する」	
通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 193 ページ「回線状況に応じて設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 48 ページ「受話音量を設定する」		
子機の着信音が遅れて鳴る。	故障ではありません。（電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。）	そのままお使いください。	
充電器に置いても【充電中】と表示されない。	充電器の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。	
	充電器に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。	
	バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を充電器に置いて約2分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約12時間充電をしてください。	
子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。	

1 使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、充電器にセットしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 表示しない場合 充電器の電源プラグと充電器を確認してください。
	☎️ や  を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	親機やほかの子機が使用されていませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機から離れすぎていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に【<電池残り少>充電して下さい】と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出いていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。	
通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていますか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。	
		通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。	
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		スマートフォンなど携帯端末からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きましたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	【スタート】を押す前に、受話器を戻していませんか。	【スタート】を押したあとで、【受信】または【送信】を押してから受話器を戻してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章「話をしてから送る」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 35 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		内線で本製品を接続していますか。	構内交換機（PBX）をご利用の場合は、本製品が自動応答しない場合があります。特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 193 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	ファクス送信/受信ができない。	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網を使用していないか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信/受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。 安心通信モードを【安心 (VoIP)】に設定してお試しください。 ⇒ 194 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がありますか。	安心通信モードを【安心 (VoIP)】に設定してお試しください。 ⇒ 194 ページ「安心通信モードに設定する」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 テストしたい原稿を下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス番号：052-824-4773	
ファクスを受信できない。	転送電話 (ボイスワープ) の契約をしていませんか。	転送電話 (ボイスワープ) の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。	
カラーファクス受信ができない。	【メモリ受信】を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。	
	【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。	
	【メモリ受信】を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。	
	安心通信モードを【安心 (VoIP)】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】にしてください。 ⇒ 194 ページ「安心通信モードに設定する」	
	残り少なくなっているインクがありませんか。	インクが残り少なくなるとカラーファクスの印刷ができません。カラーファクスを印刷するには、新しいインクカートリッジに交換する必要があります。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」	
ファクスを送信できない場合がある。(IP 網を使用している場合)	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけている場合は、番号のあとに <small>再ダイヤル / 履歴</small> を押して、ポーズ (約 3 秒間の待ち時間) を入れてください。	
	自動送信機能を利用していませんか。		
	手動で「0000」発信によって一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。	
電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。	

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていますか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第2章「原稿をすぐに送る」
		〔オンフック〕を押してファクスを送信していませんか。	〔オンフック〕を押さずに送信してください。
	送信後、相手から受信したファクスに黒い線が入っていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒139 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒93 ページ「設定を変えてファクスするには」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホンII」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
		相手のファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。	まず、本製品の読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒139 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
		受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。
受信したファクスに白抜けした所がある。			
受信/コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒54 ページ「記録紙のセット」	
	記録紙がなくなっていますか。		
	本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。		
	記録紙が詰まっていますか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒152 ページ「紙が詰まったときは」	
	インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒148 ページ「インク残量を確認する」	
受信しても、記録紙が出てこない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒140 ページ「給紙ローラーを清掃する」	
	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。	
記録紙が白紙のまま出てくる	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒158 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入/切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	記録紙が白紙のまま出てくる	原稿を裏返しにセットしていませんか。	原稿を正しくセットし、操作をやり直してください。 ⇒ 66 ページ「原稿のセット」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 139 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 161 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」
	2枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿がA4より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出ベル回数を6回以下に、留守モードのときは呼出ベル回数を2回以下に設定してください。 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」 または【ファクス送受信】、【受信】の順に押し、手動で受信してください。
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 139 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」	
	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」 手順 10	

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分に汚れが付いていませんか。	コルク部分を清掃してください。 ⇒ 141 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
パソコンから印刷できない。 (①～④の順番に試してください。)	① 本製品とパソコンの接続方式 (USB、無線 LAN) を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド	
	② 本製品の電源が入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 162 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」	
	③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。無線 LAN 接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは (トラブル対処方法)」をご覧ください。	
	④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	<p>印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] から [すべてのドキュメントの取り消し] を行ってください。 < Windows® 8 > マウスをデスクトップ右下端に移動させ、メニューバーが表示されたら、[設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。 < Windows® 7 > スタートボタンから [デバイスとプリンター] - [プリンターと FAX] の順にクリックします。 < Windows Vista® > スタートボタンから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。 < Windows® XP > スタートボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して [削除] をクリックしてください。 < OS X v10.7.5/10.8.x > [システム環境設定] - [プリントとスキャン] - [プリントキューを開く…] の順に選択します。 < OS X v10.9.x > [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] - [プリントキューを開く…] の順に選択します。
		⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 < OS X v10.7.5/10.8.x > [プリントとスキャン] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。 < OS X v10.9.x > [プリンタとスキャナ] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。
		⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] - [一時停止] をクリックしてチェックを外します。 • Macintosh の場合 < OS X v10.7.5 > プリントキューを開き、印刷データを選択して [プリンタを再開] をクリックします。 < OS X v10.8.x/10.9.x > プリントキューを開き、印刷データを選択して [再開] をクリックします。

ご利用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	⑧ オフラインの状態になっていませんか。 (Windows® のみ)	< Windows® 7/Windows® 8 > プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プリンターをオフラインで使用する] をクリックして、チェックを外します。 < Windows Vista® /Windows® XP > プリンターアイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックします。
		⑨ 印刷先 (ポート) の設定は正しいですか。 (Windows® のみ)	印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。 < Windows® 7/Windows® 8 > プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。 < Windows Vista® /Windows® XP > プリンターアイコンを右クリックして、[プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法 (Windows® のみ) スタートメニューから [すべてのプログラム] – [Brother] – [MFC-XXXX*1] – [アンインストール] の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。	
斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」	
	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 手順 11	
記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」 手順 10	
	記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。	
記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。	
	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 手順 11	
	記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 141 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」	
	記録紙のセット枚数に余裕がありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの [基本設定] タブで [乾きにくい紙] をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 手順 11
	印刷速度が極端に遅い。	[画質強調] が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がある場合は、次のように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 印刷設定画面で [拡張機能] タブ、[カラー設定] の順にクリックし、[画質強調] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で [カラー詳細設定] から [画質強調] のチェックを外す。
	印刷速度が極端に遅い。	[ふちなし印刷] の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常よりも速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がある場合は、次のように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 印刷設定画面で、[基本設定] をクリックし、[ふちなし印刷] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 [ファイル]、[ページ設定] をクリックし、[用紙サイズ] のプルダウンメニューから「縁なし」の記載がないサイズを選ぶ。
	[画質強調] が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では [画質強調] は機能しません。また、[画質強調] は、パソコンを使って画像を解析するため、この機能を使うときは、パソコンのディスプレイ (モニター) の [色] を 24 ビット以上にしてください。
		100 万画素以上の画像ではありませんか。	[画質強調] は画素数の少ない画像に対して有効です。100 万画素以上の画像は [画質強調] を設定しないでください。処理に数十分かかる場合があります。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていませんか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内にご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」 手順 10
印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。		プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 142 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 140 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 141 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	[双方向印刷] の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、[双方向印刷] に設定されています。[双方向印刷] では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。[双方向印刷] を解除して印刷をお試しください。ただし、[双方向印刷] を解除すると、印刷速度は落ちます。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 印刷設定画面で、[拡張機能] タブ、[カラー設定] の順にクリックし、[双方向印刷] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で [拡張機能] をクリックし、[その他特殊機能] から [双方向印刷] のチェックを外す。
インクがにじむ。		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面 (印刷面) を下にして、セットしてください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」
	文字や画像がずれている、またはにじんで見えるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 161 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	白紙が印刷される。 印刷がかすれる。 印刷が薄い。 印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 158 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入/切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 55 ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロで印刷される。	カラーインクカートリッジが空になっているか、インクの残りが少なくなっていないですか。	カラー用のカートリッジを交換してください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ⇒ 158 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合は、インクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷の質が悪い。		プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 146 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 161 ページ「印刷位置のズレをチェック/補正する」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 55 ページ「専用紙・推奨紙」

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	印刷の質が悪い。	室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33℃ の状態をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 225 ページ「温度」
	写真用光沢紙で印刷したとき、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面 (印刷面) を下にして、セットしてください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 65 ページ「記録紙の種類を設定する」
	インクが乾くのに時間がかかる。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面 (印刷面) を下にして、セットしてください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの [基本設定] タブの用紙種類で設定します。
	[2 ページ] 印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで [2 ページ] を設定している場合は、プリンタードライバーの [2 ページ] の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」
はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているか確認してください。 ⇒ 61 ページ「スライドトレイにセットする」	
デジカメ プリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
	よりきれいに印刷したい。	プリント画質の設定で調整しましたか。	本製品には画質を向上させてプリントする機能があります。お好みで調整してください。 ⇒ 130 ページ「設定を変えてプリントするには」
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで [ファイル] - [ソースの選択] の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバーを選択し、[OK] をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
ソフト Windows®	[本製品接続エラー] が [本製品はビジー状態です。] というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器 (Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど) を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インクを交換してください】と表示されていませんか。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB接続の場合のみです。
		メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で [取り出し] 操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、[取り出し] 操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から [検索] をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」	
ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されず。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、[カスタム] をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」 - 「IP 取得方法」 ・ネットワーク設定リストの印刷 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワーク設定リストの出力」		
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB接続の場合のみです。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	再度設定を行い、使用する機器（本製品）を検出してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編 「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
その他	電源が入らない。	Ⓞ を押して電源をオンにしましたか。	Ⓞ を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 32 ページ「電源ボタンについて」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。または、閉じたままにしていますか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。確実に引き出して使用してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 10
	出力された記録紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面の設定を変更する」
	画面の文字が読みにくい。	画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面の設定を変更する」
	スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる。	アンテナとスピーカーの位置が近くないですか。	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷してなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けにくい。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 138 ページ「本製品の外側を清掃する」
プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていますか。	以下の手順で操作してください。 ①  を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。	
ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	本製品の電源プラグを1回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。

これによって、改善される場合があります。

上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

【特別回線対応】

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。

お買い上げ時は【一般】に設定されています。

- 1  を押す
- 2 【初期設定】、【特別回線対応】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 3 回線種別を選ぶ
お使いの環境に合わせて、【一般 / PBX / 光 / ISDN】から選びます。
- 4  を押して設定を終了する

お願い

- 【PBX】に設定すると、ナンバーディスプレイの設定が自動的に【なし】になります。【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にするときは、【特別回線対応】の設定を【一般】にしてください。

回線状況に応じて設定する

【通話音質調整】

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。

親機の場合

お買い上げ時は、【設定 1】に設定されています。

- 1  を押す
- 2 【初期設定】、【その他】、【通話音質調整】を順に押す
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 3 【子機通話調整】または【親機通話調整】を選ぶ
- 4 現在とは異なる設定値を選んで、通話中の声の響きを確認する
【子機通話調整】は、【設定 1】 → 【設定 2】 → 【設定 3】 → 【設定 4】の順にお試しください。
【親機通話調整】は、【設定 1】 → 【設定 2】 → 【設定 3】の順にお試しください。

【子機通話調整】を変更したときは、画面に【お待ちください】 → 【設定しました】と表示されます。

 【設定 1】 → 【設定 2】 → 【設定 3】 → 【設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声ははっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感ずることがあります。
- 5  を押して設定を終了する

子機の場合

お買い上げ時は、【音質設定 1】に設定されています。

- 1  を押す
- 2  で【通話音質】を選び、 を押す
- 3  で現在とは異なる設定値を選び、 を押す
【音質設定 1】、【音質設定 2】、【音質設定 3】、【音質設定 4】の順にお試しください。

 【音質設定 1】 → 【音質設定 2】 → 【音質設定 3】 → 【音質設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感ずることがあります。

安心通信モードに設定する

【安心通信モード】

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。

お買い上げ時は【標準】に設定されているので、【安心 (VoIP)】に設定してお試しください。

- 1  を押す
- 2 【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

- 3 【安心 (VoIP)】を押す
設定を戻すときは、【標準】を選びます。

お願い

■ 【安心 (VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。(相手のファクス機によっては、モノクロに変換して受信します。) カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、【標準】に設定してください。

- 4  を押して設定を終了する

-  【安心 (VoIP)】に設定すると、ファクスの送信・受信にかかる時間が、より長くなります。
-  【安心 (VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【標準】に設定して使用します。
-  IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」(ゼロ4つ)を付けておかけください。このとき、通信料はNTTなどの一般の加入電話からの請求になります。ひかり電話をご利用の場合は、「0000」(ゼロ4つ)を付けてかけることができません。
-  ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
 - 通信回線の品質
 - 信号レベル
 - 通信相手機の影響
 - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

【ダイヤルトーン設定】

ファクス送信に失敗すると、送信結果レポートが出力されます。送信結果レポートで、送信結果を確認してください。話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。お買い上げ時は、【検知しない】に設定されています。

お願い

- ダイヤルトーンの設定を【検知する】に設定するのは、上記で述べた状況のみに限定してください。特に、構内交換機（PBX）やIP電話をご利用の環境では、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。通常は、【検知しない】のままお使いください。

-  を押す
- 【初期設定】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す**
キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。
- 【検知する】を押す**
設定を戻すときは、【検知しない】を選びます。
-  を押して設定を終了する

現在の電話回線状態を確認する

【電話回線診断】

本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。

- 1 記録紙を記録紙トレイにセットする**
⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」
-  を押す
- 【ファクス / 電話】、【電話回線診断】を順に押す**

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

画面に【電話回線の接続状況を診断し結果を印刷します 診断を開始しますか? / はい / いいえ】と表示されます。

- 4 【はい】を押す**
回線診断が始まります。診断は、回線接続 → 停電時接続 → ダイヤルトーン → 回線種別の順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

お願い

- 外線使用中または子機使用中は、初期化機能を実行できません。本製品を使用する操作が何も行われていないことを確認して初期化作業をしてください。
- 【電話帳 & ファクスリセット】と【全設定リセット】を実行すると、親機電話帳の内容は消去されるためご注意ください。あらかじめ電話帳リストを印刷しておくことをお勧めします。また、リモートセットアップの [エクスポート] 機能を使うと、電話帳の内容をパソコンに保存することができます。
⇒ 106 ページ「電話帳リストを印刷する」
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第3章「パソコンを使って電話帳に登録する」

機能設定を元に戻す

【機能設定リセット】

本製品のファクスの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

お願い

- 録音した応答メッセージは消去されます。初期化後、必要に応じて録音し直してください。
⇒ 111 ページ「応答メッセージを録音する」
- 通信待ちのファクスは、消去されてしまいます。初期化前に通信待ちデータがないかどうかを確認してください。
⇒ 102 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

1



を押す

2

【初期設定】、【設定リセット】、【機能設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

【機能設定をリセットしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

3

【はい】を押す

【再起動しますか？ 実行する場合は [はい] を 2 秒間押してください キャンセルする場合は [いいえ] を押してください / はい / いいえ】と表示されます。

4

【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

【ネットワーク設定リセット】

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 を押す

2 【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

【ネットワーク設定をリセットしますか？
／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？ 実行する場合は【はい】を2秒間押してください キャンセルする場合は【いいえ】を押してください
／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を2秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する

【電話帳 & ファクスリセット】

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
⇒ 38 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」
- 電話帳の内容
⇒ 104 ページ「親機の電話帳に登録する」
- グループダイヤルの内容
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第3章「グループダイヤルを登録する」
- 電話の発信履歴、着信履歴、再ダイヤル機能の内容
⇒ 72 ページ「いろいろな電話のかけかた」
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」
- 通信管理レポートの内容
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「通信管理レポートを印刷する」
- ファクス転送の設定
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「ファクスを転送する」
- 留守録転送の設定
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第4章「留守録転送を設定する」
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）
- 録音した応答メッセージ
- 録音した通話

お願い

- メモリーに受信したファクスデータも消去されます。必要に応じて印刷してください。
⇒ 100 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 を押す

2 【初期設定】、【設定リセット】、【電話帳 & ファクスリセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、/ を押して画面を送ります。

【電話帳 & ファクスをリセットしますか？
／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？ 実行する場合は【はい】を2秒間押してください キャンセルする場合は【いいえ】を押してください/はい/いいえ】と表示されます。

4 【はい】を2秒以上押す

電話帳・履歴・メモリー・録音データが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

【全設定リセット】

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 を押す

2 【初期設定】、【設定リセット】、【全設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、/を押して画面を送ります。

【全設定をリセットしますか？/はい/いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？ 実行する場合は【はい】を2秒間押してください キャンセルする場合は【いいえ】を押してください/はい/いいえ】と表示されます。

4 【はい】を2秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。
回線種別の自動設定が始まります。

子機の個人情報を消去する

子機の以下の内容を消去します。

- 電話帳の内容
⇒ 107 ページ「子機の電話帳に登録する」
- 発信履歴の内容
⇒ 72 ページ「最近かけた相手にかける（発信履歴）」
- 着信履歴の内容
⇒ 72 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」

-  子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。
-  子機の電話帳や履歴を削除しても、親機には反映されません。

1 を続けて押す

【個人情報 消去？/ 1. スル 2. シナイ】と表示されます。

2 を押す

【全て消去？/ 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。

3 もう一度 を押す

個人情報が消去されます。

4 を押す

こんなときは

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の [ソフトウェアダウンロード] から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

<http://support.brother.co.jp/>

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

重要

- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページにある、ファームウェア更新時の注意事項を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

お願い

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル上で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

本製品のファームウェアのバージョンを調べるときは

1  を押す

2 【製品情報】、【バージョン】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

画面に、本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

3  を押して確認を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

子機を増設する / 登録抹消する

【子機増設モード】

別売りの増設子機を購入して、子機を増設するときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。親機に付属の子機を含めて4台まで増設できます。

使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

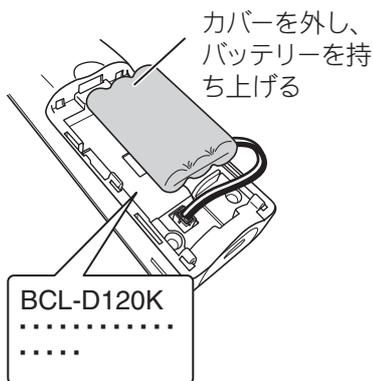
増設 / 抹消の操作方法については、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。

❏ 増設子機（BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH）は別売りです。本製品または子機をお買い上げの販売店または弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 243 ページ「消耗品などのご注文について」

❏ BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機は増設することができません。子機の型番の調べ方は下図をご覧ください。

◀子機型番の調べ方▶

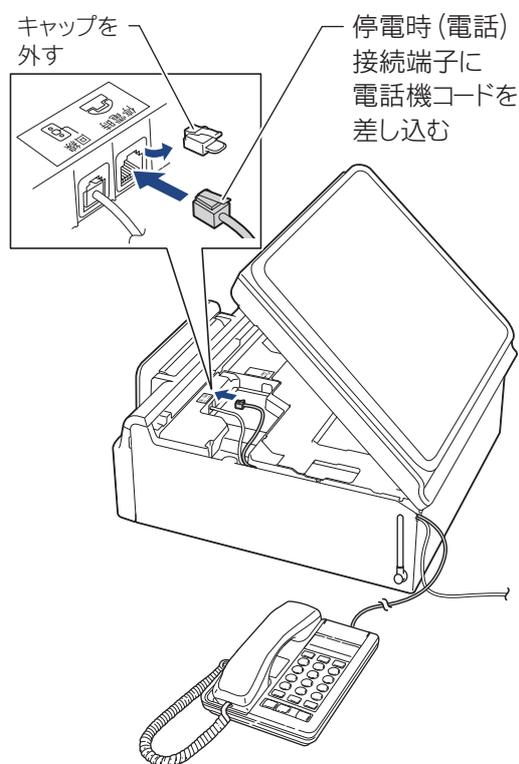


停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをお勧めします。停電用電話機を親機の停電時（電話）接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。

以下のデータは本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

- ・各種登録、設定内容
- ・電話帳（親機、子機）
- ・発信 / 着信履歴（親機、子機）
- ・通信管理レポート
- ・受信メモリー文書、送信メモリー文書、録音されたメッセージ



お願い

- 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。

- ❏ 日付と時刻は設定し直してください。
⇒ 36 ページ「日付と時刻を設定する」
- ❏ 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- ❏ 通話中やファクスの送受信中に停電になったときは、通信は切断されます。
- ❏ 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

本製品のシリアルナンバーを確認する

【製品情報】

1  を押す

2 【製品情報】、【シリアル No.】を順に押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3  を押す

本製品の設定内容や機能を確認する

【レポート印刷】

1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 57 ページ「記録紙トレイにセットする」

2  を押す

3 【レポート印刷】を押す

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
⇒ 106 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
⇒ ユーザーズガイド 応用編 第2章「着信履歴リストを印刷する」

5 【スタート】を押す

選んだレポートが印刷されます。

6  を押す

1 使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

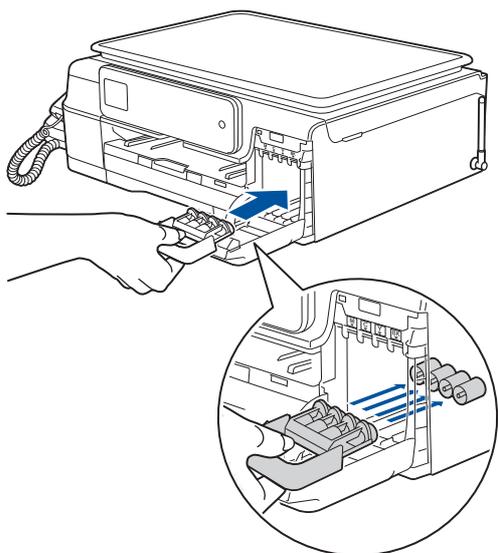
こんなときは

付録

本製品を輸送するときは

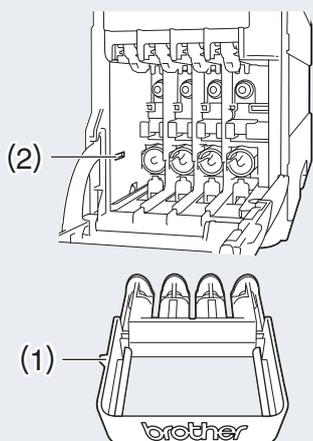
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

- 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。
- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
保護部材がない場合は、何も装着しない状態で輸送してください。



重要

- 保護部材の突起 (1) が、カートリッジのセット部内壁の溝 (2) の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 198 ページ「すべての設定を元に戻す」

また、子機には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。子機のバッテリーの取り外しかたおよびリサイクルについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはプラザーホームページを参照してください。

一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象日品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

第9章

付録

文字の入力方法	204
親機	204
文字の割り当て (タッチパネル)	204
文字の割り当て (操作パネル)	205
機能ボタンの使いかた	206
入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)	206
入力例	206
子機	207
文字の割り当て	207
文字の入れかた (機能キーの使いかた)	207
入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)	208
入力例	208
機能一覧	209
親機	209
インクボタン	209
WiFi ボタン	209
メニューボタン	210
コピーボタン	216
スキャンボタン	217
ファクスボタン	219
フォトボタン	220
再生/消去ボタン	222
電話帳ボタン	222
クラウドボタン	222
子機	223
電話帳ボタン	223
機能ボタン	223
仕様	225
使用環境	232
索引	233
リモコンアクセスカード	239
関連製品のご案内	241
innobella	241
消耗品	241
インクカートリッジ	241
専用紙・推奨紙	241
その他	241

文字の入力方法

親機

発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードや、操作パネルのダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

文字の割り当て（タッチパネル）

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん、。(スペース)
【な】	なにぬねの	【-】	-
【は】	はひふへほ	【` `】	(濁点、半濁点)

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトツ	【ワ】	ワヲン、。(スペース)
【ナ】	ナニヌネノ	【-】	-
【ハ】	ハヒフヘホ	【` `】	(濁点、半濁点)

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ABC】	abcABC	【TUV】	tuvTUV
【DEF】	defDEF	【WXYZ】	wxyzWXYZ
【GHI】	ghiGHI	【:】	;
【JKL】	jklJKL	【:】	:
【MNO】	mnoMNO	【@】	@
【PQRS】	pqrsPQRS	【!】	!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【1】	1	【7】	7
【2】	2	【8】	8
【3】	3	【9】	9
【4】	4	【0】	0
【5】	5	【#】	#
【6】	6	【*】	*

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【! ? &】	! ? &	【.,】	.,
【# \$】	# \$	【: ;】	: ;
【+ -】	+ -	【< >】	< >
【= /】	= /	【[]】	[]
【@ % *】	@ % *	【()】	()
【” ’】	” ’	【_ ^ _】	(スペース) ^ _

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
【あアA1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびにカタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベットの順で切り替わります。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	文字を消去します。
【▶】	カーソルを右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、【▶】を押します。

 変換範囲を変更することはできません。

 漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○*1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前*2	○	○	○	10

1 電話帳での電話番号入力時は、0～9、「」、「#」、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。発信元登録での電話番号入力時は0～9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16文字まで入力できます。

 漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：タッチパネルを使って、「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を3回押す	す
【▶】を1回押す	す
【さ】を3回押す	すす
【ゝ】を1回押す	すす
【か】を2回押す	すすき
【変換】を1回押す	鈴木 スズキ すすき 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を4回押す	鈴木工
【ラ】を2回押す	鈴木エリ

入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)

項目	ひらがな	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数	
電話番号	電話番号	×	×	○* ¹	20文字
	名前	○	○	○	10文字
	読みがな	×	○	○	16文字

1 電話帳での電話番号入力時は、0～9、、#、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。

ポーズは「発信履歴/P (文字)」で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「鈴木 マーク」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
発信履歴/P (文字) を押して、ひらがな入力モードにする	
3 (さ DEF) を3回押す	す
+ (カ) を1回押す	す_
3 (さ DEF) を3回押す	すす
* (時刻1/2) を1回押す	すす
2 (か ABC) を2回押す	すすき
希望の漢字が表示されるまで、変換で、+ (カ) を繰り返し押す (上を押すと前の候補に戻り、下を押すと次の変換候補に進む)	鈴木 スズキ 鱸 すすき
機能 (確定) を押す	鈴木_
+ (カ) を1回押す (または # (記号2) を1回押す)	鈴木 _
発信履歴/P (文字) を押して、カタカナ入力モードにする	鈴木 _
7 (ま PORS) を1回押す	鈴木 マ
0 (わ) を4回押す	鈴木 マニ
2 (か ABC) を3回押す	鈴木 マーク
機能 (確定) を押す (内容が確定され、読み仮名の編集画面が表示される)	スズキマーク_

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

親機

インクボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート/ 印刷位置チェックシート	⇒ 160 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	⇒ 158 ページ
インク残量	インク残量を確認します。		⇒ 148 ページ

WiFi ボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

-  Wi-Fi 設定後は、Wi-Fi ボタンは表示されません。
Wi-Fi 設定を変更する場合は、メニューボタンから設定を変更してください。

設定項目	機能説明
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。
PC を使って設定する	パソコンを使って Wi-Fi 設定を行います。
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。
WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メニューボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● お気に入り設定

機能	設定項目	機能説明	参照
お気に入り設定		お気に入りの設定を名前をつけて登録します。	⇒ 52 ページ

● 基本設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字: 初期設定値)	参照	
基本設定	メンテナンス	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート/ 印刷位置チェックシート	⇒160ページ
		ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	⇒158ページ
		インク残量	インク残量の目安を確認します。		⇒148ページ
		記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	普通紙/インクジェット紙/ ブラザー BP71 光沢/その他光沢/ OHP フィルム	⇒ 65 ページ
		記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判	⇒ 65 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切/小/ 中 /大	⇒ 47 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切/小/中/大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切/小/ 中 /大	
		受話音量	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小/ 中 /大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	明るく /標準/暗く	⇒応用編
照明ダウンタイマー		画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切/ 10 秒 / 20 秒 / 30 秒		
	スリープモード	スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 30 分 / 60 分	⇒ 51 ページ	

● ファクス / 電話

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照	
ファクス / 電話	呼出ベル回数	在宅モード、留守モードのそれぞれで、電話がかかってきてから本製品が自動で着信するまでの呼出回数を設定します。	在宅モード	0～15 / 無制限 (初期設定は 7)	⇒ 44 ページ	
			留守モード	0～7 / トールセーバー (初期設定は 5)		
	受信設定	ファクス無鳴動受信	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	する / しない		⇒ 43 ページ
		再呼出ベル設定	在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。	オン (相手にベル) / オン (相手にメッセージ) / オフ (ファクス専用) ※オンを選択した場合は、 【20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 70 秒】から時間を選びます。		⇒ 45 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	する / しない		⇒ 99 ページ
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	する / しない		⇒ 応用編
		メモリ受信	ファクスのメモリ受信の内容を設定します。	オフ / ファクス転送 / メモリ保持のみ / PC ファクス受信		⇒ 100 ページ
	電話帳 / 短縮設定	電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	新規登録 / 履歴から登録		⇒ 104 ページ
		グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	-		⇒ 応用編
		変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	-		⇒ 105 ページ ⇒ 応用編
		消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	-		⇒ 105 ページ ⇒ 応用編
		子機に転送	電話帳に登録されている相手先を子機に転送します。	-		⇒ 106 ページ
		電話回線診断	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。	-		⇒ 195 ページ
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン / オン+イメージ / オフ / オフ+イメージ		⇒ 応用編
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない / 50 件ごと / 6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと / 7 日ごと		⇒ 応用編
		ファクス出力	メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	-		⇒ 100 ページ
		暗証番号	外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	----*		⇒ 応用編
		通信待ち一覧	送信待ちデータなどの設定を確認したり解除したりできます。	-		⇒ 102 ページ
	着信音設定	着信音	着信音を選びます。	ベル 1～4 / メロディ 1～30		⇒ 49 ページ
		保留メロディ	保留音を選びます。	メロディ 1～30 (花のワルツ)		

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字: 初期設定値)	参照	
ファクス/電話	留守電話設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ、在宅応答メッセージの録音/再生/消去をします。	留守応答 1 / 留守応答 2 / 在宅応答	⇒111ページ
		録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	0 秒 (応答メッセージのみ) / 30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒	⇒111ページ
		留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる/聞こえないの設定をします。	する / しない	⇒112ページ
		留守録転送	【留守モード】のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する / しない ※【する】を選択した場合は、転送先を設定します。	⇒応用編
	ナンバーディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。	あり / なし	⇒46 ページ	
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信音を設定します。	—	⇒85 ページ	
	着信拒否	迷惑番号指定	着信を拒否したい相手の電話番号を本製品に登録して、電話が鳴らないように設定します。	—	⇒86 ページ
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する / しない	⇒87 ページ
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する / しない	
		表示圏外拒否	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	する / しない	
		着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる/聞こえないを設定します。	する / しない	⇒87 ページ
	キャッチディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。	あり / なし	⇒46 ページ	
	子機増設モード	増設子機 (別売り) の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	増設 / 登録子機を消去	⇒200ページ	

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合は、「かんたん設置ガイド」および「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)	
ネットワーク	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	Auto / Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ/セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ/セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	オン /オフ
		接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	—	
		無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	—	
		WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	—	
		WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	—	
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	アクティブ (11b) / アクティブ (11g) / アクティブ (11n) / 接続に失敗しました
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	電波：強い/普通/弱い/なし
	SSID		接続先の無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を表示します。	(32 文字まで表示)	
	通信モード		無線 LAN の通信モードを表示します。	アドホック/インフラストラクチャ	
		MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	—	
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン/ オフ
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	—
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	8080
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	—
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	—
		無線 LAN 有効	無線 LAN のオン/オフを切り替えます。	オン/ オフ	
		ネットワーク設定リセット	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	—	

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒ 応用編
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 106 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒ 応用編
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 201 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワークの設定内容を印刷します。	⇒ 201 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 201 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒ 応用編

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 201 ページ
	バージョン	製品のファームウェア (ソフトウェア) のバージョンを表示します。	⇒ 199 ページ

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
初期設定	時計セット	日付と時刻を設定します。	—	⇒ 36 ページ	
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：— 名前：—	⇒ 38 ページ	
	回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線 / ダイアル 10PPS / ダイアル 20PPS / 自動設定	⇒ 35 ページ	
	安心通信モード	安心通信モードに設定します。	標準 / 安心 (VoIP)	⇒ 194 ページ	
	ファクス自動再ダイヤル	ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	オン / オフ	⇒ 応用編	
	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する / 検知しない	⇒ 195 ページ	
	特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	一般 / PBX / 光 / ISDN	⇒ 193 ページ	
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—	⇒ 196 ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—	⇒ 197 ページ
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	—	⇒ 197 ページ
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—	⇒ 198 ページ
その他	通話音質調整	親機や子機での通話中やファクス通信時の回線状況に応じて調整します。	子機通話調整 (設定 1 / 設定 2 / 設定 3 / 設定 4) / 親機通話調整 (設定 1 / 設定 2 / 設定 3)	⇒ 193 ページ	
	表示言語設定	画面の表示言語を設定します。 This Setting allows you to change LCD Language to English.	日本語 / 英語	⇒ 応用編	

● サービス (エラーが発生したときにのみ表示されます)

	設定項目	機能説明	参照
サービス	データ転送	インクや記録紙がないなどの理由で印刷できないファクス受信データを、転送することができます。	⇒ 168 ページ
	ファクス転送	印刷待機中のファクスデータを、別のファクス機に転送します。	
	レポート転送	通信管理レポートを別のファクス機に転送して、通信状況 (受信結果) が確認できます。	

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

コピーボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面の右上にある【設定変更】を押すと、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
コピー画質 ^{*1}		印刷品質に合わせて設定します。	高速/ 標準 /高画質	⇒119ページ	
記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	普通紙 /インクジェット紙/ ブラザー BP71 光沢/その他光沢/ OHP フィルム	⇒119ページ	
記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判	⇒119ページ	
拡大 / 縮小		コピーしたいサイズに合わせて設定します。	100%	—	⇒119ページ
			拡大	240% L 判⇒ A4 204% ハガキ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4 113% L 判⇒ハガキ	
			縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
			用紙に合わせる	—	
			カスタム (25-400%)	—	
コピー濃度		濃度を調整します。	-2 / -1 / 0 / +1 / +2	⇒120ページ	
スタック/ソート コピー		複数部コピーするときに、ページごとにまとめるか一部ごとにまとめるかを設定します。	スタックコピー /ソートコピー	⇒応用編	
レイアウト コピー		複数枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	オフ (1in1) / 2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 2in1 (ID カード) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長) / ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)	⇒応用編	
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	—	—	
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	—	⇒応用編	
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	—	⇒応用編	
	ブックコピー	本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーします。	—	⇒応用編	
	地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色 (用紙色または背景色) を消してコピーします。	弱/ 中 /強	⇒応用編	
設定を保持する		変更した設定を保持します。		⇒120ページ	
設定をリセットする		設定をお買い上げ時の状態に戻します。		⇒120ページ	

*1 【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。

スキャンボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選んだあとに、ファイルの保存条件が変更できます。詳しくは、⇒ 218 ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
ファイル： フォルダ保存	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	—	⇒パソコン活用編
メディア： メディア保存	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	—	⇒ 135 ページ ⇒ 218 ページ
Eメール： Eメール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	—	⇒パソコン活用編
OCR： テキストデータ変換	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	—	⇒パソコン活用編
イメージ： PC 画像表示	スキャンした画像をパソコンに保存します。	—	⇒パソコン活用編
Web サービス *1	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	⇒パソコン活用編
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

*1 Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定項目を変更および確認することができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキャンの種類					
			ファイル：フォルダ保存	メディア：メディア保存	Eメール：Eメール添付	OCR：テキストデータ変換	イメージ：PC画像表示	
設定変更	本体から設定する *1	スキャンの設定を本体から変更できます。	オフ (パソコンから設定する) / オン	○		○	○	○
	カラー設定 *2	カラーを設定します。	カラー / モノクロ	○	○	○		○
	カラー設定 *2		カラー / モノクロ				○	
	解像度 *2	解像度を設定します。	100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi	○		○	○	○
	解像度 *2		100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動		○			
	ファイル形式 *2*3	ファイル形式を設定します。	PDF / JPEG / TIFF	○	○	○		○
	ファイル形式 *2		Text / HTML / RTF				○	
	ファイル名	ファイル名を設定します。			○			
	スキャンサイズ *2	原稿のサイズを設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L判 / L判 / 名刺	○	○	○	○	○
	地色除去 *2	原稿の地色 (用紙色または背景色) を消して読み取ります。	オフ / 弱 / 中 / 強	○	○	○		○
	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・地色除去			○			
	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。			○			

*1 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト **ControlCenter** がインストールされていない場合は表示されません。

*2 フォルダ保存、Eメール添付、テキストデータ変換、PC画像表示では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

*3 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。(⇒ 135 ページ)

ファクスボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、ファクス送受信および関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
履歴		発信/着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)	ファクス送信	⇒応用編
			電話をかける	
			設定	
電話帳		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	ファクス送信	⇒ 96 ページ ⇒104ページ
			電話をかける	
			設定	
音量	スピーカー音量*1	オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。	切/小/ 中 /大	⇒ 47 ページ
	受話音量*2	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小/ 中 /大	
設定変更	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	標準 /ファイン/スーパーファイン/写真	⇒ 93 ページ
	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	自動 /濃く/薄く	
	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	—	⇒応用編
	カラー設定	相手にモノクロ/カラーのどちらで送るかを設定します。	モノクロ /カラー	⇒ 91 ページ
	リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する/ しない	⇒応用編
	海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する/ しない	⇒応用編
	履歴	発信/着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)	—	—
	電話帳/短縮	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	—	⇒ 96 ページ
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	—	—
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—	⇒ 95 ページ

*1 **オンフック** を押した場合に表示されます。

*2 受話器をとった場合に表示されます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

フォトボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。

デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【設定変更】メニューから変更できます。【設定変更】メニューについては、⇒ 221 ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
かんたんプリント	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。	(サムネイル)	⇒128ページ
すべてプリント	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を、プリント枚数をすべて 1 枚に設定してプリントします。	—	⇒応用編
インデックスプリント	インデックスシートの印刷またはインデックスシートの番号を指定して写真をプリントします。	インデックスシート	
		番号指定プリント	
証明写真プリント	履歴書やパスポート用の証明写真に使えるようにプリントします。	30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm	

プリント前に表示される確認画面で【設定変更】を押すと、以下の項目を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類				
			かんたんプリント	すべてプリント	インデックスシート	インデックスシート 番号指定プリント	証明写真プリント
プリント画質 ^{*1*2}	プリント時の画質を設定します。	標準／ きれい	○	○		○	○
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／プラザーBP71光沢／ その他光沢	○	○		○	○
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙 ／インクジェット紙／プラザーBP71光沢／その他光沢			○		
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	L判 ／2L判／ハガキ／A4	○	○		○	○
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm／9x13cm／10x15cm／13x18cm／15x20cm／ 用紙全体に印刷	○	○		○	
明るさ	プリントの明るさを調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2	○	○		○	
コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2	○	○		○	
画質強調	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2／-1／ 0 ／+1／+2 しない	○	○		○	
	<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		○	○		○	
	<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。		○	○		○	
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	する ／しない	○	○		○	
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	する ／しない	○	○		○	
日付印刷 ^{*1}	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／ しない	○	○		○	
設定を保持する	変更した設定を保持します。	—	○	○		○	
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—	○	○		○	

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

録付

再生 / 消去ボタン

待ち受け状態の  を押して表示される画面で、録音されたメッセージの再生 / 消去ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
再生	メモリーに保存されている留守録メッセージおよび通話中に録音した会話を一括再生します。		⇒ 70 ページ
全消去	メモリーに保存されている留守録メッセージおよび通話中に録音した会話を一括消去します。		⇒ 114 ページ

電話帳ボタン

待ち受け画面の 、【あいうえお順検索】または【番号順検索】、【設定】を順に押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

設定項目	機能説明	参照
電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	⇒ 104 ページ
グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	⇒ 応用編
変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	⇒ 105 ページ ⇒ 応用編
消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	⇒ 105 ページ ⇒ 応用編
子機に転送	電話帳に登録されている相手先を子機に転送します。	⇒ 106 ページ

クラウドボタン

待ち受け画面の  を押すことで、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

詳しくはクラウド接続ガイドをご覧ください。(クラウド接続ガイドはサポートサイトからダウンロードできます。)

子機

電話帳ボタン

 を押して表示される画面で、電話帳の登録 / 変更が行えます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
電話帳登録	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	⇒107ページ
(登録済みであれば登録名を表示)	変更	-	⇒107ページ
	消去		
	転送		電話帳に登録されている相手先を親機に転送します。

機能ボタン

待ち受け状態で  を押して表示される画面で、録音されたメッセージを聞いたり、各機能を設定できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
再生 / 消去	メモリーに保存されているメッセージを再生または消去します。		⇒ 71 ページ ⇒ 115 ページ	
留守 / 会話	留守録メッセージまたは通話中に録音した会話のどちらかを選択します。			
	1 件ずつ	操作する対象 1 件を選択します。		再生 / 消去
	全件	全件を対象にします。		
留守番設定	応答切替	留守モード中に流れる応答メッセージを切り替えます。	固定メッセージ / 留守 応答 1 / 留守応答 2	-
	留守応答 1	新たな応答メッセージを2種類登録 (再生、消去) することができます。	録音 / 再生 / 消去	-
	留守応答 2			
	在宅応答	留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流れる応答メッセージを登録できます。		-
	録音時間	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。	応答のみ / 30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒	
	留守録転送	留守モード中に音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する / しない	-
	留守録モニター ^{*1}	留守録中の相手の声を、スピーカーから聞く (モニターする) かどうかを設定します。	する / しない	-
鳴動音設定	1. 着信音	着信音を選択します。	ベル / アヴェ・マリア / 大キナ古時計 / ガボット / きらきら星 / 四季より - 春 / 花のワルツ	⇒ 50 ページ
	2. 着信鳴分け	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		⇒ 86 ページ
	3. ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。	ON / OFF	⇒ 48 ページ

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

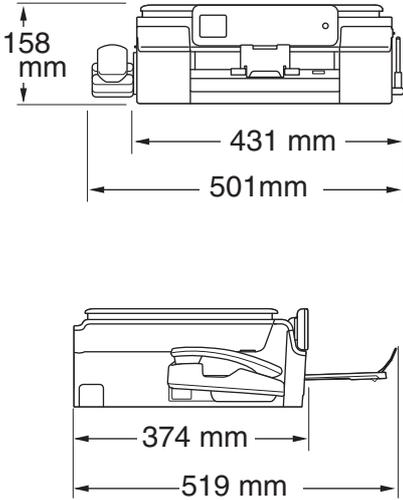
設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
通話音質	音質設定 1 / 音質設定 2 / 音質設定 3 / 音質設定 4	通話中の音質を回線状況に応じて調整します。	—	⇒194ページ
発信履歴		直近 10 件の発信履歴を表示します。		⇒ 72 ページ
(履歴一覧画面 表示後「機能 確定」 押下)	1 件消去	発信履歴から 1 件削除します。		⇒ 85 ページ
	全件消去	発信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	発信履歴から電話帳に登録します。		
着信履歴 ^{*2}		直近 30 件の着信履歴を表示します。		⇒ 84 ページ
(履歴一覧画面 表示後「機能 確定」 押下)	1 件消去	着信履歴から 1 件削除します。		⇒ 85 ページ
	全件消去	着信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	着信履歴から電話帳に登録します。		
画面コントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 ~ 7 段階 (4)	⇒応用編
時計設定		現在の日付と時刻を登録します。	—	⇒ 37 ページ
子機増設		増設子機の ID 登録を行います。子機増設を親機から行うことを示すメッセージが表示されたら、2 分以内に親機で操作を開始してください。		⇒200ページ
回線種別		電話の回線種別が設定できます。	プッシュ回線 / ダイヤル 10PPS / ダイヤル 20PPS	—

*1 留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。(子機 1 台付きモデルの MFC-J727D では、別売りの子機を増設してご利用の場合です。)

*2 ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式
メモリー容量	64MB
LCD（液晶ディスプレイ）	1.8型TFTカラー LCD（4.5cm/44.9mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 ^{*1}	コピー時： 約21W ^{*2} 稼働準備時： 約7W ^{*3} スリープモード時： 約2W ^{*3} 電源OFF時： 約0.2W ^{*3*4}
外形寸法	
製品重量 ※インクカートリッジを含む	8.2kg
稼働音（音圧レベル）	動作時： 50dB（A）（最大） ^{*5}
稼働音（音響レベル） ^{*6}	印刷時（モノクロ）： 6.06B（A） 印刷時（カラー）： 6.04B（A） スタンバイ時： 2.97B（A）
温度	動作保証温度： 10～35℃ 最高印刷品質保証温度： 20～33℃
湿度 ※結露なきこと	動作保証湿度： 20～80% 最高印刷品質保証湿度： 20～80%
原稿サイズ	幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm

*1 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

*2 画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

*3 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

*4 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。

*5 お使いの機能により数値は変わります。

*6 特性音響レベル LwAd が 6.30B（A）を超える機器の場合、事務所とは別室に配置することをお勧めします。

印刷用紙

給紙	<p>記録紙トレイ</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2}</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、2L判、はがき、往復はがき、Com-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒54ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：100枚（80g/m² 普通紙）</p>
	<p>スライドトレイ</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： ポストカード、L判、はがき</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒54ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：20枚（0.25mm以下）</p>
	<p>手差しトレイ</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2}、封筒</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、2L判、L判、はがき、往復はがき、Com-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒54ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：1枚</p>
排紙	最大50枚（80g/m ² 普通紙）

*1 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

*2 OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

*3 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」

ファクス

型式	ITU-T Group3
通信速度	最大14,400bps (自動フォールバック機能付き)
有効読み取り幅	204mm (A4原稿読み取り時)
最大有効記録幅	204mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット (256階調) カラー：24ビット (一色につき8ビット/256階調)
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査 (モノクロ時) • 標準：3.85本/mm • ファイン/写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査 (カラー時) • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	200件 (電話帳)
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 ^{*1}	最大120枚
メモリー代行受信 ^{*1}	最大120枚

^{*1} A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット× 3.85 本 /mm) で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー/モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	204mm (A4原稿読み取り時)
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚
拡大縮小	25~400 (%)
解像度	最高1200dpi×2400dpi

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

デジカメプリント

互換性のあるメディア ^{*1}		<ul style="list-style-type: none"> • メモリースティック デュオ™ (16MB-128MB) • メモリースティック PROデュオ™ (256MB-32GB) • メモリースティック マイクロ™ (M2™) (256MB-32GB) (アダプターが必要です。) • マルチメディアカード (32MB-2GB) • マルチメディアカード プラス (128MB-4GB) • マルチメディアカード モバイル (64MB-1GB) (アダプターが必要です。) • SDメモリーカード (16MB-2GB) • miniSDカード (16MB-2GB) (アダプターが必要です。) • microSDカード (16MB-2GB) (アダプターが必要です。) • SDHCメモリーカード (4GB-32GB) • miniSDHCカード (4GB-32GB) (アダプターが必要です。) • microSDHCカード (4GB-32GB) (アダプターが必要です。) • SDXCメモリーカード (48GB-128GB) • USBフラッシュメモリー^{*2}
解像度		最高1200dpi×6000dpi
拡張ファイル	メディア ファイル フォーマット	DPOF形式 (ver.1.0、ver.1.1) EXIF形式/DCF形式 (ver. 2.1まで)
	対応画 ファイル フォーマット	写真プリント：JPEG ^{*3} 、AVI ^{*4} 、MOV ^{*4} メディア保存：JPEG、PDF (カラー) TIFF、PDF (モノクロ)
ふちなし印刷用紙		A4、はがき、2L判、L判 ^{*5}

^{*1} メモリーカード、アダプター、USBフラッシュメモリードライブは含まれません。

^{*2} USB2.0 規格
16MB～64GBのUSBマストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

^{*3} プログレッシブJPEGフォーマットには対応していません。

^{*4} モーションJPEGのみです。

^{*5} 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」

スキャナー

カラー/モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8) (Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x)
WIA 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8)
ICA 対応	あり (Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x)
カラー階調	入力：30ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：10ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi (補間) *2 最大1200×2400dpi
最大原稿読み取り幅	幅：最大213.9mm 長さ：最大295mm

*1 Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

*2 WIA ドライバー (Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応) では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。(「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。)

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
印刷幅 *1	204mm [210mm (ふちなし印刷) *2]
ふちなし印刷用紙 *3	A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、L判、2L判、はがき

*1 A4 用紙を印刷した場合。

*2 ふちなし印刷を設定した場合。

*3 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 54 ページ「使用できる記録紙」

インターフェイス

USB *1*2	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャ通信、アドホック通信)

*1 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

*2 サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

ご使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

ネットワーク (LAN)

 ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能 (Windows® のみ)、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティー **BRAdmin Light**^{*1} も使用できます。

^{*1} 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>) から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティーの最新バージョンをダウンロードして使用してください。(Windows® のみ)

無線セキュリティー	SSID (最大32桁まで)、WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (AES)
無線セットアップサポート ユーティリティー	AOSS™ 対応
	WPS 対応

コードレス子機 (BCL-D120K-BK/WH)

使用周波数	1895.616MHz～1902.528MHz
変調方式	時分割多元接続方式
使用可能距離	見通し距離約100m
充電完了時間	約12時間
使用可能時間 (充電完了後) *1	待機状態：約200時間 連続通話：約8時間
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	DC3.6V (子機用バッテリー BCL-BT30使用)
外形寸法	44 (横幅) × 29 (奥行き) × 163 (高さ) mm
製品重量	約150g (子機用バッテリー含む)

*1 お使いの環境によって短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約1.4W (充電中) 約0.5W (待機中)
外形寸法	75 (横幅) × 75 (奥行き) × 32 (高さ) mm
製品重量	約125g

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス		プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB *2	無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows®	Windows® XP Home *1 Windows® XP Professional *1	プリント PC-FAX *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4		32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ	150MB	1GB
	Windows Vista® *1				500MB	1.3GB
	Windows® 7 *1 Windows® 8 *1 Windows® 8.1 *1				650MB	
	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 R2 Windows Server® 2008	なし	プリント	64 ビット (x64) のプロセッサ	50MB	なし
	Windows Server® 2008 R2 Windows Server® 2012 Windows Server® 2012 R2					
Macintosh	OS X v10.7.5 OS X v10.8.x OS X v10.9.x	プリント PC-FAX 送信 *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4		Intel® プロセッサ	80MB	550MB

*1 WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

*2 サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

*4 リムーバブルディスクは、メモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは <http://support.brother.co.jp/> からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

 CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

- 2 ページ印刷がうまくできない 188
- 2 枚に分かれて印刷される (ファクス受信) 181
- 3 者通話 78

A

- Adobe® Illustrator® で印刷できない 188, 190
- ADSL のトラブル 175

B

- Brother Utilities 4
- BRUSB への書き込みエラー 189

C

- ControlCenter 24
- CPU 232

D

- DPOF 129

I

- innobella 241
- ISDN 88
- ISDN のトラブル 174

L

- L 判 54

M

- Macintosh 232
- Macintosh 使用時のトラブル 189
- microSD カード 125
- miniSD カード 125

O

- OHP フィルム 54
- OS 232

P

- PBX 105
- PC-FAX 受信 23
- PC-FAX 送信 22

- PictBridge ケーブル差し込み口 27
- PictBridge のトラブル 188
- Presto! PageManager のお問い合わせ 裏表紙

S

- SD メモリーカード 125

T

- TWAIN エラー 188

U

- USBxxx への書き込みエラー 189
- USB ケーブル差し込み口 27
- USB フラッシュメモリー 125
- USB フラッシュメモリー差し込み口 27, 125
- USB フラッシュメモリーのセット / 取り出し 125

W

- WiFi ボタンの機能 209
- Windows® 232
- Windows® 使用時のトラブル 188

あ

- 相手に声が聞こえにくい / 聞こえない 173
- 相手に声が聞こえにくい / 聞こえない (子機) 177
- 明るさ (デジカメプリント) 130
- 明るすぎる (印刷) 186
- アナログポートに 1 ~ 2 回おきにしか着信しない (ISDN) 174
- アフターサービスのご案内 裏表紙
- 安心通信モード 194
- アンテナ 26

い

- イノベラ 241
- インクカートリッジのご注文 243
- インクカートリッジの廃棄 147
- インクカートリッジを交換 146
- インクが乾くのに時間がかかる 188
- インクがにじむ (印刷) 186
- インクカバー (インクカートリッジ挿入口) 26
- インク残量チェック 148
- インクジェット紙 54
- インクボタンの機能 209
- 印刷位置チェック 161
- 印刷が明るすぎる / 暗すぎる 186
- 印刷が汚い 158, 187

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

印刷が極端に遅い	185
印刷が斜めになる	184
印刷された記録紙に規則的な線が入る	185
印刷できない	182
印刷できない (Adobe® Illustrator®)	188, 190
印刷できない (Macintosh)	189
印刷テスト	160
印刷の端や中央がかすむ	187
印刷の汚れ、しみ	186
印刷範囲	56
印刷品質チェック	160
印刷面の白い筋	187
インデックスカード	54

え

液晶ディスプレイ (子機)	33
エラーメッセージ	162
エラーメッセージ (子機)	170

お

応答しない	173
お気に入り登録	52
呼び出しかた	53
お客様相談窓口	裏表紙
お手入れ	138
音が割れる (スピーカー)	190
オンフックボタン	29, 90
音量	47
音量ボタン (子機)	33, 48

か

カードスロット	27
外出先から操作できない	178
回線種別の設定	35
回線接続端子	27
外線ボタン (子機)	33
会話録音	70
拡大 / 縮小	119
各部の名称とはたらき	26
画質が悪い	139, 158
画質強調	131
画質強調が働かない (デジカメプリント)	185
画像が明るすぎる / 暗すぎる (印刷)	186
画像トリミング	131
画像の周りに余白ができる (スキャン)	188
画像の乱れ (ファクス通信)	180
紙が詰まったときは	152
画面	29
画面の文字が読みにくい	190
カラーコピー	118
カラー調整	131
カラーファクスがモノクロ印刷される	187
カラーファクス受信ができない	179
かんたんプリント	128
関連製品のご案内	241

き

記号 1 / トーンボタン (子機)	33
記号 2 ボタン (子機)	33
機能 / 確定ボタン (子機)	33
機能一覧	209
機能設定リセット	196
キャッチ / 着信履歴ボタン (子機)	33
キャッチディスプレイ機能の設定	46
キャッチボタン (子機)	33
キャッチホンサービス	81
キャッチホンでファクスを受ける	81
キャッチホンのトラブル	174, 180
キャッチホン・ディスプレイサービス	88
給紙トレイマーカー	27, 56
給紙ローラーの清掃	140
強制リセット	192
切ボタン (子機)	33
記録紙	54
記録紙うら面の汚れ	159
記録紙が重なって送られる	182
記録紙が重なって送り込まれる	184
記録紙がしわになる (印刷後)	186
記録紙がそろわない	190
記録紙下端の汚れ	190
記録紙が出てこない (コピー / ファクス受信)	180
記録紙が白紙で排出される (コピー / ファクス受信)	180
記録紙サイズの設定 (コピー)	119
記録紙サイズの設定 (写真プリント)	130
記録紙サイズの設定 (全般)	65
記録紙ストッパー	26, 27
記録紙タイプの設定 (コピー)	119
記録紙タイプの設定 (写真プリント)	130
記録紙タイプの設定 (全般)	65
記録紙トレイ	27
記録紙トレイにセット	57
記録紙のうら面が汚れるときは	159
記録紙のセット	57

<

クラウドボタンの機能	222
暗すぎる (印刷)	186
クリア / 音質ボタン (子機)	33
クリアボタン	90
クリアボタン (子機)	33
クリーニング (プリンター内部)	140
クリーニング (プリントヘッド)	158
黒い線が出る	139
黒い線 (コピー、ファクス)	180

け

警告音が鳴る (子機)	178
原稿	66
原稿ガイド	27
原稿台カバー	27
原稿台ガラス	27
原稿のセット	66
原稿の読み取り範囲	66

こ

公衆電話拒否	87
光沢紙	54
光沢紙が送り込まれない	181, 185
光沢はがき	121
声が大きく聞こえて話しにくい (ISDN)	174
声途切れる	173
声途切れる (子機)	176
コールセンター	裏表紙
子機が温かい	177
子機に何も表示されない	178
子機の清掃	144
子機の増設	200
子機のトラブル	176
子機のバッテリー交換	150
子機を置いたまま通話する	74
故障	172
個人情報の消去 (子機)	198
コピー	118
画質	119
トラブル	178
濃度	120
汚れ	181
コピーボタンの機能	216
コントラスト	130

さ

最近かかってきた相手に電話する	72
最近かけた相手に電話する	72
再生/消去ボタン	30
再ダイヤル/履歴ボタン	29
再ダイヤルボタン	90
再ダイヤルボタン (子機)	33
再ダイヤル/履歴ボタン	29
再ダイヤル (電話)	72
在宅モード	39
再呼出 (ベル/メッセージ/時間) の設定	45

し

自動受信	97
自動送信	91
自動的に本製品が動き出す (操作なしで)	190
自分の声が響く	173
自分の声が響く (子機)	177
シャープネス	131
写真の一部がプリントされない	188
写真をプリントする (PictBridge)	134
写真をプリントする (デジカメプリント)	128
写真を見る	128
充電器の清掃	144
「ジューデンチュウ」と表示されない (子機)	177
充電できない (子機)	178
充電表示ランプ (子機)	33
受信したファクスの汚れ	181
受信モードの設定	39
手動受信	97, 98
受話音質 (子機)	74

受話音量	47
受話音量が小さい	172
受話音量の調節ができない	172
受話音量 (子機)	48
受話器	26
受話器を置いたまま電話をかける	73
受話器 (親機) を使用しないときは	149
受話口 (子機)	33
仕様	225
使用環境	232
消去 (子機の個人情報)	198
消去 (電話帳・履歴・メモリー・録音データ)	197
消去 (ファクスをメモリーから)	101
使用済み電池の届出	151
初期状態に戻す	196
シリアルナンバーの確認	201
白い筋 (印刷面)	187
しわ (印刷後)	186
親切受信	99

す

推奨紙	55
スキャナー (読み取り部) の清掃	139
スキャン画質	135
スキャンしたデータをメディアに保存する	135
スキャンのトラブル	188
スキャンボタンの機能	217
筋 (印刷面)	187
スピーカー音量	47
スピーカー音量が小さい	172
スピーカー音量 (子機)	48
スピーカーホン通話ができない (子機)	173
スピーカーホンボタン (子機)	33
スピーカー (子機)	28
すべての設定を元に戻す	198
スライドトレイ	27, 61
スライドトレイにセット	61
スリープモード	51

せ

清掃	138
製品情報	201
接続エラー	188
設定内容リスト	201
設定変更ボタン (ファクス)	90, 118
設定変更 (コピー)	119
設定変更 (写真プリント)	130
設定変更 (ファクス)	93
設定保持 (コピー)	120
設定保持 (写真プリント)	131
設定保持 (ファクス)	95
セットできる記録紙	54
全設定リセット	198
専用紙	55

そ

操作パネル	26, 29
送受信できない	178
送信したファクスに印刷される自分の名前と 番号を登録する	38
送信中止	92
送信できない (IP 網使用)	179
送信できない (電話帳)	179
送信待ちファクス	102
送話口 (子機)	33

た

待機中の送信中止	92
ダイヤルイン	173
ダイヤル回線	35
ダイヤルできない	172
ダイヤルトーン設定	195
ダイヤルボタン	29
ダイヤルボタン (子機)	33
ダイレクトクラブ	243
他機器の呼出ベルが鳴る (ISDN)	175
タッチパネル操作	31
短縮ダイヤルでファクス送信	96

ち

縮んでいる (ファクス受信)	180
着信音	49
着信音が遅れて鳴る (子機)	177
着信音が小さい / 鳴らない	172
着信音が鳴らない (ISDN)	174
着信音が鳴らない (子機)	176
着信音量	47
着信音量 (子機)	48
着信音を鳴らさず受信	40, 42
着信音 (子機)	50
着信拒否モニター	87
着信鳴り分け設定	85
着信履歴	84
着信履歴ボタン (子機)	33
中央がかすむ (印刷)	187
注文	243

つ

通信エラーが増えた (ADSL)	175
通信エラーの解消 (安心通信モード)	194
通話音質調整	193
通話が切れる	173
通話の再生	70
通話の消去	70
「ツー」音が聞こえない	173
つながらない (ISDN)	175

て

定期メンテナンス	158
----------	-----

停電	200
停電時 (電話) 接続端子	27, 200
手差しトレイ	26, 56, 63
手差しトレイから記録紙を取り除く	64
デジカメからプリントできない (PictBridge)	188
デジカメプリント	124, 128
デジカメプリントボタンの機能	220
デュアルアクセス	92
電源オン / オフ	32
電源が入らない	190
電源が入らない (子機)	178
電源ボタン	29, 32
電話がかかけられない	35, 172, 174, 176
電話がかかけられない (ひかり電話)	175
電話帳	
消去	197
初期化	197
ダイヤルできない	172
転送	106
電話をかける	69
登録 (親機)	104
登録 (子機)	107
ファクスが送れない	179
ファクスを送る	96
ボタンの機能 (親機)	222
ボタンの機能 (子機)	223
リスト印刷	106
電話帳ボタン	90
電話取り次ぎ	75
電話に応答しない	173
電話のトラブル	172
電話番号が表示されない (ナンバー・ディスプレイ)	174
電話をかける / 受ける	68
電話・ファクスの受けかた	39

と

動画プリント	127
ツールセーバー	44
特別回線対応	193
時計セット	36
トリプル通話	78
トレイカバー	27

な

内緒話モード	74
内線通話	77
内線番号	75
内線 / 保留ボタン (子機)	33
斜めに印刷される	184
ナンバーディスプレイサービス	83
ナンバーディスプレイ機能の設定	46
ナンバー・ディスプレイのトラブル	174, 175

に

にじみ (印刷)	186
入力文字切替ボタン (子機)	33

ね

ネーム・ディスプレイサービス	83
ネットワーク設定リセット	197
ネットワークリモート接続の失敗	189

は

廃棄 (インクカートリッジ)	147
排紙ローラーの清掃	141
はがきをセットする	61
端がかすむ (印刷)	187
パソコンから設定を変更する	24
パソコンからファクスを送信する	22
パソコンでファクスを受信する	23
発信履歴ボタン (子機)	33
バッテリーカバー (子機)	28
バッテリー交換 (子機)	150
バッテリー残量 (子機)	34

ひ

PC ファクス受信	23
PC ファクス送信	22
ひかり電話のトラブル	175, 179
ビジー状態	188
非通知着信拒否	87
非通知の相手からの着信ができない	175
日付印刷	131
日付と時刻の設定	36
「ピッピッピ」 と鳴る (子機)	178
表示圏外拒否	87

ふ

ファクス	
印刷する	100
画質	93
カラー設定	93
原稿濃度	93
自動送信	91
受信	97
受信トラブル	179, 181
消去	101
送受信できない	178
送信できない (IP 網使用)	179
送信できない (電話帳)	179
送信 (電話帳・短縮ダイヤル)	96
送信中止	92
待機中の送信中止	92
通信できない (ISDN)	175
トラブル	178
無鳴動受信	43
メモリーで受信する	100
ファクスに印刷される送信側の名前と ファクス番号を登録する / 削除する	38
ファクスボタンの機能	219
封筒	54
複数枚送信ができない	180
ふちなし印刷	131
普通紙	54

プッシュ回線	35
プッシュホンサービスを利用する	74
ブラザーユーティリティ (Brother Utilities)	4
プラテン清掃	142
プリント画質	130
プリントサイズ	130
プリントのトラブル	182
プリントヘッド	158

へ

ヘッドクリーニング	158
ベル (再呼出設定)	45
便利なコピー設定	120

ほ

ポーズ (P) 入力ボタン (子機)	33
ポストカード	54
ボタン確認音量	47
ボタン確認音 (子機)	48
保留音	49
保留ボタン (子機)	33
ホワイトバランス	131
本製品が表示されない (Macintosh)	189
「本製品接続エラー」	188
「本製品はビジー状態です」	188
本体カバー	27

ま

マイク (子機)	33
待ち受け画面	30
マルチメディアカード	125

め

迷惑電話拒否	80
迷惑電話として番号を登録する	86
メッセージが途中で切れている / 録音できない ...	178
メッセージの再生 / 停止 / 消去	114
メディア保存	135
メニューボタンの機能	210
メモリー	232
メモリーカードのセット / 取り出し	125
メモリーカードのトラブル	189
メモリー受信	100
メモリー受信したファクスを印刷する	100
メモリーを消去する	197
メンテナンス	138

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

も

文字の入力方法（親機）	204
文字の入力方法（子機）	207
文字化け、文字欠け、水平方向の線	185
文字や画像のゆがみ	185
元に戻す（機能設定）	196
元に戻す（すべての設定）	198
元に戻す（ネットワーク設定）	197

ゆ

ゆがみ（文字や画像）	185
輸送（本製品）	202

よ

用紙に合わせるが使えない	181
横縞が出る	185
汚れ（印刷）	186
汚れ（記録紙の下端）	181, 186
汚れ（コピー、受信したファクス）	181
汚れ（本製品）	138
呼出ベル回数	44
読み取り範囲	66

り

リサイクル（電池）	151
リセット（本製品の強制リセット）	192
リダイヤル	29, 33, 72, 90
リムーバブルディスクとして利用する	24
リモコンアクセスカード	239
リリースボタン	27
履歴ボタン	90
履歴を消去する	197

る

留守応答メッセージ	113
留守番機能	110
留守番機能のセット	113
留守番電話応答メッセージ	111
留守ボタン	29
留守モード	39, 113
留守/録音ボタン（子機）	33
留守録モニター	112

れ

レポート印刷	201
--------------	-----

ろ

録音データを消去する	197
録音できない	178
録音途中で切れている	178
録音（会話録音）	70

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ユーザーズガイド 応用編 第4章「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○*

あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
 - ・無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○*

あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
 - ・無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○*

あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
 - ・無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

-----<キリトリ線>-----

リモコンコード	
操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※3)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※1)	93
メモリー受信をOFFにする (※5)	951
ファクス転送の設定	952 (※4)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック (※2)	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

- ※1: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- ※2: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- ※3: 中止するときは[9]を入力してください。
- ※4: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
- ※5: ファクス転送の設定も解除されます。

-----<キリトリ線>-----

リモコンコード	
操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※3)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※1)	93
メモリー受信をOFFにする (※5)	951
ファクス転送の設定	952 (※4)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック (※2)	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

- ※1: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- ※2: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- ※3: 中止するときは[9]を入力してください。
- ※4: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
- ※5: ファクス転送の設定も解除されます。

-----<キリトリ線>-----

リモコンコード	
操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※3)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※1)	93
メモリー受信をOFFにする (※5)	951
ファクス転送の設定	952 (※4)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック (※2)	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

- ※1: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- ※2: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- ※3: 中止するときは[9]を入力してください。
- ※4: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
- ※5: ファクス転送の設定も解除されます。

関連製品のご案内

innobella

innobella (イノベラ) とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。名前は、innovation (イノベーション：英語で「革新」) と Bella (ベラ：イタリア語で「美しい」) の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。



消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。純正品は、弊社公式直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」でもご購入になれます。詳しくは、⇒ 243 ページをご覧ください。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック (黒)	LC111BK
イエロー (黄)	LC111Y
シアン (青)	LC111C
マゼンタ (赤)	LC111M
4個パック [ブラック (黒)/イエロー (黄)/シアン (青)/マゼンタ (赤) 各1個]	LC111-4PK
黒2個パック [ブラック (黒) 2個]	LC111BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番 (サイズ)	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA (A4)	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4 (A4)	20 枚入り
		BP71GLJ50 (L判)	50 枚入り
		BP71GLJ100 (L判)	100 枚入り
		BP71GLJ300 (L判)	300 枚入り
		BP71GLJ500 (L判)	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙 (マット仕上げ)	BP60MA (A4)	25 枚入り

- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ (<http://support.brother.co.jp/>) をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

Memo

消耗品などのご注文について

純正消耗品は家電量販店でお買い求めになれます。また、弊社の直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」では、インターネットやお電話によるご注文を承っております。

● インターネットによるご注文

<p>ブラザーダイレクトクラブ <input type="button" value="検索"/></p> <p>http://direct.brother.co.jp</p>	<p></p> <p>公式直販サイト ダイレクトクラブ</p> <p>スマートフォンなどの携帯端末からは、上記の二次元コードを読み取ってアクセスしてください。</p>
--	--

● お電話によるご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825

(土・日・祝日、長期休暇を除く 9時～12時、13時～17時)

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm>

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー 検索 

<http://support.brother.co.jp/>

故障・トラブルかんたん診断

サポートサイト内にある24時間対応の故障・トラブル診断オンラインサービスです。ステップに従って、当てはまる項目を選んでいくと解決策が見つかります。万一故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。

 ブラザーサポートナビ

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)

050-3786-7714

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～金 9:00～18:00 / 土 10:00～18:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

- 製品ご購入後 1年間無償保証いたします。
※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。
- コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。
- 5日以内に修理品を返送。
弊社到着後、5日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。

ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター

電話：03-5472-7008 FAX：03-5472-7009 10:00～12:00 13:00～17:00 (土日・祝日を除く)

テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。(印刷物は 2 年です)

brother

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1



LEU763047

JPN

Printed in China

Version 0